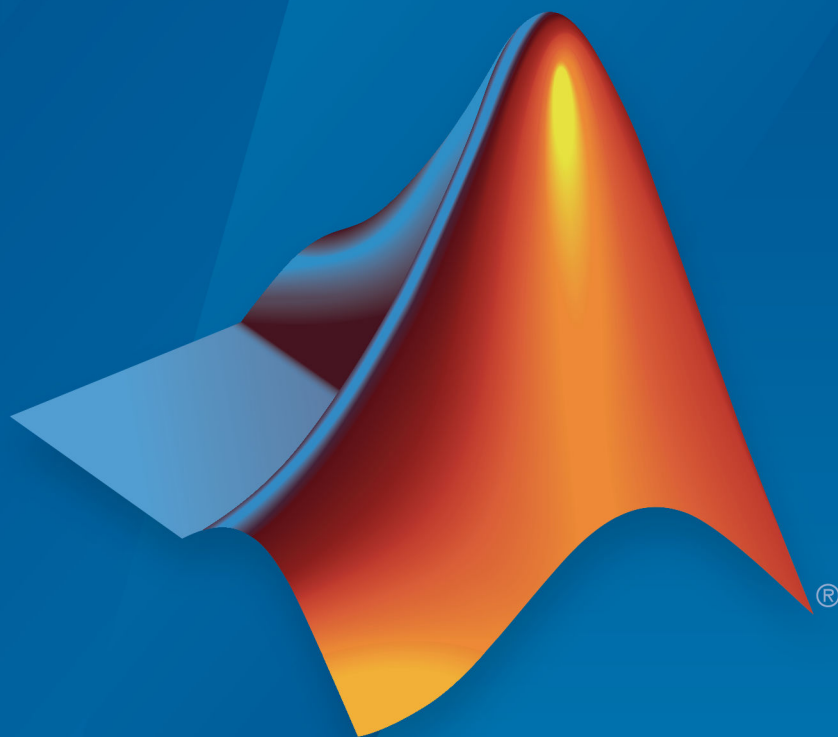


インストール、アクティベーションおよびライ
センス

インストール ガイド



MATLAB® & SIMULINK®

R2018b



MathWorks へのお問い合わせ



最新情報: www.mathworks.com

営業およびサービス: www.mathworks.com/sales_and_services

ユーザー コミュニティ: www.mathworks.com/matlabcentral

テクニカル サポート: www.mathworks.com/support/contact_us



代表番号: 03-6367-6700



The MathWorks GK
〒107-0052 東京都港区赤坂 4 丁目 15-1
赤坂ガーデンシティ 7F

インストール ガイド

© COPYRIGHT 1996-2018 by The MathWorks, Inc.

The software described in this document is furnished under a license agreement. The software may be used or copied only under the terms of the license agreement. No part of this manual may be photocopied or reproduced in any form without prior written consent from The MathWorks, Inc.

FEDERAL ACQUISITION: This provision applies to all acquisitions of the Program and Documentation by, for, or through the federal government of the United States. By accepting delivery of the Program or Documentation, the government hereby agrees that this software or documentation qualifies as commercial computer software or commercial computer software documentation as such terms are used or defined in FAR 12.212, DFARS Part 227.72, and DFARS 252.227-7014. Accordingly, the terms and conditions of this Agreement and only those rights specified in this Agreement, shall pertain to and govern the use, modification, reproduction, release, performance, display, and disclosure of the Program and Documentation by the federal government (or other entity acquiring for or through the federal government) and shall supersede any conflicting contractual terms or conditions. If this License fails to meet the government's needs or is inconsistent in any respect with federal procurement law, the government agrees to return the Program and Documentation, unused, to The MathWorks, Inc.

商標 (英語)

MATLAB and Simulink are registered trademarks of The MathWorks, Inc. See www.mathworks.com/trademarks for a list of additional trademarks. Other product or brand names may be trademarks or registered trademarks of their respective holders.

特許 (英語)

MathWorks products are protected by one or more U.S. patents. Please see www.mathworks.com/patents for more information.

改訂履歴

1996 年 12 月	初版
1997 年 5 月	第 2 版
1998 年 3 月	第 3 版
1999 年 1 月	第 4 版
1999 年 11 月	第 5 版
2000 年 11 月	第 6 版
2001 年 6 月	第 7 版
2002 年 7 月	第 8 版
2004 年 6 月	第 9 版
2004 年 10 月	第 10 版
2005 年 3 月	第 11 版
2005 年 9 月	第 12 版
2006 年 3 月	第 13 版
2006 年 9 月	第 14 版
2007 年 3 月	オンラインのみ
2007 年 9 月	オンラインのみ
2008 年 3 月	オンラインのみ
2008 年 10 月	オンラインのみ
2009 年 3 月	オンラインのみ
2009 年 9 月	オンラインのみ
2010 年 3 月	オンラインのみ
2010 年 9 月	オンラインのみ
2011 年 4 月	オンラインのみ
2011 年 9 月	オンラインのみ
2012 年 3 月	オンラインのみ
2012 年 9 月	オンラインのみ
2013 年 3 月	オンラインのみ
2013 年 9 月	オンラインのみ
2014 年 3 月	オンラインのみ
2014 年 10 月	オンラインのみ
2015 年 3 月	オンラインのみ
2015 年 9 月	オンラインのみ
2016 年 3 月	オンラインのみ
2016 年 7 月	オンラインのみ
2016 年 9 月	オンラインのみ
2017 年 3 月	オンラインのみ
2017 年 9 月	オンラインのみ
2018 年 3 月	オンラインのみ
2018 年 9 月	オンラインのみ

MATLAB 5.0 新版 (Release 8)
MATLAB 5.1 改訂版 (Release 9)
MATLAB 5.2 改訂版 (Release 10)
MATLAB 5.3 改訂版 (Release 11)
MATLAB 5.3.1 改訂版 (Release 11.1)
MATLAB 6.0 改訂版 (Release 12)
MATLAB 6.1 改訂版 (Release 12.1)
MATLAB 6.5 改訂版 (Release 13) 『インストール ガイド Windows 版』と名称変更
MATLAB 7.0 改訂版 (Release 14)
MATLAB 7.0.1 改訂版 (Release 14SP1)
MATLAB 7.0.4 改訂版 (Release 14SP2)
MATLAB 7.1 改訂版 (Release 14SP3)
MATLAB 7.2 改訂版 (Release 2006a)
MATLAB 7.3 改訂版 (Release 2006b)
MATLAB 7.4 改訂版 (Release 2007a)
MATLAB 7.5 改訂版 (Release 2007b)
MATLAB 7.6 改訂版 (Release 2008a)
MATLAB 7.7 改訂版 (Release 2008b)
MATLAB 7.8 改訂版 (Release 2009a)
MATLAB 7.9 改訂版 (Release 2009b)
MATLAB 7.10 改訂版 (Release 2010a)
MATLAB 7.11 改訂版 (Release 2010b) 『インス トール ガイド』と名称変更
MATLAB 7.12 改訂版 (Release 2011a)
MATLAB 7.13 改訂版 (Release 2011b)
MATLAB 7.14 改訂版 (Release 2012a)
MATLAB 8.0 改訂版 (Release 2012b)
MATLAB 8.1 改訂版 (Release 2013a)
MATLAB 8.2 改訂版 (Release 2013b)
MATLAB 8.3 改訂版 (Release 2014a)
MATLAB 8.4 改訂版 (Release 2014b)
MATLAB 8.5 改訂版 (Release 2015a)
MATLAB 8.6 改訂版 (Release 2015b)
MATLAB 9.0 改訂版 (Release 2016a)
MATLAB 9.0 改訂版 (Release 2016a)
MATLAB 9.1 改訂版 (Release 2016b)
MATLAB 9.2 改訂版 (Release 2017a)
MATLAB 9.3 改訂版 (Release 2017b)
MATLAB 9.4 改訂版 (Release 2018a)
MATLAB 9.5 改訂版 (Release 2018b)

インストールおよびアクティベーションの手順

インストールおよびアクティベーション	1-2
インストール方法	1-2
エンド ユーザー ライセンス許諾の表示	1-2
MathWorks アカウントを使用する製品のインストール	1-3
手順 1: 準備	1-3
手順 2: インストーラーの起動	1-5
手順 3: MathWorks アカウントを使用するインストール	1-7
手順 4: ソフトウェア ライセンス許諾書の確認	1-8
手順 5: MathWorks アカウントへのサインイン	1-8
手順 6: 2 段階認証コードの入力	1-11
手順 7: インストールするライセンスの選択	1-12
手順 8: インストール フォルダーの指定	1-14
手順 9: インストールする製品の指定	1-15
手順 10: インストール オプションの指定	1-16
手順 11: 選択内容の確認	1-18
手順 12: インストールの完了	1-20
手順 13: インストールのアクティベーション	1-21
MathWorks アカウントを使用するインストールのアクティベーション	1-23
手順 1: アクティベーション アプリケーションの起動	1-23
手順 2: 自動アクティベーションまたは手動アクティベーションの選択	1-24
手順 3: MathWorks アカウントへのログイン	1-27
手順 4: 2 段階認証コードの入力	1-30
手順 5: ライセンスの選択	1-31
手順 6: ユーザー名の指定	1-32
手順 7: アクティベーション情報の確認	1-33
手順 8: アクティベーションの完了	1-34
手順 9: この後は	1-35

ファイル インストール キーを使用した製品のインストール	1-36
手順 1: 準備	1-36
手順 2: インストーラーの起動	1-38
手順 3: ファイル インストール キーを使用するインストール	1-40
手順 4: ライセンス許諾書の確認	1-41
手順 5: ファイル インストール キーの指定	1-41
手順 6: インストール フォルダーの指定	1-43
手順 7: インストールする製品の指定	1-44
手順 8: インストール オプションの指定	1-45
手順 9: 選択内容の確認	1-47
手順 10: インストールの完了	1-48
手順 11: インストールのアクティベーション	1-49
インターネットを使用しないインストールのアクティベーション	1-51
手順 1: アクティベーションの開始	1-51
手順 2: ライセンス ファイルのパスの指定	1-52
手順 3: アクティベーションの完了	1-54
手順 4: この後は	1-54
既存のインストールの更新	1-56
既存のインストールへの製品の追加	1-56
既存のインストールのアップグレード	1-56
ライセンスの更新	1-57
MathWorks 製品のアンインストール	1-58
MathWorks 製品のアンインストール (対話形式)	1-58
非対話モードでのアンインストール	1-61
インストールのアクティベーションの停止	1-63
謝辞	1-68
MD5	1-68

インストール後の管理作業

2

MATLAB ソフトウェアの起動	2-2
ライセンスの更新	2-4

MATLAB 起動フォルダーの設定	2-5
MATLAB 環境オプションの設定	2-6

3

ライセンス管理者向けのインストール

ライセンス管理者向けのインストール手順	3-2
1 台のコンピューターへのインストール	3-3
手順 1: インストーラーの起動	3-3
手順 2: ログイン オプションの選択	3-5
手順 3: ソフトウェア ライセンス許諾書の確認	3-6
手順 4: MathWorks アカウントへのログイン	3-6
手順 5: 2 段階認証コードの入力	3-7
手順 6: [インストール] の選択	3-8
手順 7: ライセンスの選択	3-9
手順 8: インストール フォルダーの指定	3-10
手順 9: インストールする製品の指定	3-11
手順 10: 選択内容の確認	3-12
手順 11: インストールの完了	3-13
アクティベーション	3-14
インストールを後で行う場合の製品のダウンロード	3-16
手順 1: インストーラーのダウンロードおよび起動	3-16
手順 2: ログイン オプションの選択	3-17
手順 3: ソフトウェア ライセンス許諾書の確認	3-19
手順 4: MathWorks アカウントへのログイン	3-19
手順 5: 2 段階認証コードの入力	3-20
手順 6: [ダウンロードのみ] オプションの選択	3-21
手順 7: ダウンロード フォルダーとプラットフォームの指定	3-22
手順 8: ダウンロードする製品の指定	3-23
手順 9: 選択内容の確認	3-24
手順 10: ダウンロードの完了	3-25
ダウンロードしたソフトウェアのインストールおよびアクティベーション	3-26

ネットワーク ライセンス ファイルについて	4-2
ネットワーク ライセンス	4-2
MATLAB インストール	4-2
MATLAB 検索パス	4-3
ネットワーク ライセンス ファイルの内容	4-4
ネットワーク ライセンス ファイルの変更	4-5
ネットワーク インストールの計画	4-6
構成	4-6
FlexNet ライセンス マネージャーのインストール手順	4-7
MATLAB のインストール手順	4-7
次のステップ	4-12
ファイル インストール キーを使用したライセンス マネージャーのインストール	4-13
手順 1: インストールの準備	4-13
手順 2: インストーラーの起動	4-15
手順 3: [ファイル インストール キーを使用する] の選択 ..	4-17
手順 4: ソフトウェア ライセンス許諾書の確認	4-18
手順 5: ファイル インストール キーの指定	4-18
手順 6: インストール フォルダーの指定	4-19
手順 7: インストールに使用するライセンス マネージャーの選択	4-20
手順 8: ライセンス ファイルの場所の指定	4-21
手順 9: ライセンス マネージャーの設定: Windows システムのみ	4-22
手順 10: 選択内容の確認	4-23
手順 11: インストールの完了	4-24
MathWorks アカウントを使用したライセンス マネージャーのインストール	4-25
手順 1: インストールの準備	4-25
手順 2: インストーラーの起動	4-27
手順 3: [MathWorks アカウントでログインする] の選択	4-29
手順 4: ソフトウェア ライセンス許諾書の確認	4-31
手順 5: MathWorks アカウントへのログイン	4-31
手順 6: 2 段階認証コードの入力	4-32
手順 7: インストール オプションの選択	4-33
手順 8: インストールするライセンスの選択	4-34
手順 9: インストール フォルダーの指定	4-35

手順 10: インストールに使用するライセンス マネージャーの 選択	4-36
手順 11: ライセンス ファイルの場所の指定	4-37
手順 12: ライセンス マネージャーの設定: Windows システム のみ	4-38
手順 13: 選択内容の確認	4-39
手順 14: インストールの完了	4-41
ライセンス マネージャー ソフトウェアの更新	4-42
手順 1: ライセンス マネージャーの停止	4-42
手順 2a: デーモンをダウンロードして行うライセンス マネー ジャー ソフトウェアの更新	4-42
手順 2b: MATLAB インストーラーを使ったライセンス マネー ジャー ソフトウェアの更新	4-43
クライアントへの製品とライセンス情報の提供	4-44
クライアント システムへの MathWorks ソフトウェアのインストー ル	4-46
手順 1: インストーラーの起動	4-47
手順 2: インストール方法の選択	4-50
手順 3: ソフトウェア ライセンス許諾書の確認	4-50
手順 4: ファイル インストール キーの指定	4-51
手順 5: MathWorks アカウントへのログイン	4-51
手順 6: 2 段階認証コードの入力	4-54
手順 7: インストールするライセンスの選択	4-55
手順 8: インストール フォルダの指定	4-56
手順 9: インストールする製品の指定	4-57
手順 10: ライセンス ファイルの場所の指定	4-58
手順 11: インストール オプションの指定	4-59
手順 12: 選択内容の確認	4-61
手順 13: インストールの完了	4-63
次のステップ	4-63
ライセンス マネージャーの起動	4-65
Windows システム	4-65
Linux および Mac OS X システム	4-65
Linux システムで起動時にライセンス マネージャーを自動的に起 動するための設定	4-66
ライセンス マネージャーの管理	4-67
LMTTOOLS の使用 (Windows システムのみ)	4-67

ライセンス マネージャーのコマンド ライン ユーティリティの 使用	4-68
ネットワーク ライセンスの更新	4-71
非対話モードのインストール (サイレント インストール)	4-73
非対話モードのインストールを使用する状況	4-73
インストーラー プロパティ ファイルの使用	4-73
非対話モードでのアンインストール	4-75

トラブルシューティング

5

インストーラーが自動的に起動しない	5-2
製品の依存関係のメッセージが表示される理由	5-3
プロキシ サーバーの設定を指定する方法	5-4
MathWorks アカウントなしでアクティベーションを行う方法	5-5
ライセンス マネージャーでエラーが発生する意味	5-7
ライセンス マネージャー デーモンへのアクセスを許可する方法 ...	5-8
ライセンス マネージャー デーモンへのアクセスの許可	5-8
ベンダー デーモンへのアクセスの許可	5-8

インストールおよびアクティベーションの手順

この章では、コンピューターに MathWorks® 製品をインストールし、インストールのアクティベーションを行う方法を説明します。

- ・ 「インストールおよびアクティベーション」 (p. 1-2)
- ・ 「MathWorks アカウントを使用する製品のインストール」 (p. 1-3)
- ・ 「MathWorks アカウントを使用するインストールのアクティベーション」 (p. 1-23)
- ・ 「ファイル インストール キーを使用した製品のインストール」 (p. 1-36)
- ・ 「インターネットを使用しないインストールのアクティベーション」 (p. 1-51)
- ・ 「既存のインストールの更新」 (p. 1-56)
- ・ 「MathWorks 製品のアンインストール」 (p. 1-58)
- ・ 「インストールのアクティベーションの停止」 (p. 1-63)
- ・ 「謝辞」 (p. 1-68)

インストールおよびアクティベーション

MathWorks インストーラーを使用すると、次のオペレーティング システムのいずれかを実行しているコンピューターに MathWorks 製品をインストールしてアクティベーションを行うことができます。

- ・ Microsoft®Windows® オペレーティング システム (64 ビット)
- ・ Linux® オペレーティング システム (64 ビット)
- ・ Mac OS X オペレーティング システム

インストール方法

一般的なインストールの詳しい手順は、エンドユーザー向けインストールおよびアクティベーションを参照してください。

これらの手順は、インディビジュアル ライセンスまたはコンピューター指定ライセンスを保有している場合に使用してください。ネットワーク ライセンス オプションの設定の詳細については、「ネットワーク インストールの計画」 (p. 4-6) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)を参照してください。

エンド ユーザー ライセンス許諾の表示

エンド ユーザー ライセンス許諾を表示するには、MATLAB® コマンド ウィンドウで、次のコマンドを実行します。

```
>> edit( fullfile(matlabroot, 'license_agreement.txt') )
```

MathWorks アカウントを使用する製品のインストール

この節の内容...

- 「手順 1: 準備」 (p. 1-3)
- 「手順 2: インストーラーの起動」 (p. 1-5)
- 「手順 3: MathWorks アカウントを使用するインストール」 (p. 1-7)
- 「手順 4: ソフトウェア ライセンス許諾書の確認」 (p. 1-8)
- 「手順 5: MathWorks アカウントへのサインイン」 (p. 1-8)
- 「手順 6: 2 段階認証コードの入力」 (p. 1-11)
- 「手順 7: インストールするライセンスの選択」 (p. 1-12)
- 「手順 8: インストール フォルダーの指定」 (p. 1-14)
- 「手順 9: インストールする製品の指定」 (p. 1-15)
- 「手順 10: インストール オプションの指定」 (p. 1-16)
- 「手順 11: 選択内容の確認」 (p. 1-18)
- 「手順 12: インストールの完了」 (p. 1-20)
- 「手順 13: インストールのアクティベーション」 (p. 1-21)

1 台のマシンに MathWorks アカウントを使用して MATLAB をインストールするには、どのライセンス タイプ（エンド ユーザーおよび管理者）の場合でも以下の手順に従います。インストール中は、インターネットに接続していなければなりません。

System Requirements for MATLAB でシステムの最小要件を満たしていることを確認してください。

手順 1: 準備

インターネット接続を使用して、対話形式でインストールを行うには、以下が必要です。

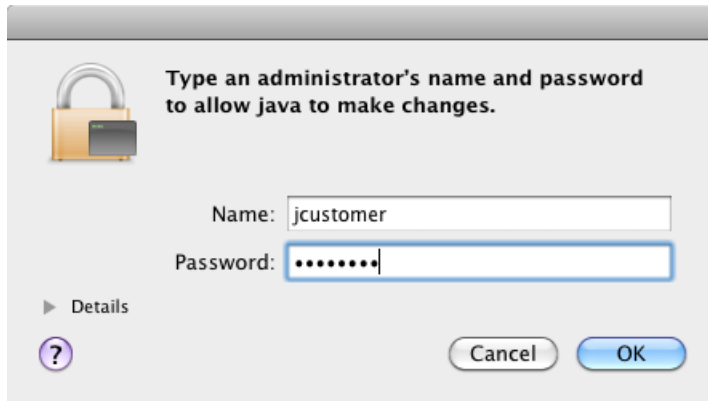
- ・ インターネット接続。インターネット接続がない場合は、「ファイル インストール キーを使用した製品のインストール」 (p. 1-36)（インストール、ライセンスおよびアクティベーション）の手順に従います。
- ・ 電子メール アドレスと MathWorks アカウントのパスワード。これらは、インストール中にユーザー アカウントにログインするために必要になります。アカウントに複数のライセンスが関連付けられている場合は、どのライセンスをインストールするか決定しておきます。

ネットワーク ライセンスのエンド ユーザーで、MathWorks アカウントを保有していない場合は、インストール中にアカウントを作成できます。アカウントを作成するには、“アクティベーション キー” が必要です。アクティベーション キーとは、ライセンスを識別する固有のコードのことです。アクティベーション キーは、ライセンス管理者から入手できます。

- ・ ソフトウェアのインストールに適した権限。権限に関する質問は、システム管理者にお問い合わせください。

メモ ソフトウェアをインストールするために管理者アカウントまたはルート権限を使用しますが、通常、管理ユーザー アカウントに対してはソフトウェアのアクティベーションを行いません。ソフトウェアをアクティベートするときは、ソフトウェアの使用者となるこれらの権限をもたないアカウントを指定します。管理者権限またはルート権限をもつユーザーとして MATLAB を実行することは推奨しません。

- ・ Windows – 使用しているコンピューターの管理者権限をもつアカウントの名前とパスワードを取得します。
- ・ Linux – ルート パスワードを取得します。MATLAB ソフトウェアはスーパーユーザー権限がなくてもインストールできますが、特定のインストール オプションが制限されます。たとえば、matlab コマンドへのシンボリック リンクの設定、保護されているフォルダーへの製品ファイルのインストール、またはシステム起動スクリプトの編集を行うには、スーパーユーザーのステータスを保有していなければなりません。
- ・ Mac OS X – 使用しているコンピューターの管理者アカウントの名前とパスワードを取得します。管理者アカウントは Mac OS X システムの構成時に設定されたユーザーアカウントであり、MathWorks アカウントではありません。インストール中に、この名前とパスワードを [Authenticate] ダイアログ ボックスに入力します。



- ・ インストール中は、システムのウイルス対策ソフトウェアとインターネット セキュリティ アプリケーションを無効にしてください。これらのアプリケーションによって、インストールの処理が遅くなったり、反応が示されない可能性もあります。

準備ができたなら、「MathWorks アカウントを使用する製品のインストール」 (p. 1-3) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)に進みます。

手順 2: インストーラーの起動

- 1 MathWorks Web サイトからインストーラーをダウンロードするか、お持ちの MATLAB DVD を用意します。

Web サイトでインストーラーを選択すると、製品ファイルではなく、選択したプラットフォームでインストーラーを実行するために必要なファイルが渡されます。インストーラーを実行して、ログインしているコンピューターにインストールする製品を選択します。必要に応じて、インストーラーが製品を MathWorks からダウンロードします。

- 2 インストーラーを起動します。インストーラーの起動方法は、プラットフォームによって異なります。また、MathWorks Web サイトからインストーラーをダウンロードするのか、DVD を使用するのかによっても異なります。

- ・ Windows

- ・ ダウンロードしたインストーラー ファイル – MathWorks Web サイトでインストーラーを選択して [実行] をクリックすると、インストーラーが自動的に起動します。インストーラーを保存した場合は、保存先のフォルダーにある自己解凍形式のインストーラー ファイルをダブルクリックします。自己解凍形式のインストーラー ファイルの名前は matlab_release_\$ARCH です。release はイン

ストールするリリース（R2018b など）を、\$ARCH は選択したアーキテクチャを示します。

解凍の完了後に、インストーラーが自動的に起動します。

後でインストーラーを再起動するには、setup.exe をクリックします。このファイルは、ファイルを解凍したフォルダーの最上位にあります。

- ・ DVD によるインストール – システムに接続されている DVD ドライブに DVD 1 を挿入します。通常、インストーラーが自動的に起動します。2 枚目のディスクを挿入するよう求められたら、DVD 2 を挿入します。
- ・ Mac OS X
 - ・ ダウンロードしたインストーラー ファイル – MathWorks Web サイトからダウンロードした dmg ファイルをダブルクリックします。InstallForMacOSX.app をダブルクリックします。
 - ・ DVD によるインストール – システムに接続されている DVD ドライブに DVD 1 を挿入します。DVD アイコンがデスクトップに表示されたら、そのアイコンをダブルクリックして DVD の内容を表示し、InstallForMacOSX アイコンをダブルクリックしてインストールを開始します。



InstallForMacOSX

2 枚目のディスクを挿入するよう求められたら、DVD 2 を挿入します。

- ・ Linux
 - ・ ダウンロードしたインストーラー ファイル – unzip コマンドを使用して、MathWorks Web サイトからダウンロードしたアーカイブ ファイルからファイルを解凍します。ファイルの解凍後、次のインストーラー コマンドを実行します。

```
./install
```

DVD によるインストール – システムに接続されている DVD ドライブに DVD 1 を挿入し、次のコマンドを実行します。

```
/path_to_dvd/install &
```


メモ DVD ルート内からインストールを実行しないでください。インストールは DVD ルートの外にあるディレクトリから開始します。

システムの構成によっては、最初に DVD をマウントしなければならないことがあります。次の例のように、必ず実行権限を指定してマウントしてください。DVD ドライブの名前は、お使いのシステムでは異なっている場合があります。

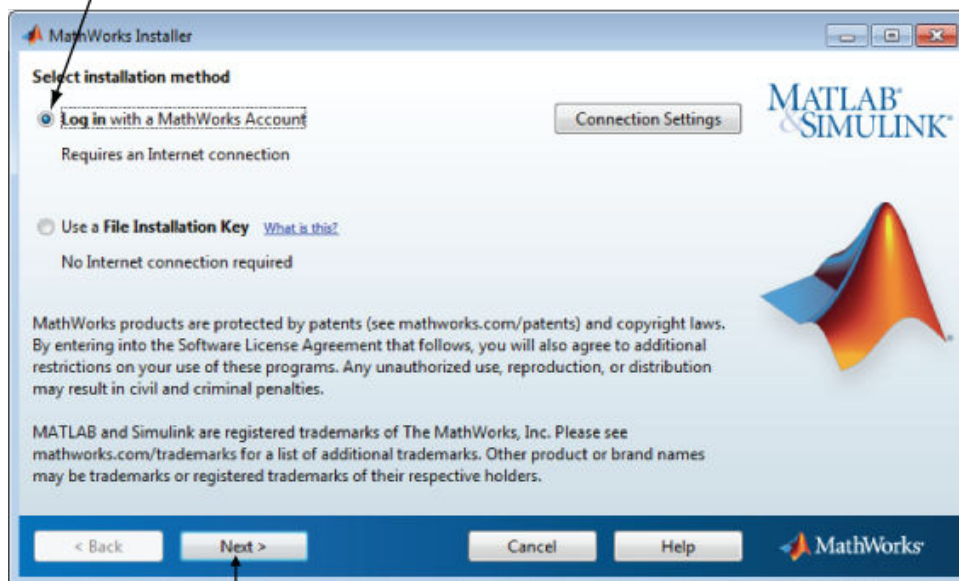
```
mount -o exec /media/cdrom0
```

2 枚目のディスクを挿入するよう求められたら、DVD 2 を挿入します。

手順 3: MathWorks アカウントを使用するインストール

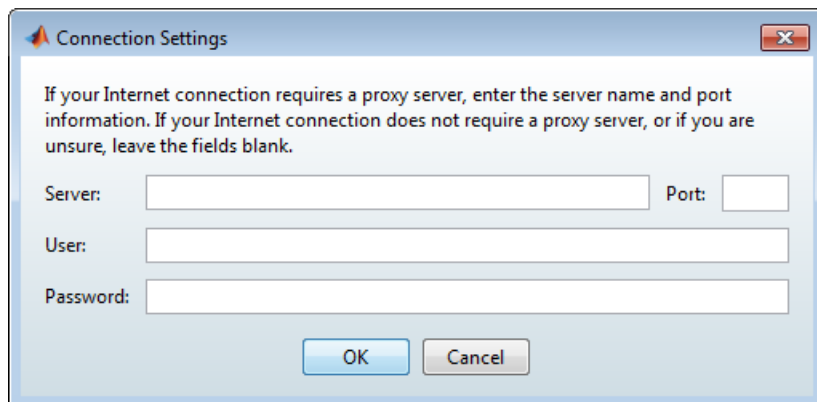
[MathWorks アカウントでログインする] オプションをオン（既定）にしておき、[次へ] をクリックします。インストール中に MathWorks アカウントにログインし、インストールするライセンスを選択してインストーラーの指示に従います。

Select this option to install products using an Internet connection.



Click Next.

インターネット接続にプロキシ サーバーを必要とする場合は、[接続設定] をクリックします。[接続設定] ページに、サーバー名、ポートおよびパスワードを入力します。MathWorks は基本認証とダイジェスト認証のプロキシ設定をサポートしています。

A screenshot of a Windows dialog box titled "Connection Settings". The dialog has a blue title bar with a red close button. The main area has a light blue background. It contains the following text: "If your Internet connection requires a proxy server, enter the server name and port information. If your Internet connection does not require a proxy server, or if you are unsure, leave the fields blank." Below this text are four input fields: "Server:" (a text box), "Port:" (a text box), "User:" (a text box), and "Password:" (a text box). At the bottom of the dialog are two buttons: "OK" and "Cancel".

メモ Windows システムでは、インストーラーは、既定でシステムのプロキシ設定を使用します。プロキシ サーバーがログインを要求する場合、インストーラーはログイン情報の入力を指示するプロンプトを表示します。

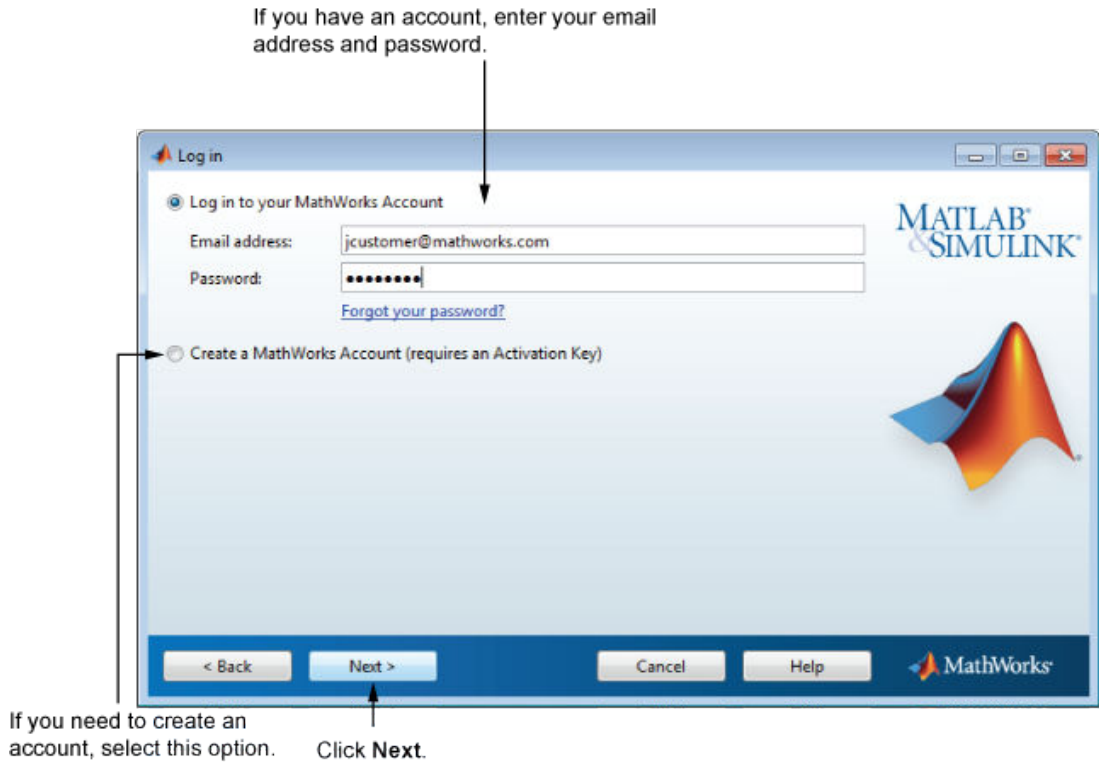
手順 4: ソフトウェア ライセンス許諾書の確認

ソフトウェア ライセンス許諾書を確認し、条件に同意する場合は [はい] を選択して [次へ] をクリックします。

手順 5: MathWorks アカウントへのサインイン

MathWorks アカウントにログインするには、電子メール アドレスとパスワードを入力して、[次へ] をクリックします。インストーラーにより MathWorks へのアクセスが行われ、アカウントに関連付けられたライセンスに関する情報が取得されます。アカウントで 2 段階認証を有効にしている場合、認証コードが主な方法に送信されます。

MathWorks アカウントを保有していない場合は、[MathWorks アカウントを作成する (アクティベーション キーが必要)] オプションをオンにして [次へ] をクリックします。アカウントの作成に必要なデータの入力を指示するプロンプトが表示されます。



MathWorks アカウントを作成します。

アカウントを作成するには、電子メール アドレス、姓、名およびパスワードを入力します。新しく作成したアカウントにはライセンスが関連付けられていないので、アクティベーション キーも入力しなければなりません。

アクティベーション キーによって、インストールするライセンスが識別されます。このライセンスの管理者は、MathWorks Web サイトのライセンス センターからキーを取得できます。

メモ アクティベーション キーのダッシュやスペースの入力は任意です。

[次へ] をクリックして、アカウントを作成します。

Enter your email address. Create a password for your account.

Account Creation

Create a MathWorks Account (Step 1 of 2)

Upon successful creation of your account, an email will be sent to you. In Step 2, you will need to verify the email address you provide, before you can proceed.

Email address: jcustomer@mathworks.com

Retype Email address: jcustomer@mathworks.com

Password:

Retype Password:

First name: Jane

Last name: Customer

Activation Key: 55555-55555-55555-55555-55555-55555

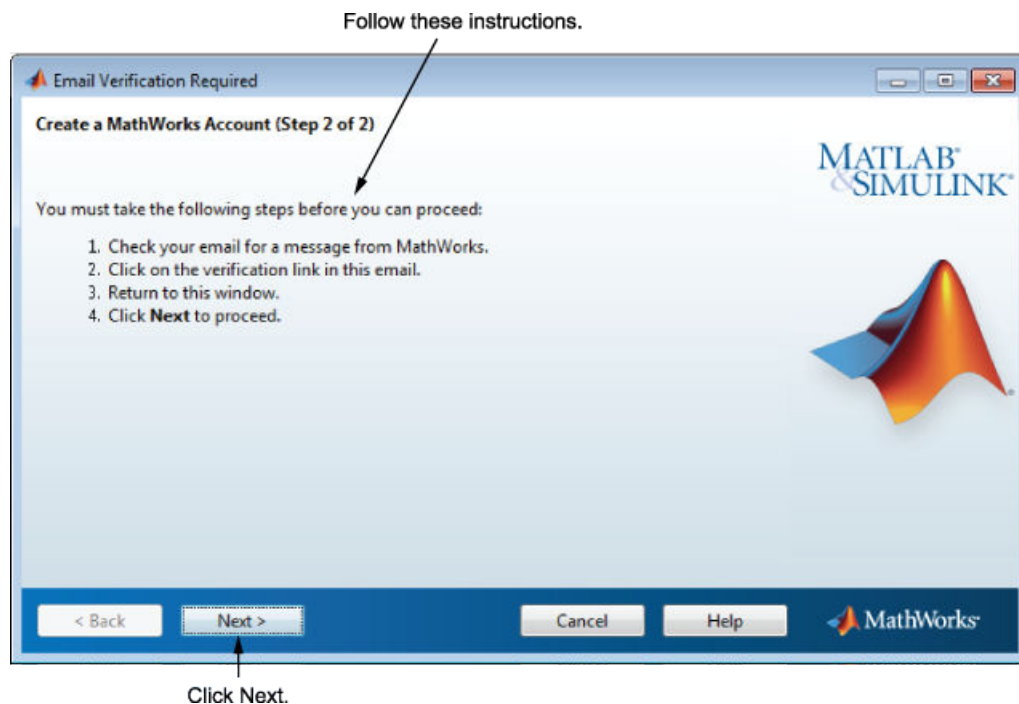
You may have received the Activation Key from the administrator of the license.

[Privacy Policy](#)

< Back Next > Cancel Help MathWorks

Click Next. Enter Activation Key. Enter first name and last name.

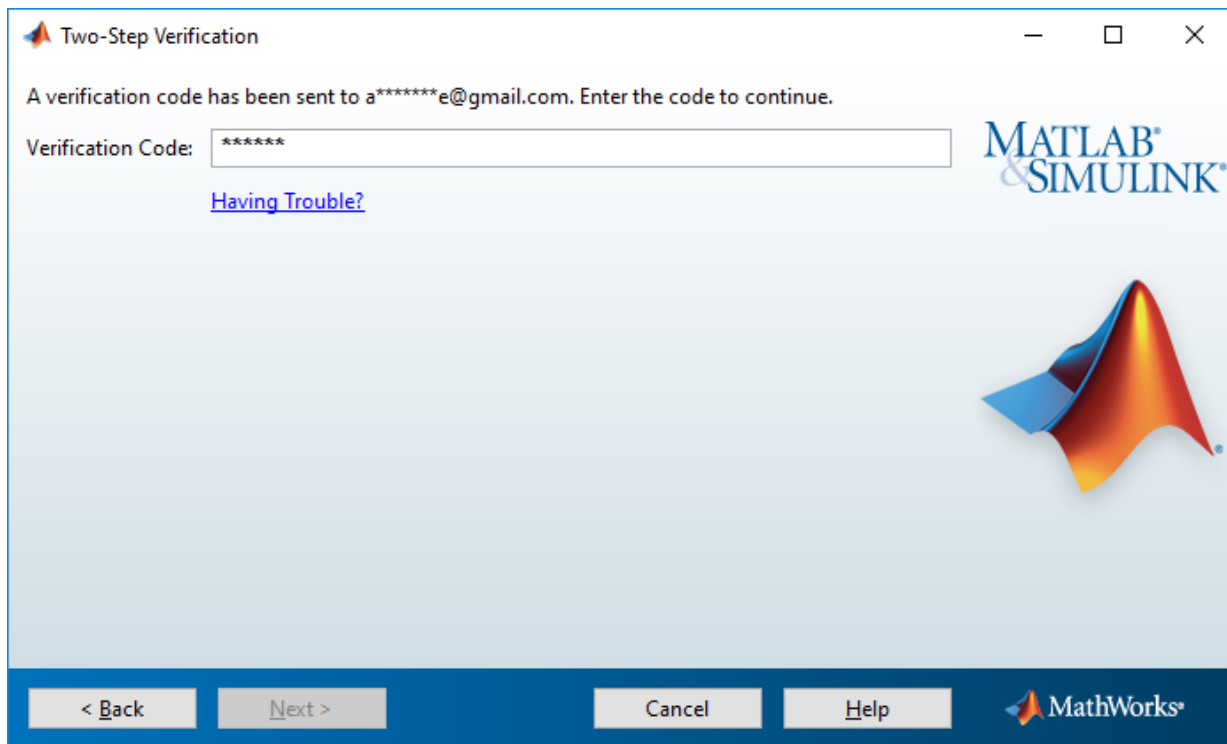
メモ 新しい MathWorks アカウントを作成したら、インストールを続行する前に、電子メール アドレスを確認しなければなりません。[電子メールの確認が必要] ダイアログ ボックスの [次へ] をクリックする前に、電子メール プログラムに移動して MathWorks から送信されたメッセージを開き、確認リンクをクリックします。次に、このダイアログ ボックスに戻り、[次へ] をクリックします。



手順 6: 2 段階認証コードの入力

MathWorks アカウントで 2 段階認証を有効にしている場合、MathWorks アカウントのサインイン時に、主な方法に送信された認証コードを入力するよう求めるメッセージが表示されます。2 段階認証を有効にしていない場合は、次のステップに直接進むことができます。

主な方法に送信された認証コードを入力します。



[次へ] をクリックしてインストールを実行します。

手順 7: インストールするライセンスの選択

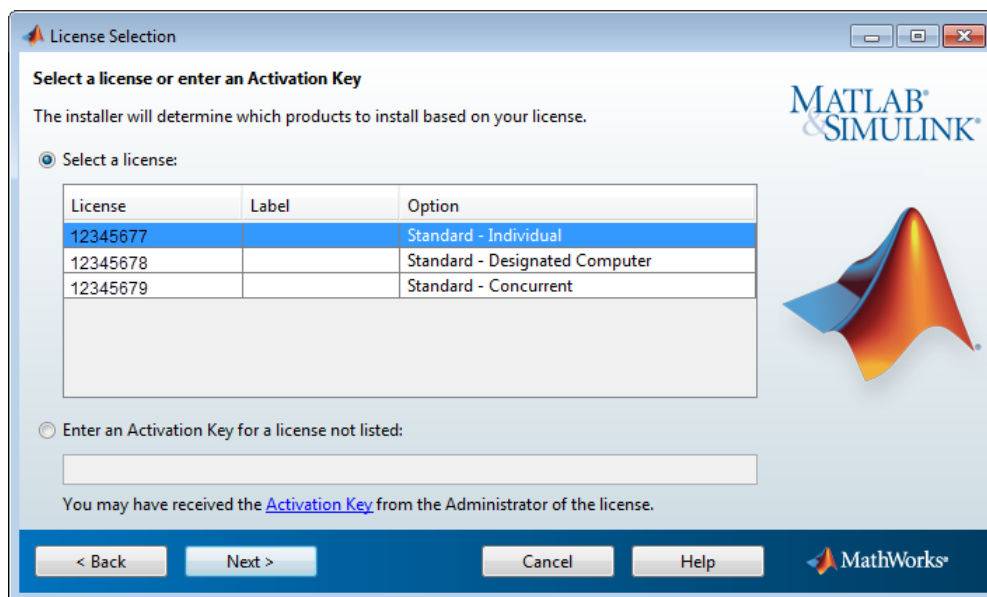
MathWorks アカウントに関連付けられたライセンスのリストからライセンスを選択して、[次へ] をクリックします。

自分の MathWorks アカウントに関連付けられていないライセンスを使用して製品をインストールする場合は、次の操作を行います。

- 1 [リストされていないライセンスのアクティベーション キーを入力] オプションをオンにします。
- 2 アクティベーション キーを入力して、[次へ] をクリックします。

“アクティベーション キー” とは、ライセンスを識別する固有のコードのことです。このコードを使用して、ライセンスのアクティベーションを行います。また、ライセンス

を付与されたエンド ユーザーは各自の MathWorks アカウントをライセンスに関連付けることができます。ライセンス管理者は、MathWorks Web サイトのライセンス センターからアクティベーション キーを取得できます。



アクティベーション キーの指定

アカウントにライセンスが関連付けられていない場合、または、選択したライセンスでアクティベーションを行う権限が無効になっている場合、インストーラーによって「アクティベーション キー」ダイアログ ボックスが表示されることがあります。要求されたアクティベーション キーを入力して、「次へ」をクリックします。アクティベーション キーについては、ライセンス管理者にお問い合わせください。

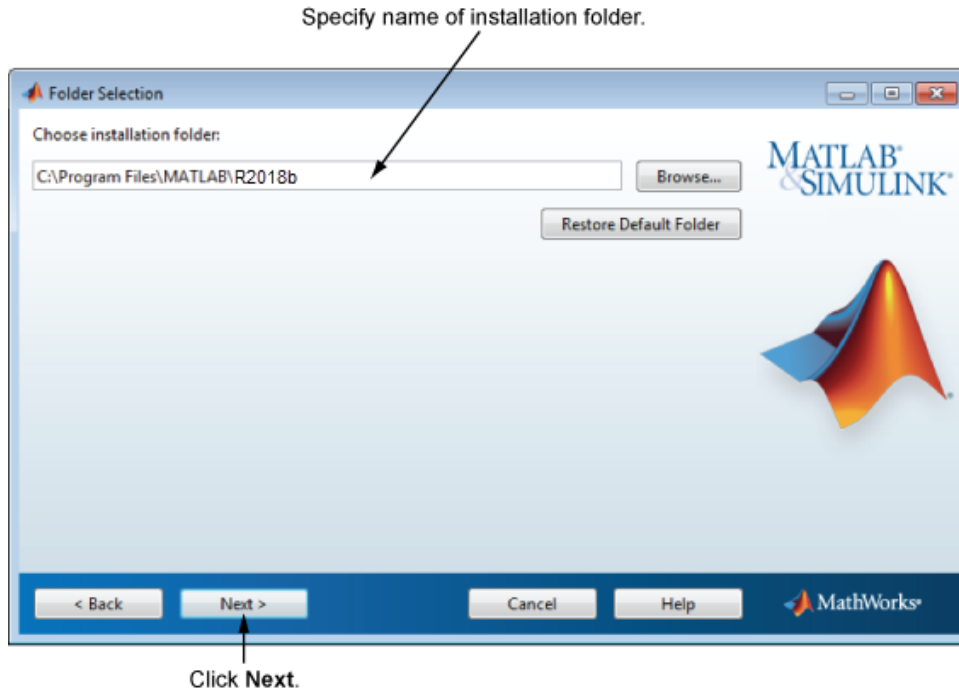
メモ アクティベーション キーのダッシュやスペースの入力は任意です。



手順 8: インストール フォルダの指定

MathWorks 製品をインストールするフォルダの名前を指定します。既定のインストールフォルダをそのまま使用するか、[参照] をクリックして別のフォルダを選択します。指定したフォルダが存在しない場合は、インストーラーによって作成されます。

フォルダ名を指定するときは、任意の英数字に加えて、アンダースコアなどの一部の特殊文字を使用できます。フォルダ名の入力を誤った場合にやり直すには、[既定のフォルダに戻す] をクリックします。選択を行った後、[次へ] をクリックします。

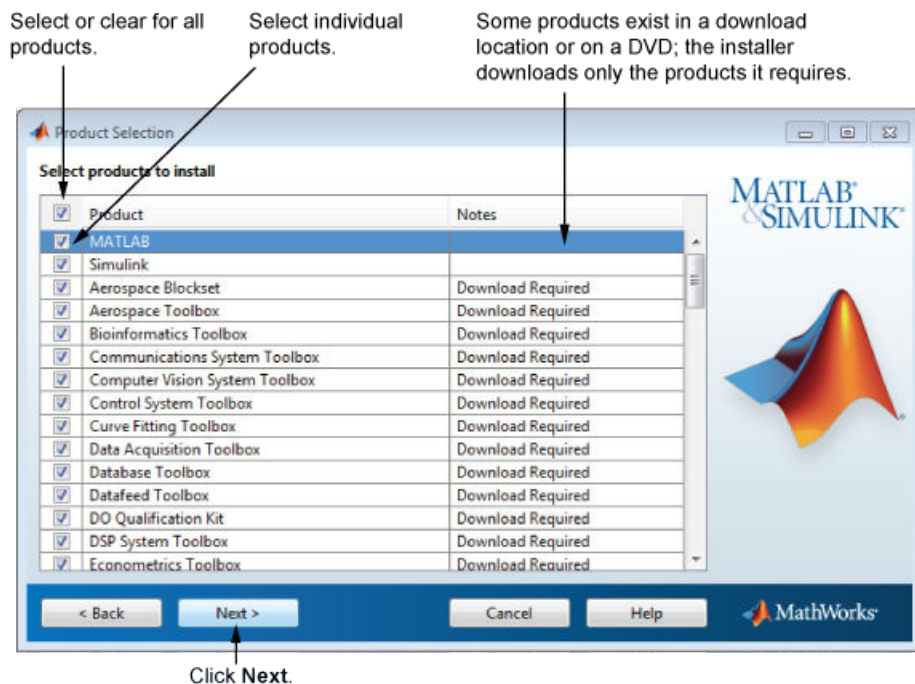


手順 9: インストールする製品の指定

製品リストから、インストールする製品を指定します。このリストには、選択したライセンス、あるいは指定したアクティベーション キーまたはファイル インストール キーに関連付けられているすべての製品が表示されます。インストール対象外の製品がある場合は、製品名の横のチェック ボックスをオフにします。MATLAB は既定の設定でインストールされます。

メモ 選択した製品がお使いのコンピューターの既定のダウンロード場所または DVD に存在している場合、インストーラーは MathWorks からファイルをダウンロードする代わりに、ローカル ファイルを使用してインストールを実行します。製品を再度ダウンロードする場合は、[フォルダーの選択] ダイアログ ボックスに戻り、別のインストール フォルダーを選択します。

1 インストールおよびアクティベーションの手順



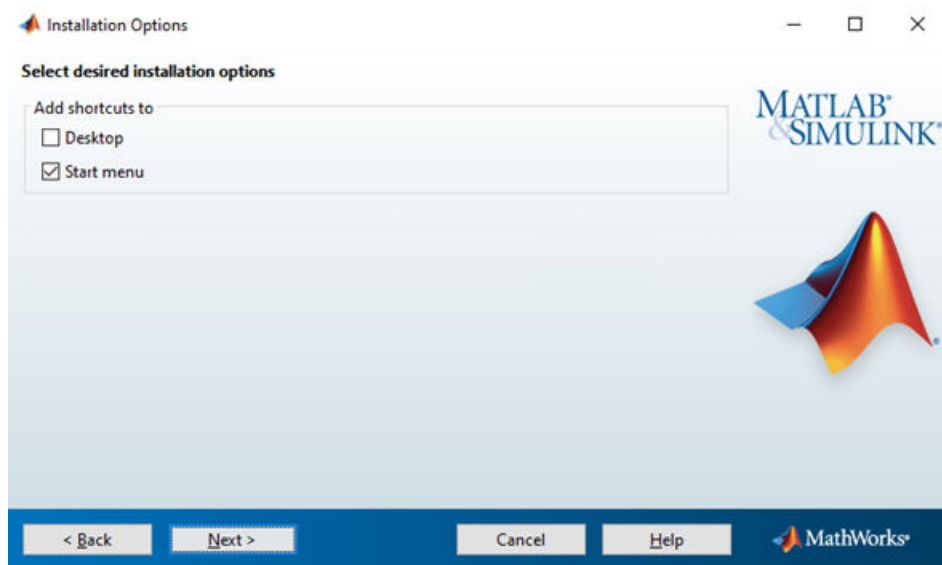
インストールする製品を選択した後、[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

手順 10: インストール オプションの指定

インストール先のプラットフォームに応じて、いくつかのインストール オプションを指定できます。

Windows

Windows では、[インストール オプション] ダイアログ ボックスで、[スタート] メニューとデスクトップに MATLAB の起動用ショートカットを配置するオプションが提供されます。

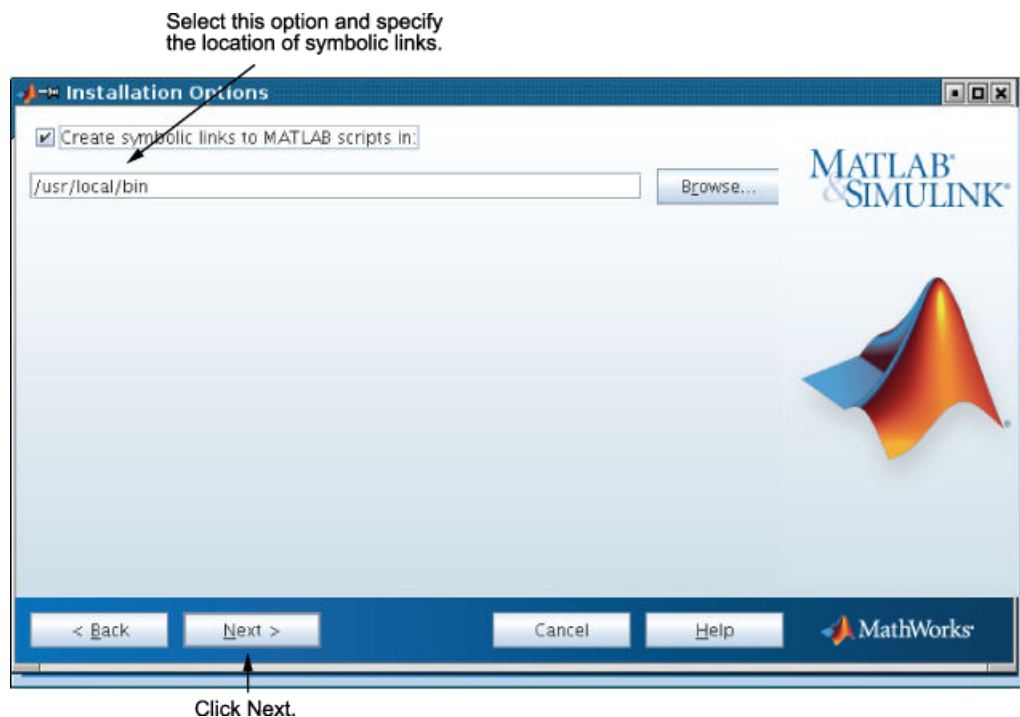


インストール オプションを選択した後、[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

Linux

Linux システムでは、matlab スクリプトおよび mex スクリプトへのシンボリック リンクを作成するかどうかを指定できます。書き込み権限があり、自分のユーザー パスすべてに共通する /usr/local/bin などのフォルダーを指定します。

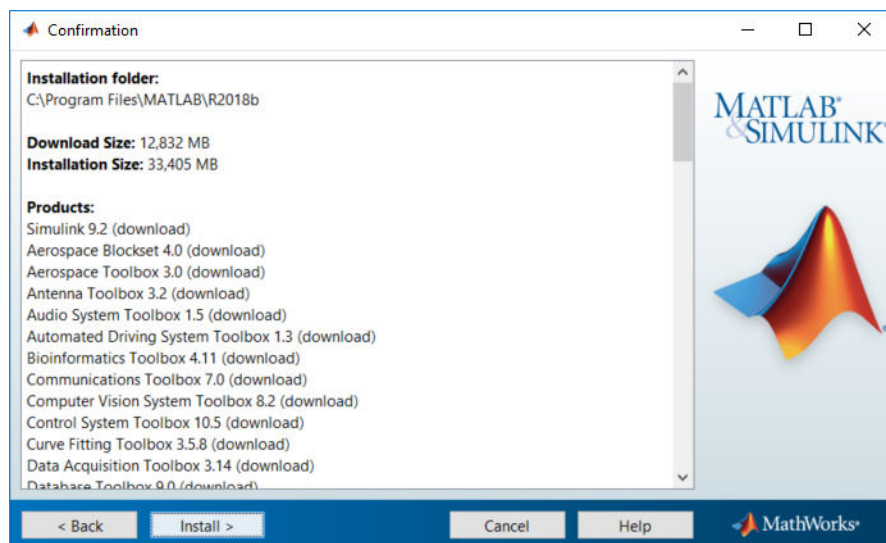
インストール オプションを選択した後、[次へ] をクリックしてインストールを続行します。



手順 11: 選択内容の確認

ソフトウェアをハード ディスクにインストールする前に、インストーラーにインストール内容の要約が表示されます。設定を変更するには、[戻る] をクリックします。インストールを続行するには、[インストール] をクリックします。

メモ 使用するインストール方法によっては、確認情報がここで示される例とは異なる場合があります。

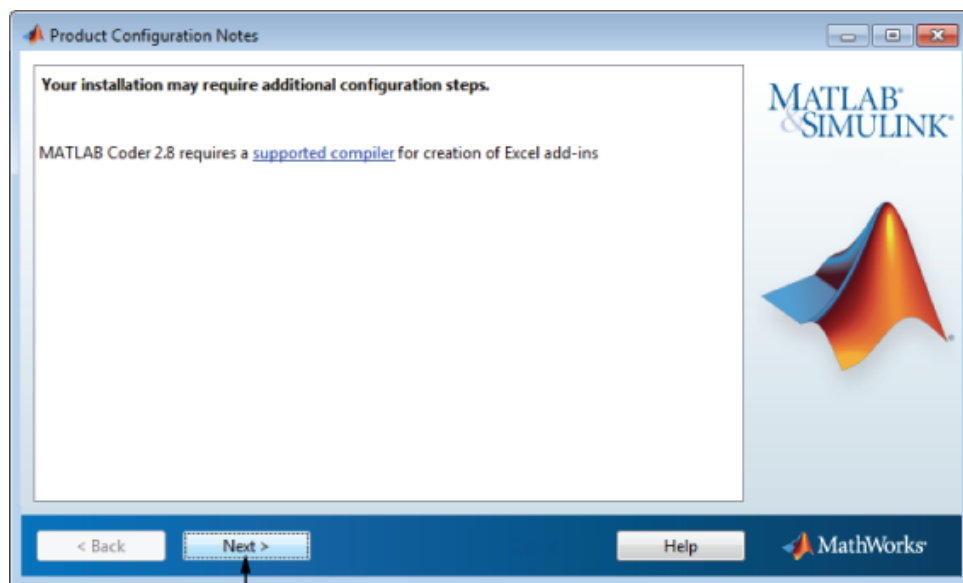


製品の設定に関するメモの確認

インストールする製品によっては、インストーラーで追加の情報を含むダイアログ ボックスが表示されることがあります。

- ・ 製品の設定情報 – 一部の製品では追加の設定が必要になります。追加の設定が必要な製品をインストールした場合、このダイアログ ボックスに設定コマンドの一覧が表示されます。
- ・ サポートされるコンパイラおよび SDK – 一部の製品ではサポートされるコンパイラまたはソフトウェア開発キットが必要です。この要件がある製品をインストールした場合は、詳細な情報へのリンクがインストーラーに表示されます。

[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

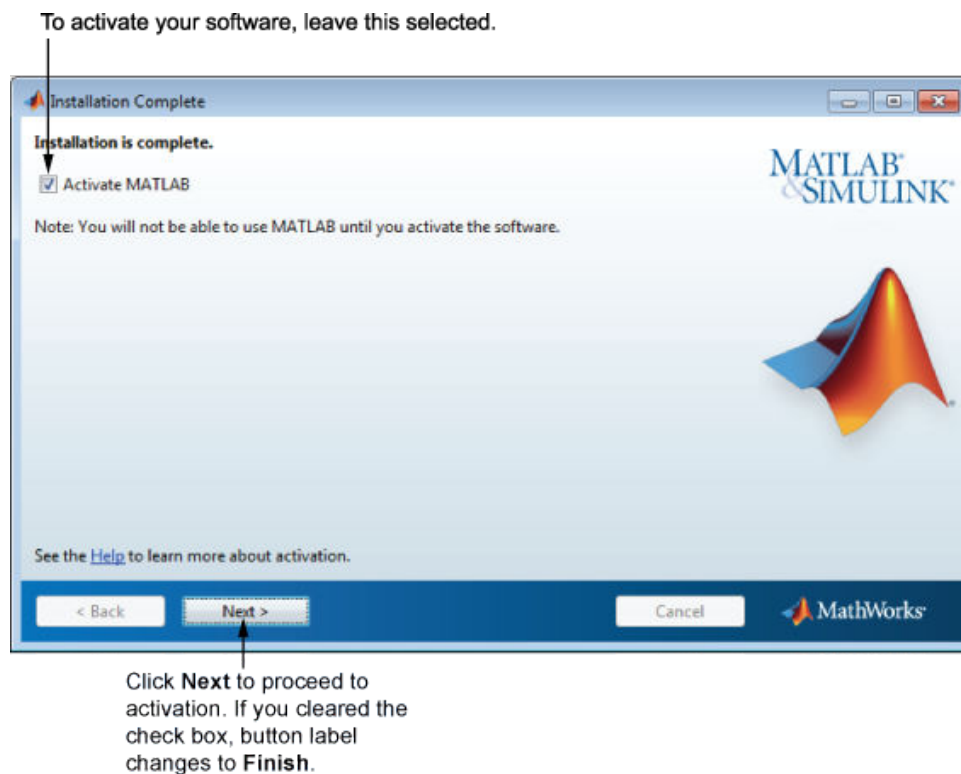


Click Next.

手順 12: インストールの完了

インストールが正常に完了した後、インストールしたソフトウェアのアクティベーションを行うかどうかを選択できます。インストールしたソフトウェアは、アクティベーションを行うまで使用できません。インストール直後にアクティベーションを行うと、最も早く MATLAB の使用を開始できます。[次へ] をクリックして、アクティベーションを実行します。

ソフトウェアのアクティベーションを行わずにインストーラーを終了する場合は、[MATLAB のアクティベーション] オプションをオフにし、ラベルが [終了] に変更されたボタンをクリックします。後でソフトウェアのアクティベーションを行うときには、アクティベーション アプリケーションを使用します。ソフトウェアのアクティベーションが行われていない場合、MATLAB を起動したときにアクティベーション アプリケーションが自動的に起動します。



手順 13: インストールのアクティベーション

MATLAB のインストールでは、続いてソフトウェアのアクティベーションが行われます。手順の詳細については、「MathWorks アカウントを使用するインストールのアクティベーション」(p. 1-23) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)を参照してください。

メモ 管理者: ソフトウェアのインストールは自分が行っても、アクティベーションはエンドユーザーに行わせたいという場合があるかもしれません。この場合、手順はここで完了です。エンドユーザーによるソフトウェアのアクティベーションの準備ができれば、リンク先の手順を実施するようエンドユーザーに指示します。

参考

関連する例

- ・ 「MathWorks アカウントを使用するインストールのアクティベーション」 (p. 1-23)
(インストール、ライセンスおよびアクティベーション)

MathWorks アカウントを使用するインストールのアクティベーション

この節の内容...

- 「手順 1: アクティベーション アプリケーションの起動」 (p. 1-23)
- 「手順 2: 自動アクティベーションまたは手動アクティベーションの選択」 (p. 1-24)
- 「手順 3: MathWorks アカウントへのログイン」 (p. 1-27)
- 「手順 4: 2 段階認証コードの入力」 (p. 1-30)
- 「手順 5: ライセンスの選択」 (p. 1-31)
- 「手順 6: ユーザー名の指定」 (p. 1-32)
- 「手順 7: アクティベーション情報の確認」 (p. 1-33)
- 「手順 8: アクティベーションの完了」 (p. 1-34)
- 「手順 9: この後は」 (p. 1-35)

ソフトウェアが正常にインストールされ、使用する準備ができたなら、アクティベーションを行います。通常、インストーラーは全インストール プロセスの一部としてアクティベーションを続行します。このトピックでは、アクティベーション プロセスについて説明します。まだ MATLAB をインストールしていない場合は、先に「MathWorks アカウントを使用する製品のインストール」 (p. 1-3) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション) の手順に従います。

自分でインストールしていないソフトウェアのアクティベーションを行うように指示される場合もあるでしょう。その場合、インターネットに接続できる環境であれば、この手順に従います。インターネット接続がない場合は、「インターネットを使用しないインストールのアクティベーション」 (p. 1-51) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション) の手順に従います。

手順 1: アクティベーション アプリケーションの起動

アクティベーション アプリケーションを起動するには、次のいずれかの方法を使用します。

- ・ インストールの終了後、[インストールの完了] ダイアログ ボックスの [MATLAB のアクティベーション] チェック ボックスをオンのままにしておきます。
- ・ アクティベーションが行われていない MATLAB のインストールを開始します。
- ・ MATLAB を実行している場合は、[ホーム] タブの [リソース] セクションで [ヘルプ]、[ライセンス]、[ソフトウェアのアクティベーションを行う] を選択します。

- ・ MATLAB インストール フォルダーに移動し、アクティベーション アプリケーションを開きます。

Windows – matlabroot/bin/\$ARCH フォルダーにある `activate_matlab.exe` ファイルをダブルクリックします。ここで、matlabroot は MATLAB インストール フォルダーであり、\$ARCH は matlabroot\bin\win64 のようなプラットフォーム固有のサブフォルダーです。

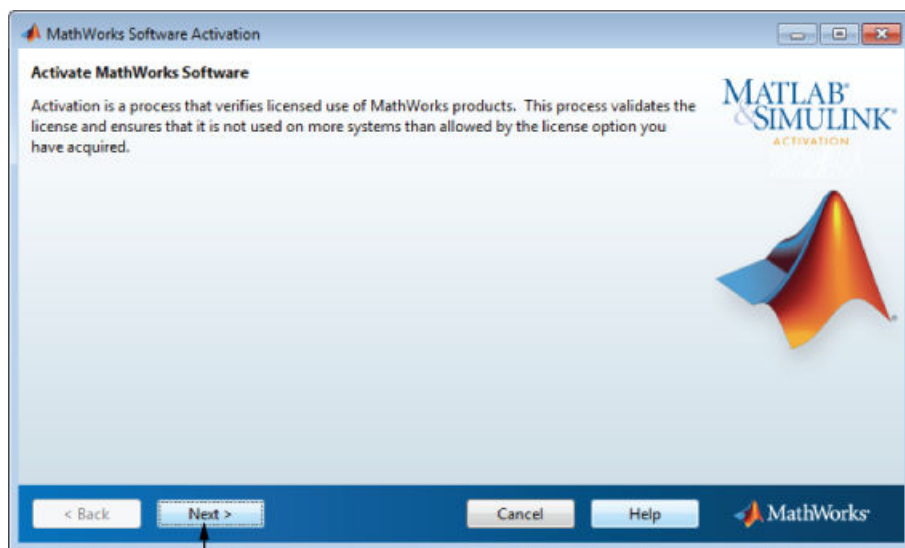
Linux および Mac OS X – matlabroot/bin フォルダーにある `activate_matlab.sh` スクリプトを実行します。

- ・ Mac OS X – MATLAB アプリケーション パッケージに含まれているアクティベーション アプリケーション アイコンをダブルクリックします。MATLAB アプリケーション パッケージの内容を表示するには、パッケージを右クリック（または Ctrl キーを押しながらクリック）し、[パッケージの内容を表示] を選択します。

手順 2: 自動アクティベーションまたは手動アクティベーションの選択

“アクティベーション” は、ライセンス許可を受けて MathWorks 製品を使用することを確認するプロセスです。このプロセスでは、ライセンスを検証して、ライセンス オプションで許可されている数を超えるコンピューターまたはユーザーによってソフトウェアが使用されないようにします。

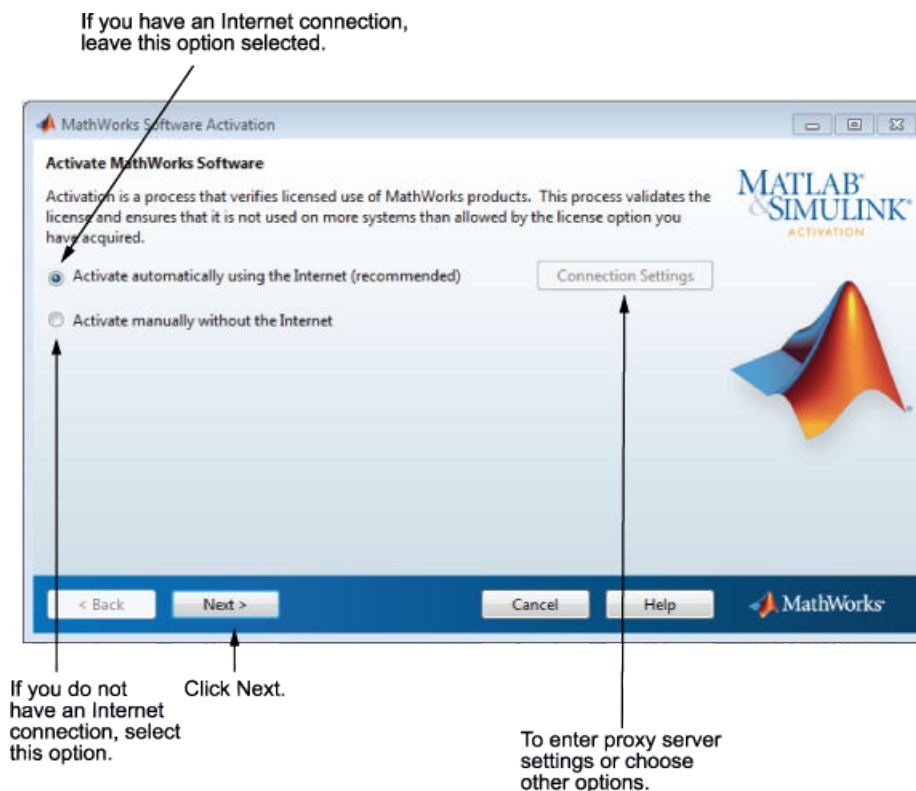
インストーラーによってアクティベーション アプリケーションを開始し、インストール中に MathWorks アカウントにログインした場合は、アクティベーション プロセスでも同じログイン セッションが続行されます。[次へ] をクリックして、アクティベーションを実行します。



Click Next.

インストール中に MathWorks アカウントにログインしなかった場合や、アクティベーションアプリケーションを単独で起動した場合は、自動アクティベーションか手動アクティベーションを選択しなければなりません。インターネットに接続している場合は、[インターネットを使って自動的にアクティベーションを行う（推奨）] オプションをオンのままにします。インストール直後にアクティベーションを行うと、最も早く MATLAB の使用を開始できます。

インターネットに接続していない場合は、[インターネットを使わずに手動でアクティベーションを行う] をオンにします。このオプションを選択した場合、手動アクティベーションを行うにはライセンス ファイルが必要です。ライセンス ファイルによって、実行できる製品が特定されます。ライセンス ファイルがない場合は、ライセンス管理者に連絡して取得してください。



プロキシ サーバーの指定

メモ Windows システムでは、アクティベーション アプリケーションは、既定でシステムのプロキシ設定を使用します。

インターネット接続にプロキシ サーバーを必要とする場合は、[接続設定] ボタンをクリックします。[プロキシ設定] ダイアログ ボックスでは、サーバー名とポートの情報を入力し、他のアクティベーション オプションにアクセスすることができます。MathWorks では、いくつかの種類のプロキシ設定をサポートしています。基本認証、ダイジェスト認証などです。

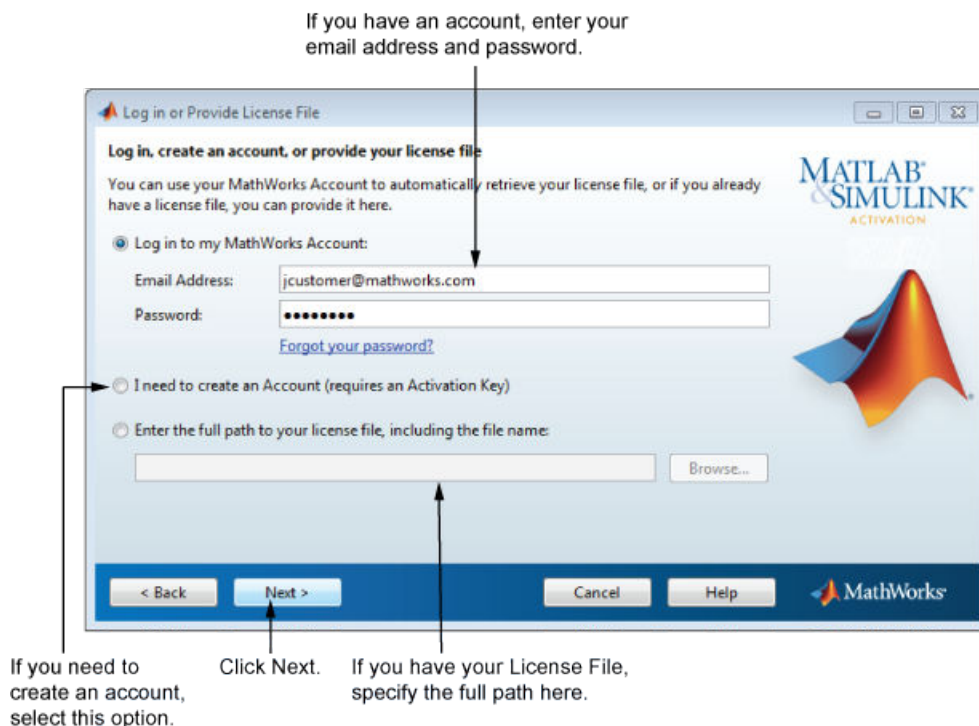
手順 3: MathWorks アカウントへのログイン

メモ インストール中にアカウントにログインし、インストールの直後にアクティベーションを続けて行う場合、アクティベーション アプリケーションではこの手順が省略されます。

MathWorks アカウントの電子メール アドレスとパスワードを入力して、[次へ] をクリックします。アクティベーション アプリケーションにより MathWorks へのアクセスが行われ、アカウントに関連付けられたライセンスが取得されます。アカウントで 2 段階認証を有効にしている場合、認証コードが主な方法に送信されます。

MathWorks アカウントを保有していない場合は、[アカウントを作成する（アクティベーション キーが必要）] オプションをオンにして [次へ] をクリックします。

既にライセンス ファイルを保有している場合は、[ライセンス ファイルのファイル名を含む絶対パスを入力してください] オプションをオンにし、ファイルへの絶対パスを指定して、[次へ] をクリックします。ライセンス ファイルによって、実行できる製品が特定されます。ライセンス管理者に連絡して、ライセンス ファイルを取得してください。ライセンス ファイルを指定した後、アクティベーション アプリケーションではプロセスの後続の手順がすべて省略され、[アクティベーションの完了] ダイアログ ボックスが開きます。



MathWorks アカウントを作成します。

アカウントを作成するには、電子メール アドレス、姓、名およびパスワードを入力します。アクティベーション キーの入力も必要です。新しく作成したアカウントには、ライセンスが関連付けられていません。アクティベーション キーによって、アクティベーションを行うライセンスが識別されます。

メモ アクティベーション キーのダッシュやスペースの入力は任意です。

ライセンス管理者は、MathWorks Web サイトのライセンス センターからアクティベーション キーを取得できます。

[次へ] をクリックして、アカウントを作成します。

Enter email address. Create a password for your account.

Click Next. Enter Activation Key. Enter first and last name.

Upon successful creation of your account, an email will be sent to you. In Step 2, you will need to verify the email address you provide, before you can proceed.

Email Address: jcustomer@mathworks.com

Retype Email address: jcustomer@mathworks.com

Password:

Retype Password:

First name: Jane

Last name: Customer

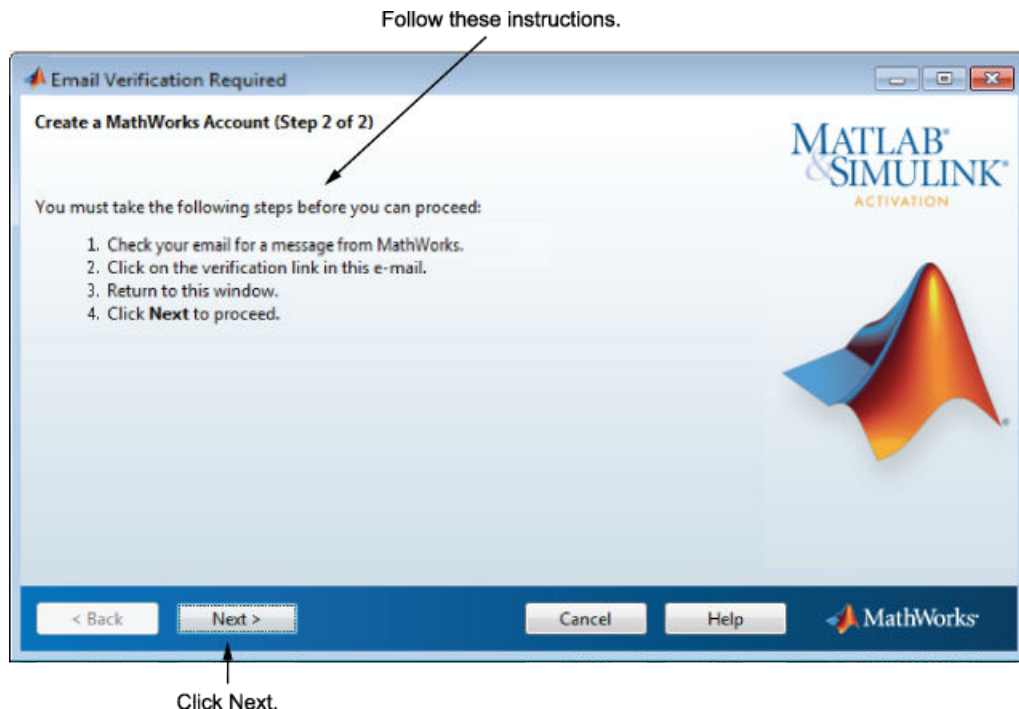
Activation Key: 55555-55555-55555-55555-55555

You may have received your Activation Key from the Administrator of the license.

[Privacy Policy](#)

< Back Next > Cancel Help MathWorks

メモ 新しい MathWorks アカウントを作成した場合、アクティベーションを続行するには電子メール アドレスを確認しなければなりません。[電子メールの確認が必要] ダイアログボックスの [次へ] をクリックする前に、電子メール プログラムに移動して MathWorks からのメッセージを開き、確認リンクをクリックします。次に、このダイアログ ボックスに戻り、[次へ] をクリックします。

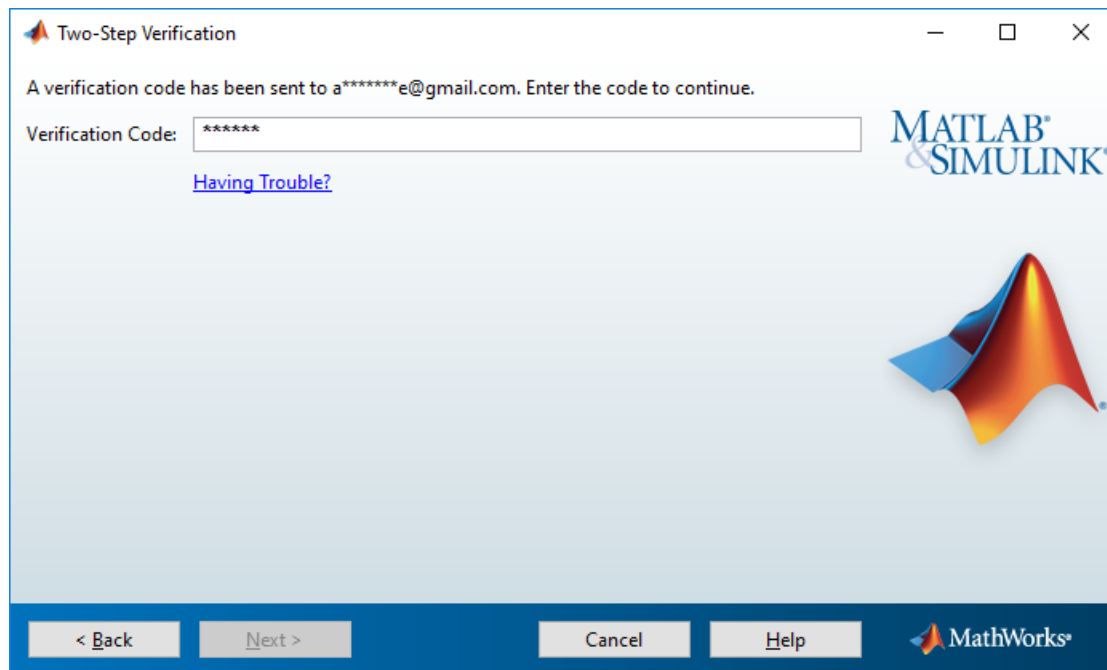


手順 4: 2 段階認証コードの入力

MathWorks アカウントで 2 段階認証を有効にしている場合、MathWorks アカウントのサインイン時に、主な方法に送信された認証コードを入力するよう求めるメッセージが表示されます。2 段階認証を有効にしていない場合は、この手順を省略して「手順 5: ライセンスの選択」(p. 1-31) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)に進むことができます。

メモ インストール中にアカウントを認証し、インストールの直後にアクティベーションを続けて行う場合、アクティベーション アプリケーションではこの手順が省略されます。

主な方法に送信された認証コードを入力します。



手順 5: ライセンスの選択

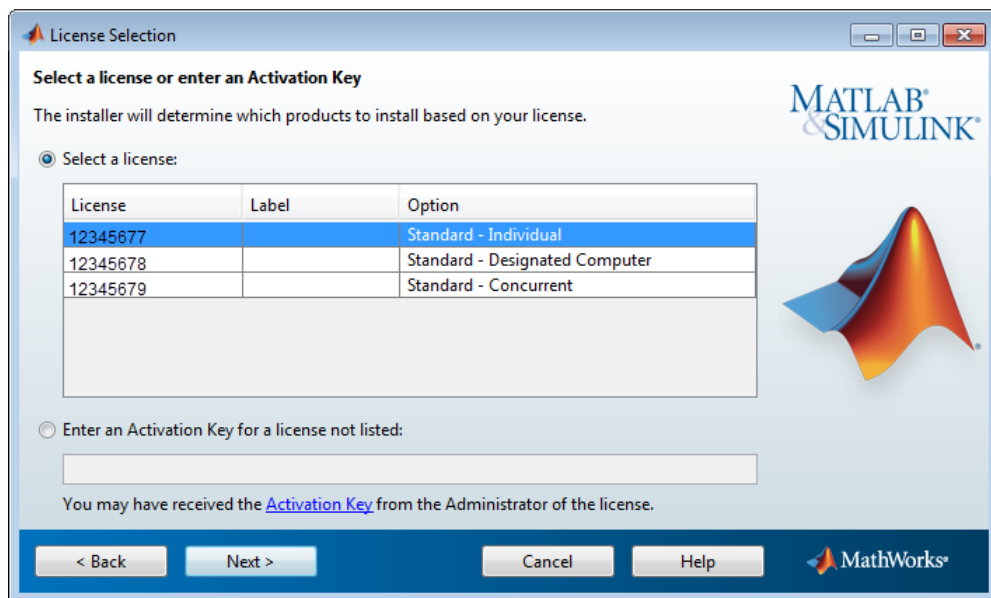
メモ インストールの直後にアクティベーションを続けて行う場合、アクティベーション アプリケーションでは、インストールしたライセンスをアクティベートするものと仮定して、この手順が省略されます。同様に、前の手順でアカウントを作成してアクティベーション キーを指定した場合も、この手順が省略されます。

MathWorks アカウントに関連付けられたライセンスのリストからライセンスを選択して、[次へ] をクリックします。この一覧には、ライセンスに関する以下の情報が含まれています。

自分の MathWorks アカウントに関連付けられていないライセンスを使用して製品のアクティベーションを行う場合は、[リストされていないライセンスのアクティベーション キーを入力] オプションをオンにし、アクティベーション キーを入力して、[次へ] をクリックします。“アクティベーション キー” とは、ライセンスを識別する固有のコードのことです。このキーを使用して、ライセンスのアクティベーションを行ったり、ライセンスをアカウン

トに関連付けたりできます。アクティベーション キーは、ライセンス管理者から入手できません。

メモ アクティベーション キーのダッシュやスペースの入力は任意です。



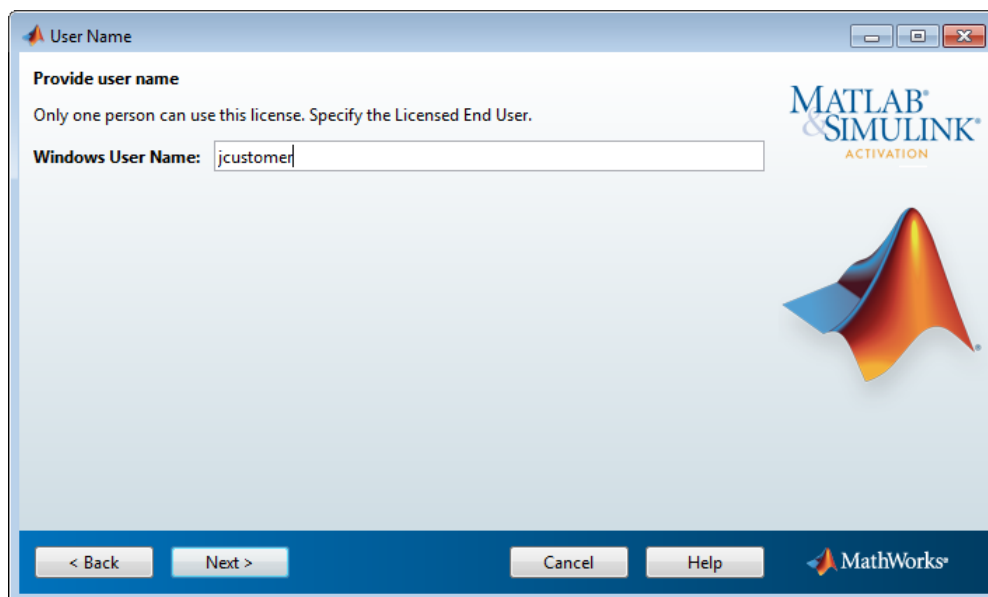
手順 6: ユーザー名の指定

メモ コンピューター指定ライセンスの場合、アクティベーション アプリケーションでこの手順は省略されます。

インディビジュアル ライセンスを選択した場合は、ソフトウェアを使用するユーザーの“オペレーティング システムのユーザー名”を指定しなければなりません。インディビジュアル ライセンスの場合、ソフトウェアの使用は特定のコンピューター上の特定のユーザーに制限されます。MathWorks では、オペレーティング システムのユーザー名を使用してこのユーザーを識別しています。オペレーティング システムのユーザー名とは、ユーザーがコンピューターにアクセスするための ID で、コンピューターのログイン名とも呼ばれます。

MathWorks ソフトウェアを使用するには、指定したユーザー名でコンピューターにログインしなければなりません。

既定では、アクティベーション アプリケーションによって、アプリケーションを実行中のユーザー名が自動的に記入されます。この既定の設定をそのまま使用するには、[次へ] をクリックします。管理者アカウントを使用してソフトウェアをインストールした後、別のアカウントを使用してソフトウェアにアクセスする場合は、そのユーザー名をここで指定してから、[次へ] をクリックします。



手順 7: アクティベーション情報の確認

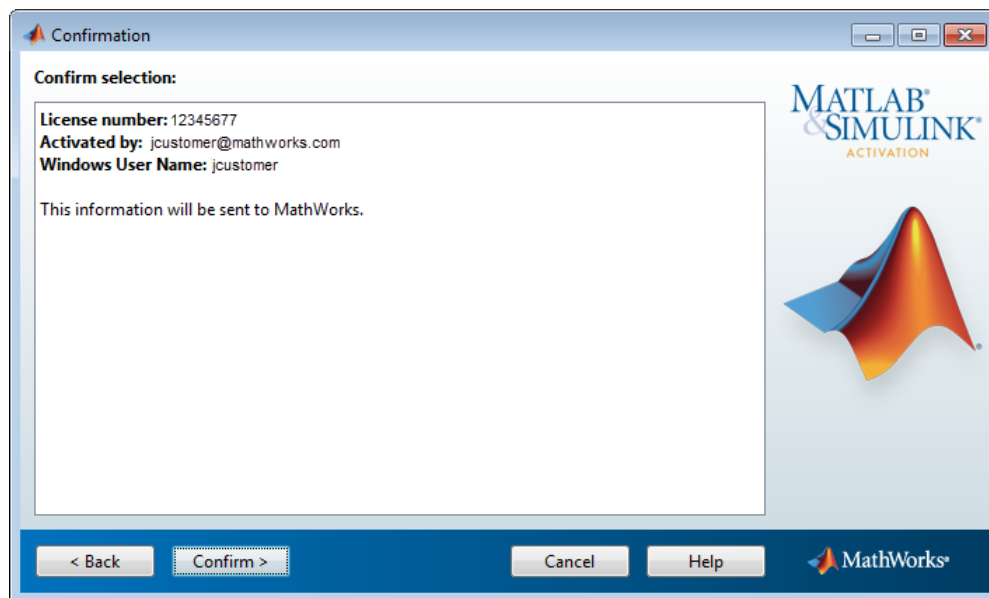
表示されている情報がすべて正しい場合は、[確認] をクリックします。

メモ 使用するインストール方法およびオペレーティング システムによっては、確認情報がここで示される例とは異なる場合があります。

インストールのアクティベーションでは MathWorks によってライセンス ファイルが作成され、次の用途に使用されます。

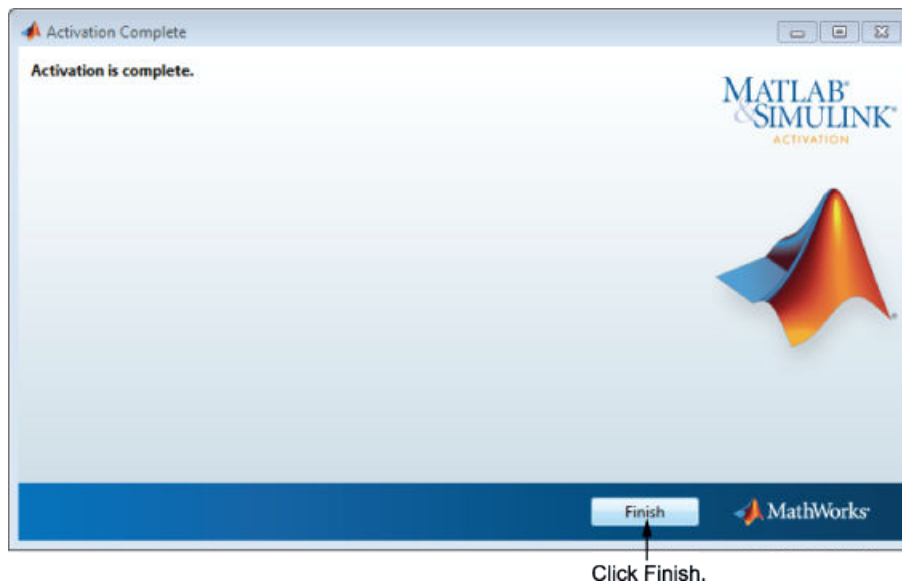
- ・ インストールされたコンピューターのみに製品の使用を制限する
- ・ インディビジュアル ライセンスのアクティベーションを行った場合は、特定のユーザーのみに製品の使用を制限する

作成されたライセンス ファイルは、インストーラーによりコンピューターにコピーされます。このライセンス ファイルによって、コンピューターで MathWorks 製品を実行できるようになります。また、MathWorks では MathWorks システム内にアクティベーションの記録を保持します。



手順 8: アクティベーションの完了

インストールのアクティベーションを行った後、[終了] をクリックしてアクティベーションプロセスを終了します。



手順 9: この後は

MATLAB および付属するツールボックスのインストールが完了し、MathWorks ソフトウェアを使用する準備ができました。から始めます。

MATLAB ソフトウェアの使用開始における説明や MATLAB スタートアップ フォルダの設定の詳細については、を参照してください。

参考

詳細

- .
- ・ 「インストールおよびアクティベーション」 (p. 1-2) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)
- .

ファイル インストール キーを使用した製品のインストール

この節の内容...
「手順 1: 準備」 (p. 1-36)
「手順 2: インストーラーの起動」 (p. 1-38)
「手順 3: ファイル インストール キーを使用するインストール」 (p. 1-40)
「手順 4: ライセンス許諾書の確認」 (p. 1-41)
「手順 5: ファイル インストール キーの指定」 (p. 1-41)
「手順 6: インストール フォルダーの指定」 (p. 1-43)
「手順 7: インストールする製品の指定」 (p. 1-44)
「手順 8: インストール オプションの指定」 (p. 1-45)
「手順 9: 選択内容の確認」 (p. 1-47)
「手順 10: インストールの完了」 (p. 1-48)
「手順 11: インストールのアクティベーション」 (p. 1-49)

1 台のマシンにファイル インストール キー (FIK) を使用して MATLAB をインストールするには、どのライセンス タイプ (エンド ユーザーおよび管理者) の場合でも以下の手順に従います。ターゲット マシンがインターネットに接続されていない場合、以下の手順が最適な方法ですが、FIK の取得とインストーラーのダウンロード時には、インターネット接続が必要です (もしくは、これらをシステム管理者から入手します)。

System Requirements for MATLAB でシステムの最小要件を満たしていることを確認してください。

手順 1: 準備

インターネット接続がなく、対話形式でインストールを行うには、以下が必要になります。

- ・ “ファイル インストール キー” とライセンス ファイルをお手元にご用意ください。これらは、ネットワーク接続なしにインストールとアクティベーションを実行する際に必要になります。

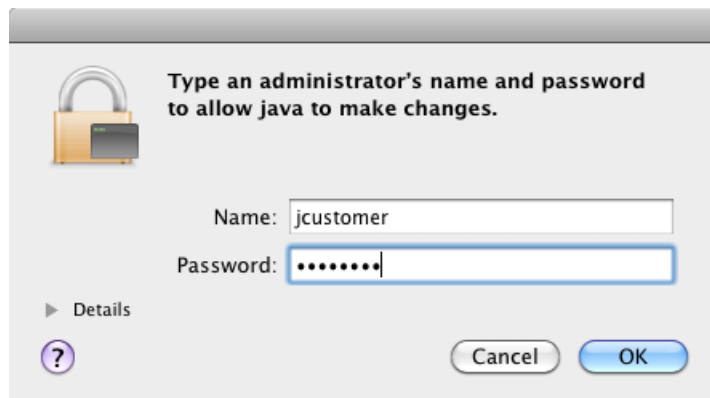
ファイル インストール キーによって、インストール可能な製品が特定されます。ライセンス ファイルでは、実行できる製品が特定され、インストールがアクティベートされます。ライセンス管理者は、MathWorks Web サイトのライセンス センターから、ファイル インストール キーとライセンス ファイルを取得できます。これらをダウンロードして

USB メモリなどの取り外し可能なストレージに保存し、ターゲット マシンにコピーします。

- ・ MATLAB インストーラーを含む製品ファイルが、コンピューターの既定のダウンロード フォルダー、ネットワーク共有フォルダーまたは DVD などのアクセス可能な場所にあることを確認します。製品ファイルがコンピューターの既定のダウンロード フォルダー以外の場所にある場合は、インストーラー ファイルは製品ファイルと同じフォルダー内に存在しなければなりません。
- ・ ソフトウェアをインストールするための適切な権限があることを確認してください。これに関する質問は、システム管理者に問い合わせてください。

メモ ソフトウェアをインストールするために管理者アカウントまたはルート権限を使用しますが、通常、管理ユーザー アカウントに対してはソフトウェアのアクティベーションを行いません。ソフトウェアをアクティベートするときは、ソフトウェアの使用者となるこれらの権限をもたないアカウントを指定します。管理者権限またはルート権限をもつユーザーとして MATLAB を実行することは推奨しません。

- ・ Windows システム – 使用しているコンピューターの管理者アカウントの名前とパスワードを取得します。インストーラーによってインストール中にシステム レジストリが変更されます。
- ・ Linux システム – ルート パスワードを取得します。MATLAB ソフトウェアはスーパーユーザー権限がなくてもインストールできますが、特定のインストール オプションが制限されます。たとえば、matlab コマンドへのシンボリック リンクの設定、保護されているフォルダーへの製品ファイルのインストール、またはシステム起動スクリプトの編集を行うには、スーパーユーザーのステータスを保有していなければなりません。
- ・ Mac OS X システム – 使用しているコンピューターの管理者アカウントの名前とパスワードを取得します。管理者アカウントは Mac OS X システムの構成時に設定したユーザー アカウントで、MathWorks アカウントではありません。インストール中に、この名前とパスワードを以下に示す [Authenticate] ダイアログ ボックスに入力しなければなりません。



- ・ インストール中は、システムのウイルス対策ソフトウェアとインターネット セキュリティ アプリケーションを無効にしてください。これらのアプリケーションによって、インストールの処理が遅くなったり、反応がなくなったように見えたりすることがあります。

インターネットに接続している場合は、「MathWorks アカウントを使用する製品のインストール」(p. 1-3) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)の説明に従ってください。MathWorks では、インターネット接続を使用してインストールとアクティベーションを行うことを推奨しています。

この手順は、スタンドアロンまたはネットワーク ライセンス オプションをインストールする場合に使用できます。ネットワーク ライセンス オプションでこの方法を使用する場合は、ライセンス ファイルのパスを指定して、ライセンス マネージャーを設定するかどうかを選択しなければなりません。これらの追加手順の詳細については、「クライアント システムへの MathWorks ソフトウェアのインストール」(p. 4-46) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)を参照してください。

手順 2: インストーラーの起動

メモ 製品ファイルを含むフォルダーには使用しているプラットフォーム向けのインストーラー ファイルがルートに含まれ、またアーカイブ サブフォルダーが含まれている、ということを確認します。インストーラー ファイルは、Windows では setup.exe、Linux では install、Mac OS X では InstallForMacOSX です。アーカイブ サブフォルダー内のファイル数が 3 つ未満である場合は、必要なファイルが欠落している可能性があります。「インストールを後で行う場合の製品のダウンロード」(p. 3-16) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)の手順を使用してファイルを再度ダウンロードするように、管理者に依頼してください。

- 1 製品ファイル（インストーラー ファイルを含む）をコンピューターまたはアクセス可能な場所（DVD、USB ドライブ、ネットワーク共有フォルダーなど）にコピーします。
- 2 インストーラーを起動します。インストーラーの起動方法は、プラットフォームによって異なります。また、ダウンロード済みの製品ファイルにアクセスするのか、DVD を使用するのかによっても異なります。

- ・ Windows

- ・ ダウンロード済みの製品ファイル – ユーザーまたは管理者が以前に製品ファイルをダウンロードし、製品ファイルをコンピューター、ネットワーク共有フォルダー、またはメディアにコピーした場合は、製品ファイルのあるフォルダーの最上位に移動して `setup.exe` をクリックします。
- ・ DVD によるインストール – システムに接続されている DVD ドライブに DVD 1 を挿入します。通常、インストーラーが自動的に起動します。2 枚目のディスクを挿入するよう求められたら、DVD 2 を挿入します。

- ・ Mac OS X

- ・ DVD によるインストール – システムに接続されている DVD ドライブに DVD 1 を挿入します。DVD アイコンがデスクトップに表示されたら、そのアイコンをダブルクリックして DVD の内容を表示し、`InstallForMacOSX` アイコンをダブルクリックしてインストールを開始します。



InstallForMacOSX

2 枚目のディスクを挿入するよう求められたら、DVD 2 を挿入します。

- ・ ダウンロード済みの製品ファイル – ユーザーまたは管理者が以前に製品ファイルをダウンロードし、解凍したファイルをコンピューター、ネットワーク共有フォルダー、またはメディアにコピーした場合は、製品ファイルのあるフォルダーの最上位に移動し、`InstallForMacOSX` アイコンをダブルクリックしてインストールを開始します。

- ・ Linux

- ・ ダウンロード済みの製品ファイル – ユーザーまたは管理者が以前に製品ファイルをダウンロードして、解凍したファイルをコンピューター、ネットワーク共有フォルダーまたはメディアにコピーしている場合は、製品ファイルが格納されているフォルダーの最上位に移動し、次のインストーラー コマンドを実行します。

```
./install
```

- ・ DVD によるインストール – システムに接続されている DVD ドライブに DVD 1 を挿入し、次のコマンドを実行します。

```
/path_to_dvd/install &
```

メモ DVD ルート内からインストールを実行しないでください。インストールは DVD ルートの外にあるディレクトリから開始します。

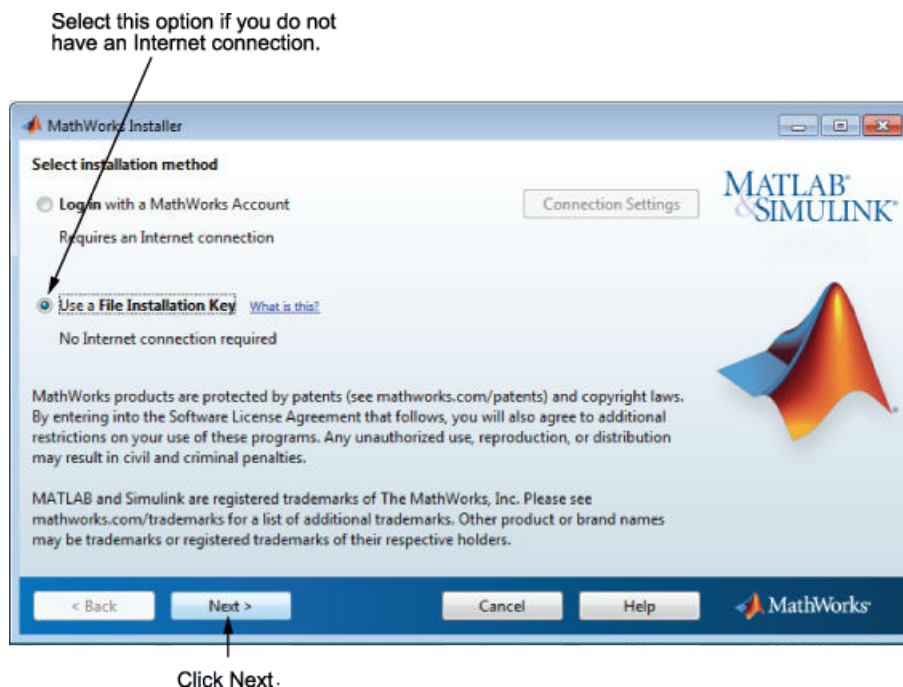
システムの構成によっては、最初に DVD をマウントしなければならないことがあります。次のように入力して、実行権限のあるシステムでマウントしてください。DVD ドライブの名前はお使いのシステムで異なる場合があります。

```
mount -o exec /media/cdrom0
```

2 枚目のディスクを挿入するよう求められたら、DVD 2 を挿入します。

手順 3: ファイル インストール キーを使用するインストール

インターネットに接続していなくても、コンピューター、ネットワーク共有フォルダー、または DVD 上の製品ファイルにアクセスできる場合は、[ファイル インストール キーを使用する] オプションをオンにして [次へ] をクリックします。



手順 4: ライセンス許諾書の確認

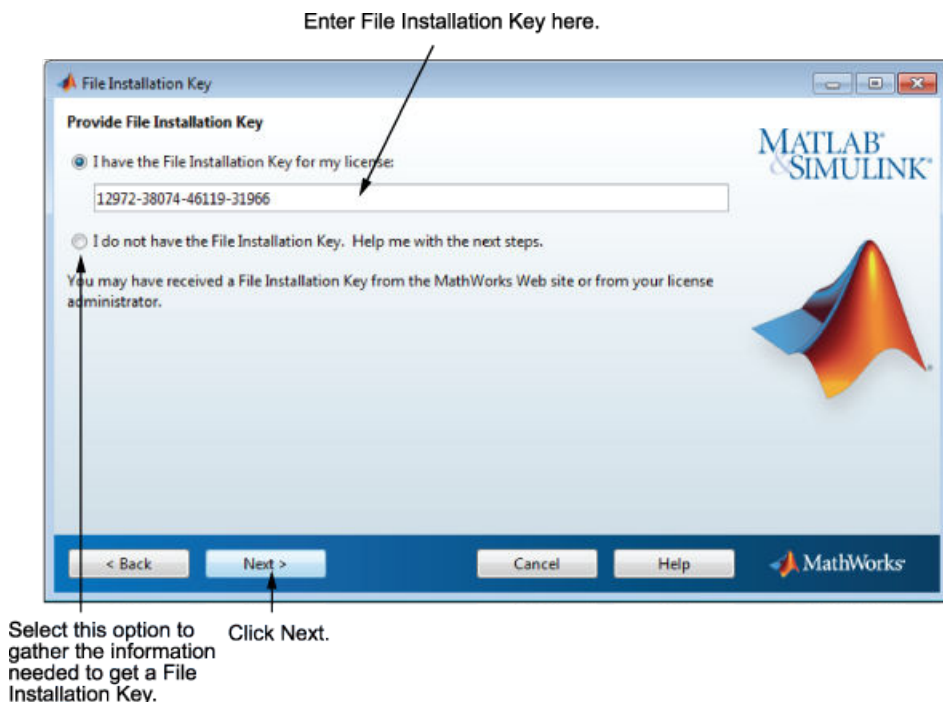
ソフトウェア ライセンス許諾書を確認し、条件に同意する場合は「はい」を選択して「次へ」をクリックします。

手順 5: ファイル インストール キーの指定

インターネットへ接続せずに、手動インストールを選択した場合、「ファイル インストール キー」ダイアログ ボックスが表示されます。ファイル インストール キーによって、インストール可能な製品が特定されます。

キーを保有している場合は、「ライセンスに対するファイル インストール キーを保有しています」オプションをオンにし、ファイル インストール キーを入力して「次へ」をクリックします。ライセンス管理者は、MathWorks Web サイトのライセンス センターからファイル インストール キーを取得できます。

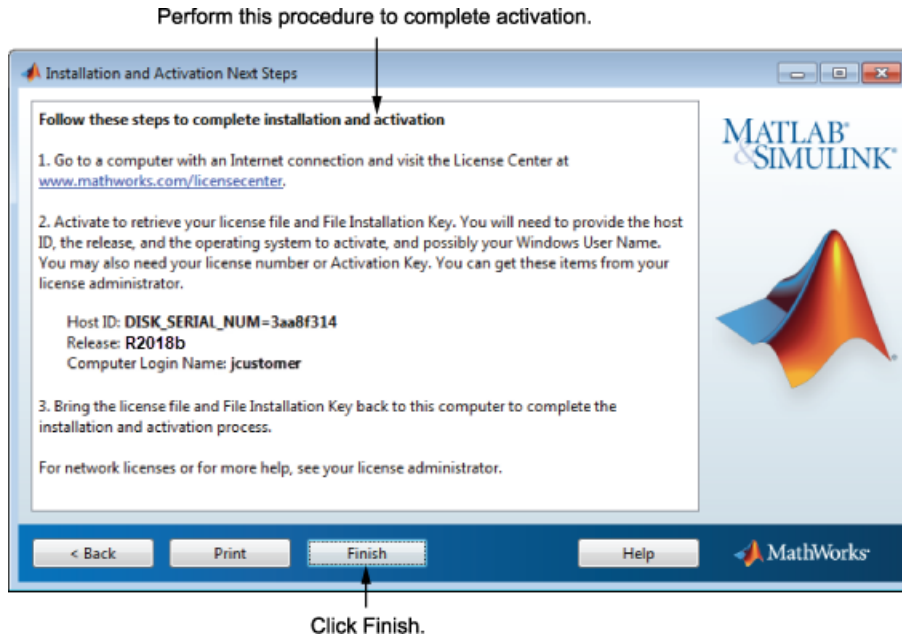
キーを保有していない場合は、[ファイル インストール キーがありません] オプションをオンにして、[次へ] をクリックします。インストーラーには、キーの取得に必要な情報が表示されます。



ファイル インストール キーがない場合

[インストールとアクティベーションの次のステップ] ダイアログ ボックスには、MathWorks Web サイトのライセンス センターからファイル インストール キーを取得するために必要な情報が記載されています。この情報は、次の項目を含みます。

- ・ ホスト ID
- ・ リリース番号 (例: R2018b)
- ・ オペレーティング システムのユーザー名 (アクティベーション時にはユーザー名の大文字と小文字が区別されます)。



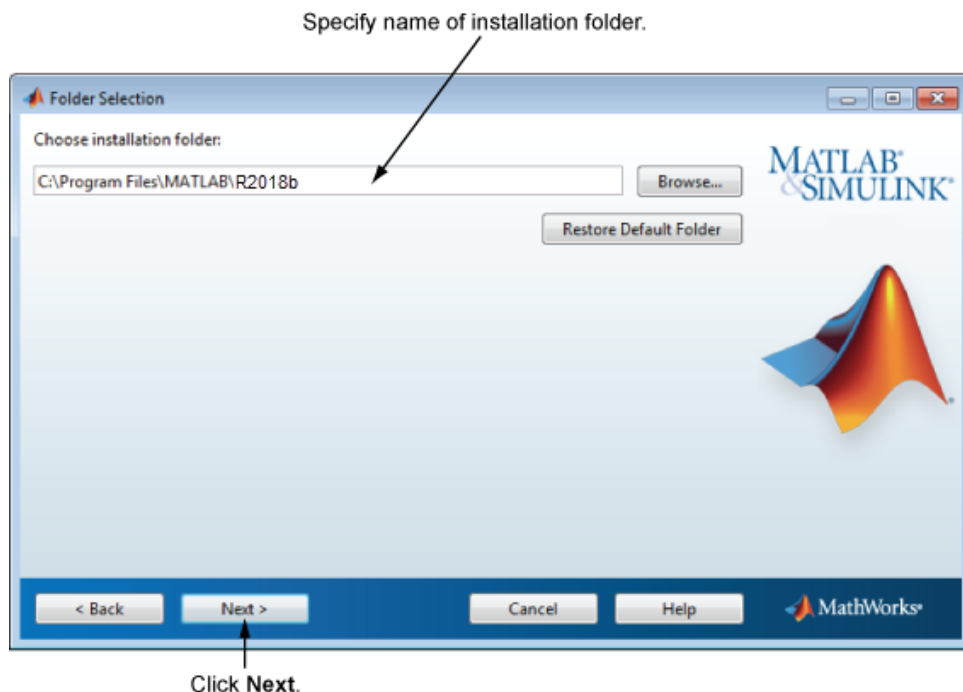
ファイル インストール キーを取得するには、次の手順に従います。

- 1 このダイアログ ボックスに表示された情報をコピーし、[終了] をクリックしてインストーラーを終了します。Windows および Linux システムでは、[印刷]/[Print] をクリックして情報を印刷できます。
- 2 インターネットに接続しているコンピューターに移動し、MathWorks Web サイトのアカウントにログインします。
- 3 ライセンス センターにアクセスし、このダイアログ ボックスに表示されていた情報を入力します。MathWorks では、この情報を使用してライセンス ファイルとライセンス用のファイル インストール キーを生成します。
- 4 インストールを実行するコンピューターに戻り、インストーラーを再実行します。ファイル インストール キーとライセンス ファイルの取得により、インターネットに接続していなくてもソフトウェアをインストールし、アクティベートできるようになりました。

手順 6: インストール フォルダの指定

MathWorks 製品をインストールするフォルダの名前を指定します。既定のインストールフォルダをそのまま使用するか、[参照] をクリックして別のフォルダを選択します。指定したフォルダが存在しない場合は、インストーラーによって作成されます。

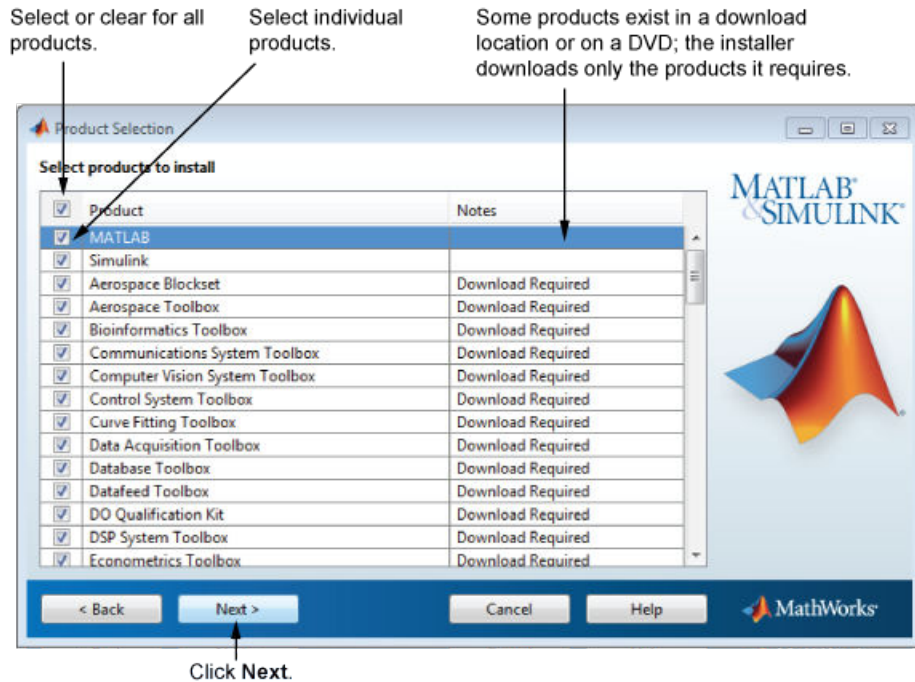
フォルダー名を指定するときは、任意の英数字に加えて、アンダースコアなどの一部の特殊文字を使用できます。フォルダー名の入力を誤った場合にやり直すには、[既定のフォルダーに戻す] をクリックします。選択を行った後、[次へ] をクリックします。



手順 7: インストールする製品の指定

[製品選択] ダイアログ ボックスで、インストールする製品を指定します。このダイアログ ボックスには、選択したライセンス、または指定したアクティベーション キーに関連付けられているすべての製品が一覧表示されます。ダイアログ ボックスでは、すべての製品があらかじめ選択された状態になっています。インストール対象外の製品がある場合は、製品名の横のチェック ボックスをオフにします。

インストールする製品を選択した後、[次へ] をクリックしてインストールを続行します。



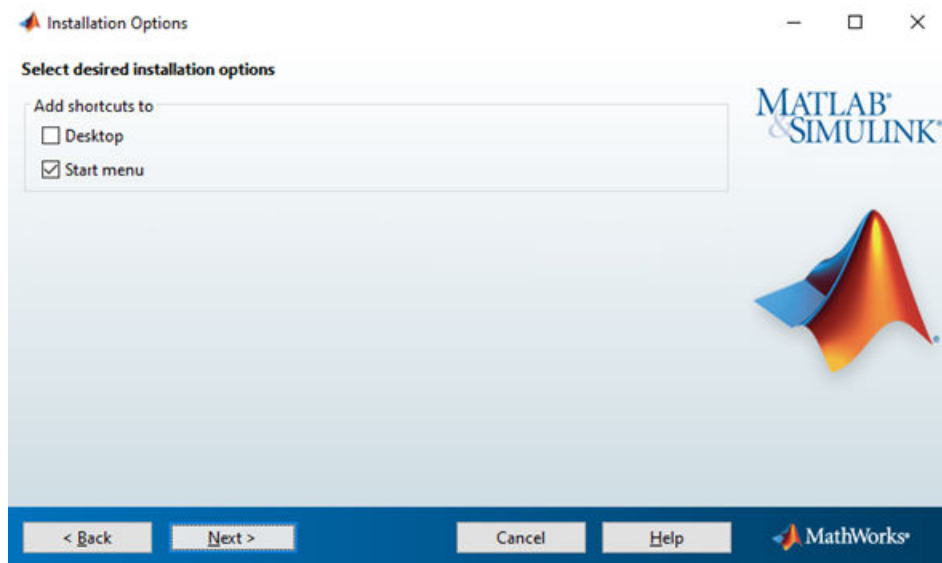
メモ 製品ファイルがコンピューターに存在しない、またはインストーラーが製品ファイルと同じフォルダー内に存在しない場合、インストーラーはインストールする製品を検出できません。

手順 8: インストール オプションの指定

プラットフォームに応じて、いくつかのインストール オプションを指定できます。

Windows システム

Windows では、[インストール オプション] ダイアログ ボックスで、[スタート] メニューとデスクトップに MATLAB の起動用ショートカットを配置するオプションが提供されます。

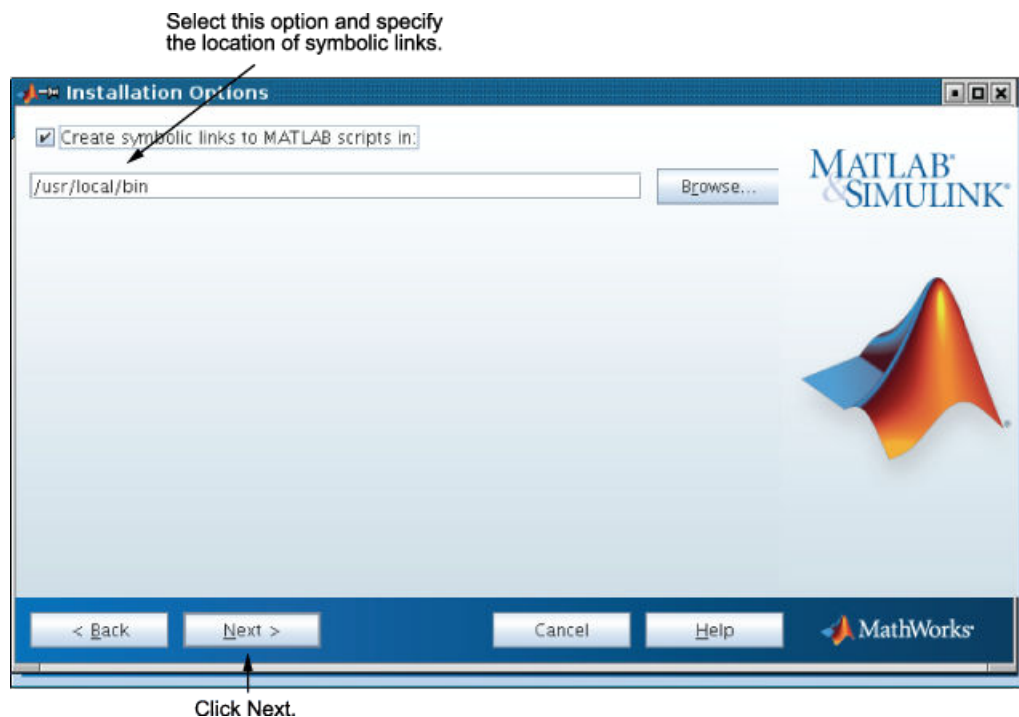


インストール オプションを選択した後、[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

Linux システム

Linux システムでは、matlab スクリプトおよび mex スクリプトへのシンボリック リンクを作成するかどうかを指定できます。書き込み権限があり、自分のユーザー パスすべてに共通する /usr/local/bin などのフォルダーを指定します。

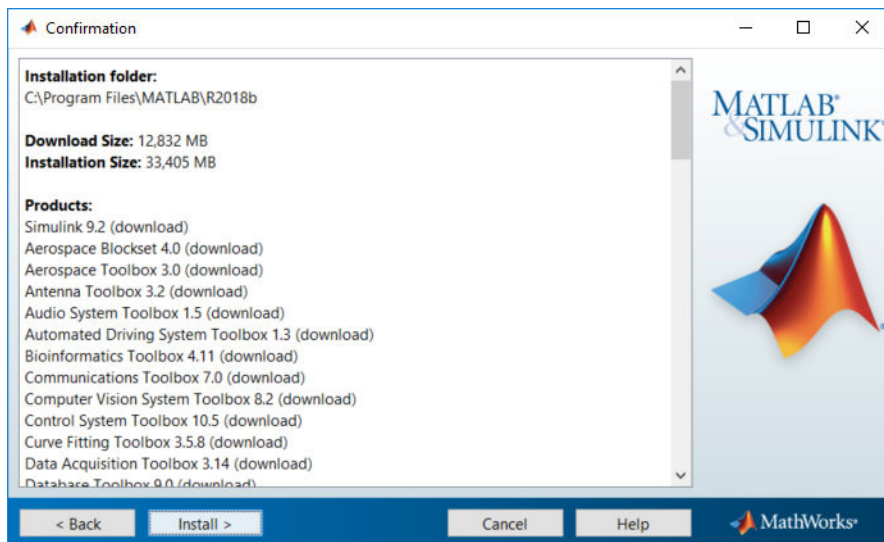
インストール オプションを選択した後、[次へ] をクリックしてインストールを続行します。



手順 9: 選択内容の確認

ソフトウェアをハード ディスクにインストールする前に、インストーラーにインストール内容の要約が表示されます。設定を変更するには、[戻る] をクリックします。インストールを続行するには、[インストール] をクリックします。

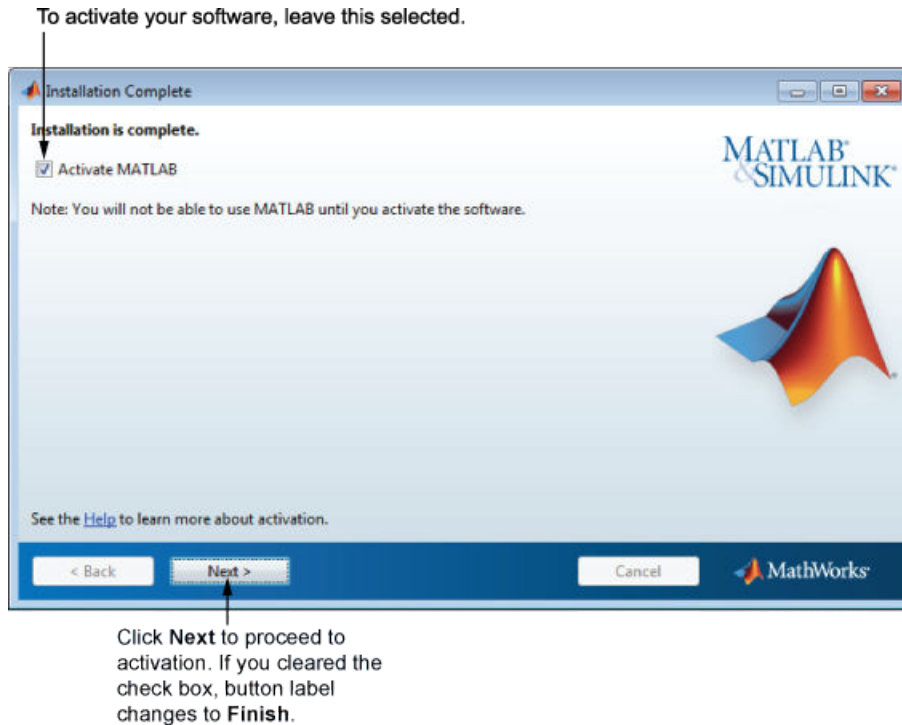
メモ 使用するインストール方法によっては、確認情報がここで示される例とは異なる場合があります。



手順 10: インストールの完了

インストールが正常に完了すると、[インストールの完了] ダイアログ ボックスが表示されます。このダイアログ ボックスでは、インストールしたソフトウェアのアクティベーションを行うかどうかを選択できます。インストールしたソフトウェアは、アクティベーションを行うまで使用できません。インストール直後にアクティベーションを行うと、最も早く MATLAB の使用を開始できます。[次へ] をクリックして、アクティベーションを実行します。

アクティベーションを行わずにインストーラーを終了する場合は、[MATLAB のアクティベーション] オプションをオフにし、ラベルが [終了] に変更されたボタンをクリックします。この場合は、アクティベーション アプリケーションを使用して、後でアクティベーションを行うことができます。



手順 11: インストールのアクティベーション

MATLAB のインストールでは、続いてソフトウェアのアクティベーションが行われます。インターネット接続がない場合の手順の詳細については、「インターネットを使用しないインストールのアクティベーション」(p. 1-51) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)を参照してください。

メモ 管理者: ソフトウェアのインストールは自分が行っても、アクティベーションはエンドユーザーに行わせたいという場合があります。この場合、手順はここで完了です。エンドユーザーによるソフトウェアのアクティベーションの準備ができれば、リンク先の手順を実施するようエンドユーザーに指示します。

参考

関連する例

- ・ 「インターネットを使用しないインストールのアクティベーション」 (p. 1-51) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)

インターネットを使用しないインストールのアクティベーション

この節の内容...

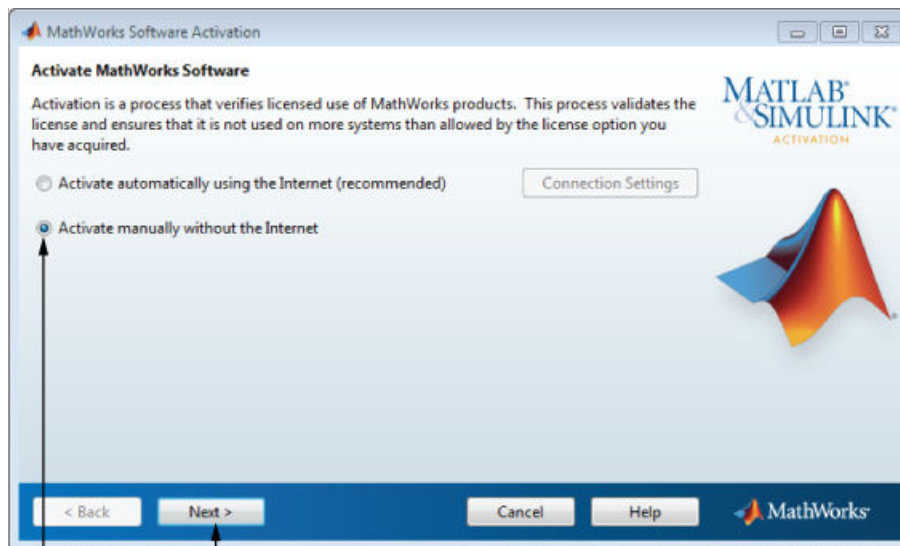
- 「手順 1: アクティベーションの開始」 (p. 1-51)
- 「手順 2: ライセンス ファイルのパスの指定」 (p. 1-52)
- 「手順 3: アクティベーションの完了」 (p. 1-54)
- 「手順 4: この後は」 (p. 1-54)

ソフトウェアが正常にインストールされ、使用する準備ができたなら、アクティベーションを行います。通常、インストーラーは全インストール プロセスの一部としてアクティベーションを続行します。このトピックでは、アクティベーションの手順について説明します。まだ MATLAB をインストールしていない場合は、「ファイル インストール キーを使用した製品のインストール」 (p. 1-36) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション) の手順に従います。

自分でインストールしていないソフトウェアのアクティベーションを行うように指示される場合もあるでしょう。その場合、インターネットに接続できない環境であれば、この手順に従います。インターネットに接続できる場合は、「MathWorks アカウントを使用するインストールのアクティベーション」 (p. 1-23) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション) の手順に従います。

手順 1: アクティベーションの開始

インストール中に MathWorks アカウントにログインしなかった場合、またはアクティベーション アプリケーションを単独で起動した場合は、アクティベーションを自動または手動のいずれで実行するかを選択しなければなりません。[インターネットを使わずに手動でアクティベーションを行う (推奨)] オプションをオンにして、[次へ] をクリックします。



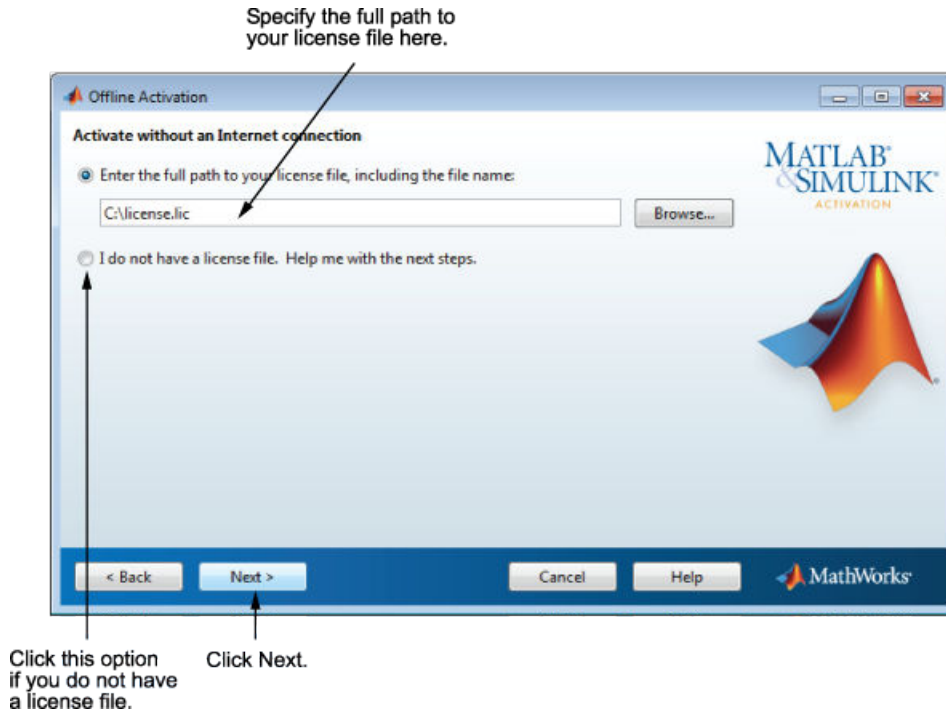
Select this option to activate without an Internet connection.

Click Next.

手順 2: ライセンス ファイルのパスの指定

インターネットに接続しないでアクティベーションを行うには、ライセンス ファイルが必要です。ライセンス ファイルによって、実行できる製品が特定されます。ライセンス管理者は、MathWorks Web サイトのライセンス センターからライセンス ファイルを取得できます。[ライセンス ファイルのファイル名を含む絶対パスを入力してください] オプションをオンにして、ライセンス ファイルの絶対パスをテキスト ボックスに入力するか、ファイルをドラッグ アンド ドロップして、[次へ] をクリックします。

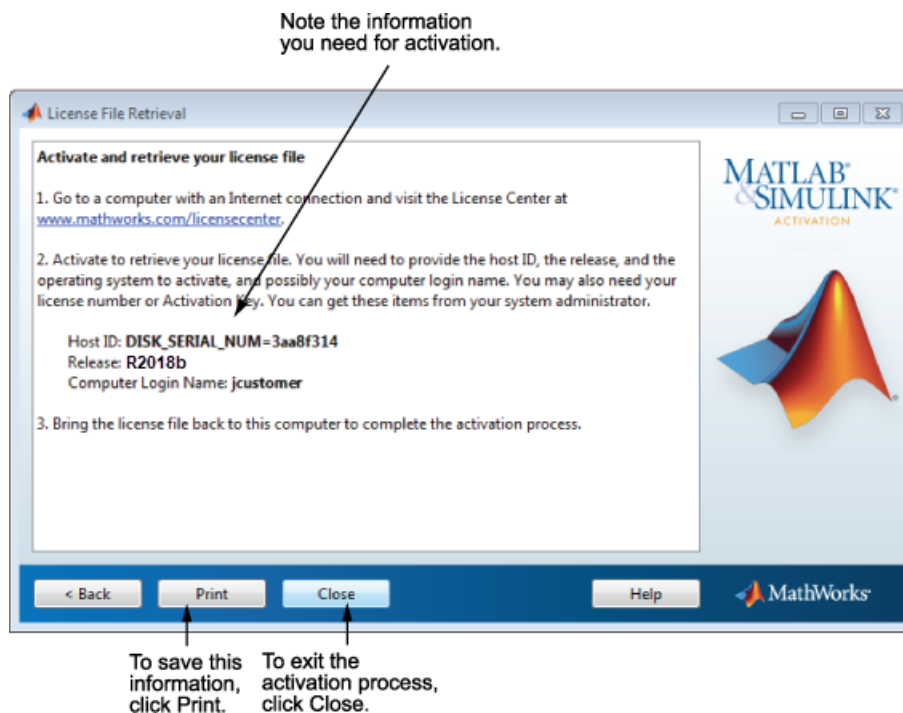
ライセンス ファイルを保有していない場合は、[ライセンス ファイルがありません] オプションをオンにし、[次へ] をクリックして、ライセンス ファイルの取得方法に関する情報を入手します。



ライセンス ファイルがない場合

このダイアログ ボックスに表示されている情報を保存します。[印刷] をクリックして、この情報を印刷することができます。印刷した情報をもってインターネットに接続されているコンピューターに移動し、MathWorks Web サイトのライセンス センターにアクセスします。MathWorks では、この情報を使用してライセンス ファイルとライセンス用のファイル インストール キーを生成します。ソフトウェアをインストールしてアクティベーションを行うコンピューターに戻る際には、この情報を使用してください。アクティベーション アプリケーションを終了するには、[終了] をクリックします。

メモ インストールのアクティベーションはまだ行われていません。ライセンス ファイルを取得するまでは MATLAB を実行できません。



手順 3: アクティベーションの完了

インストールのアクティベーションを行った後、[終了] をクリックしてアクティベーションプロセスを終了します。

手順 4: この後は

MATLAB および付属するツールボックスのインストールが完了し、MathWorks ソフトウェアを使用する準備ができました。から始めます。

MATLAB ソフトウェアの使用開始における説明や MATLAB スタートアップ フォルダの設定の詳細については、を参照してください。

参考

詳細

- .
- ・ 「インストールおよびアクティベーション」 (p. 1-2) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)
- .

既存のインストールの更新

既存のインストールへの製品の追加

既存の MATLAB インストールに製品を追加するには、ご使用のリリースのインストーラーを再度実行し、プロンプトに従ってください。インストーラーが見つからない場合や、インストーラーにアクセスできない場合は、MathWorks Web サイトのダウンロード ページにアクセスしてください。

インストール時は次のようにします。

- ・ 最初のインストールで使用した同じインストール フォルダを指定します。
- ・ 追加でインストールする製品を選択します。
- ・ ソフトウェアのアクティベーションを促されたら、それを実行します。

既存のインストールのアップグレード

アップグレードとは、現在マシンにインストールされているリリースよりも新しい一般リリースをインストールことです。たとえば、R2018a がインストールされているマシンに R2018b をインストールする場合です（“アップグレード”の詳細については、[link_to_update_FAQ](#) を参照してください）。ライセンスのソフトウェア保守サービスの契約が有効期限内でなければなりません。詳細については、MathWorks ソフトウェア保守サービスを参照してください。

既存のインストールをアップグレードするには、次の手順に従います。

- 1 MATLAB インストーラーを実行します。インストーラーがマシンに存在しない場合は、MathWorks Web サイトのダウンロード ページ [make link] から取得できます。
- 2 新しいインストール フォルダにアップグレードをインストールします。以前のバージョンをアップグレードする場合も、同じリリースのプレリリース バージョンをアップグレードする場合も同様です。

新しいリリースをインストールする前に既存の MATLAB を削除する必要はありません。各リリースは以前のリリースとは独立しており、同じシステムで複数のリリースを実行できます。

メモ：アップグレードでは、現在のライセンスに含まれる製品のみがインストールされます。たとえば、既存のインストールに 10 製品が含まれていても、現在のライセンスにこのうちの 9 製品しか含まれていない場合は、MATLAB のインストールのアップグレードは現在のライセンスに含まれる 9 つの製品のみとなります。

ライセンスの更新

ライセンス契約期間中、MATLAB インストールは定期的に MathWorks と通信して、ライセンスが最新のものであることを確認します。ライセンスが最新のものである場合、ユーザーは検証の過程に気付きません。検証プロセスによってライセンスの更新が必要であると判断されると、ライセンス更新のオプションを提供するダイアログ ボックスが表示されます。

この検証プロセスは、MathWorks Web サイトのライセンス センターで無効にすることができます。

参考

外部の Web サイト

- ・ [ライセンス センター](#)
- ・ [Web Downloads](#)

MathWorks 製品のアンインストール

MathWorks 製品のアンインストール（対話形式）

MATLAB を別のコンピューターに移動するには、現在インストールされているコンピューターからアンインストールしなければなりません。この場合、ソフトウェアのアクティベーションを停止しないでください。その後、MATLAB を別のコンピューターにインストールすることができます。

ライセンスが失効し、コンピューターからソフトウェアを削除する場合は、先にアンインストールを実行してから、ソフトウェアのアクティベーションを停止します。「インストールのアクティベーションの停止」（p. 1-63）（インストール、ライセンスおよびアクティベーション）を参照してください。逆に、コンピューターからソフトウェアを削除しないで、ライセンスのアクティベーションを停止することができます。このプロセスで不明な点があれば、テクニカル サポートにお問い合わせください。

MathWorks ソフトウェアをコンピューターからアンインストールする方法は、プラットフォームによって異なります。

Windows システム上の製品の削除

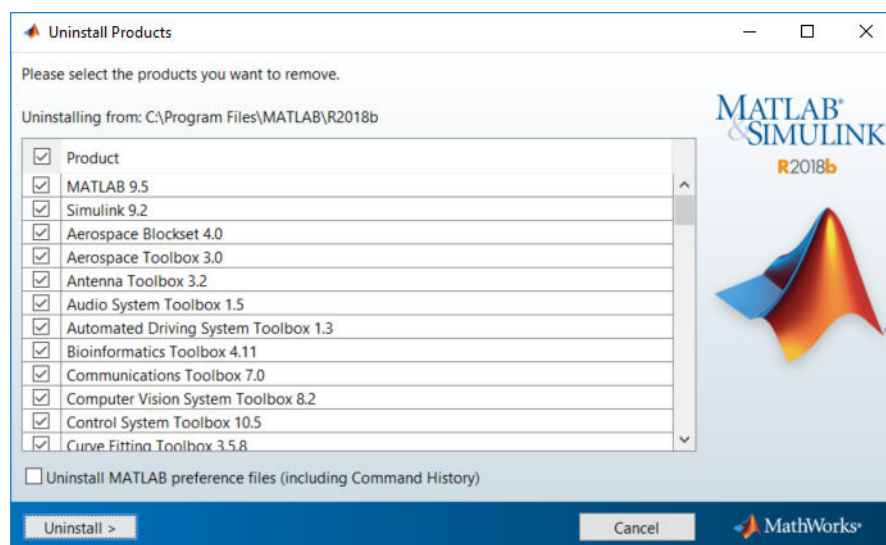
MathWorks 製品をシステムから削除（アンインストール）するには、次の手順に従います。

- 1 MATLAB ソフトウェアを終了します。
- 2 以下のいずれかの方法を使用して、アンインストーラーを起動します。
 - ・ Windows 10 を実行しているシステムでは、Windows アイコンをクリックし、[M] にスクロールして [MATLAB R2018b] を見つけます。[MATLAB R2018b] を右クリックし、[アンインストール] をクリックします。
 - ・ Windows 7 を実行しているシステムでは、[スタート] メニューをクリックし、[コントロール パネル] を選択します。[コントロール パネル] の [プログラム] カテゴリから、[プログラムのアンインストール] を選択します。表示されている製品リストから [MATLAB R2018b] をクリックします。
 - ・ Windows XP を実行しているシステムでは、[スタート] メニューをクリックし、[設定]、[コントロール パネル]、[プログラムの追加と削除] を選択します。製品リストから [MATLAB R2018b] を選択し、[変更と削除] をクリックします。
 - ・ matlabroot/uninstall/bin/\$ARCH フォルダーに移動します。ここで、matlabroot は MATLAB インストール フォルダー、\$ARCH は win64 などのプラットフォーム固有のサブフォルダーです。アンインストーラーの実行可能ファイル uninstall.exe をダブルクリックします。

アンインストーラーのプロパティ ファイルを使用してアンインストーラーを非対話モードで実行する方法については、「非対話モードでのアンインストール」 (p. 4-75) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション) を参照してください。

- 3 [製品のアンインストール] ダイアログ ボックスで、削除する製品を選択し、[アンインストール] をクリックします。

MATLAB を選択すると、他のすべての MathWorks 製品が自動的に削除されます。



アンインストールしようとしている製品に、別の製品が依存していることを知らせるメッセージが表示される場合があります。たとえば、ほとんどの MathWorks 製品には MATLAB 製品が必要です。メッセージを閉じて製品の削除を続行するには、[OK] をクリックします。削除する製品を変更するには、[キャンセル] をクリックします。

MATLAB のユーザー設定も削除する場合は、[MATLAB の設定ファイルのアンインストール (コマンド履歴を含む)] チェック ボックスをオンにします。既定では、アンインストーラーはこれらの設定ファイルを削除しません。MATLAB 設定ファイルには、コマンド履歴やヘルプのお気に入りなどの環境設定が含まれています。MATLAB 設定ファイルの保存場所を見つけるには、次の例に示すように、MATLAB プromptで `prefdir` コマンドを使用します。

```
prefdir
ans =
C:\WINNT\Profiles\username\Application Data\MathWorks\MATLAB\R2018b
```

username には、MATLAB を実行するユーザーの名前が入ります。

- 4 (オプション) ダウンロードのアーカイブ ファイルを削除するかどうかを選択します。MATLAB インストール フォルダーにダウンロードした製品のアーカイブ ファイルが含まれる場合は、これらのファイルを削除するかどうかを確認するメッセージが表示されます。アーカイブ ファイルは、インストールの matlabroot/archives フォルダーに保存されています。これらのファイルを削除するには、[はい] をクリックします。
- 5 削除を続行するには [アンインストール] ボタンをクリックします。アンインストーラーでは、操作の進捗状況が表示され、操作が完了するとダイアログ ボックスが表示されます。[終了] をクリックしてアンインストーラーを終了します。MATLAB をアンインストールする場合は、インストールのアクティベーションの停止を推奨するメッセージがダイアログ ボックスに表示されます。アクティベーションの停止の詳細については、「インストールのアクティベーションの停止」 (p. 1-63) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション) を参照してください。

Linux システム上の製品のアンインストール

メモ ライセンスのアクティベーションを停止してソフトウェアを削除する場合は、ソフトウェアを削除する前に、アクティベーションを停止してください。ソフトウェアを削除すると、ソフトウェアのアクティベーションを停止するために使用するアプリケーションも削除されます。アクティベーションの停止の詳細については、「インストールのアクティベーションの停止」 (p. 1-63) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション) を参照してください。

- 1 MATLAB プログラムを終了します。
- 2 次のコマンドを Linux プロンプトで入力します。

```
rm -rf matlabroot
```

ここで、matlabroot は最上位の MATLAB インストール フォルダーの名前を表します。

Mac OS X システム上の製品のアンインストール

メモ MATLAB インストールを削除すると、アクティベーション停止アプリケーションも削除されるため、インストールを削除する前にアクティベーションを停止するのが最適です。ソフトウェアのアクティベーションの停止の詳細については、「インストールのアクティベーションの停止」 (p. 1-63) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション) を参照してください。

MATLAB のインストールを削除するには、次の手順に従います。

- 1 Mac OS X システムの管理者アカウントのユーザー名とパスワードを取得します。
MATLAB ソフトウェアをインストールした場所に応じて、削除するには管理者権限が必要な場合があります。
- 2 MATLAB のインストールを削除する前に MATLAB を終了します。
- 3 MATLAB インストール フォルダに移動します。たとえば、インストール フォルダは Applications フォルダ内で MATLAB_R2018b.app のような名前が付けられています。
- 4 MATLAB インストール フォルダをゴミ箱にドラッグし、[Finder] メニューの [ゴミ箱を空にする] を選択します。

ソフトウェアのアクティベーションを停止するには、「インストールのアクティベーションの停止」 (p. 1-63) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション) を参照してください。

非対話モードでのアンインストール

メモ 非対話モードでの MATLAB のインストールの詳細については、「非対話モードのインストール (サイレント インストール)」 (p. 4-73) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション) を参照してください。

インストーラーを非対話モードで実行するには、次の手順に従います。

- 1 アンインストーラーのプロパティ ファイルを作成します。

MATLAB インストール フォルダの `uninstall` フォルダにある、`uninstaller_input.txt` という名前のアンインストーラー プロパティ ファイル テンプレートをコピーします。たとえば、Windows システムでは次のコマンドを実行します。

```
copy matlabroot\uninstall\uninstaller_input.txt C:\temp\my_uninstall.txt
```

- 2 任意のテキスト エディターを使用してアンインストーラー プロパティ ファイルを開き、指定されているすべてのパラメーターの値を入力します。たとえば、`outputFile=` パラメーターを使用して、出力ログ ファイルの名前を指定できます。テンプレートには、各パラメーターの詳細な説明が例と共に含まれています。

既定では、アンインストーラーによって特定の MATLAB インストール内の製品がすべてアンインストールされますが、アンインストールする製品を指定することもできます。

テンプレートの製品一覧で、製品名の先頭にあるコメント文字を削除します。サイレント モードでは、インストールされている製品以外の製品を削除の対象として指定した場合、アンインストーラーは終了し、ログ ファイルにメッセージが書き込まれます。mode=automated を指定した場合、アンインストーラーは「製品選択」ダイアログ ボックスを表示し、製品選択を調整できるように一時停止します。

- 3 ファイルへの変更を保存します。
- 4 -inputFile フラグを使用してプロパティ ファイルをコマンド ライン引数として指定し、アンインストーラー (uninstall.exe) を実行します。

たとえば、「スタート」をクリックし、「ファイル名を指定して実行」オプションを選択します。「ファイル名を指定して実行」ダイアログ ボックスで、プロパティ ファイルの絶対パスをコマンド ライン引数として指定して、uninstall コマンドを入力します。

```
uninstall.exe -inputFile C:\temp\my_uninstall.txt
```

ソフトウェアのアクティベーションを停止するには、「インストールのアクティベーションの停止」 (p. 1-63) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション) を参照してください。

参考

関連する例

- ・ 「インストールのアクティベーションの停止」 (p. 1-63) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)

インストールのアクティベーションの停止

インストールのアクティベーションを停止すると、特定のコンピュータで MathWorks ソフトウェアが使用できなくなります。アクティベーションの停止は、複数のコンピュータにおけるソフトウェアの使用を管理するために有効な方法です。たとえば、新しいコンピュータにソフトウェアをインストールしてアクティベーションを行う際に、ライセンスで許可されているアクティベーションが既にすべて実行済である場合、1 台のコンピュータで既存のアクティベーションを停止すれば、新しいコンピュータでアクティベーションを行えるようになります。

アクティベーションを停止するには、2 つの段階があります。まず、ご利用のコンピュータでライセンスのアクティベーションを停止してから、MathWorks のシステムでライセンスのアクティベーションを停止します。インターネットに接続している場合は、MathWorks のアクティベーション停止アプリケーションによって、両方の操作が処理されます。インターネットに接続していない場合は、アクティベーション停止アプリケーションによってコンピュータのソフトウェアが無効になり、アクティベーション停止文字列が提示されます。アクティベーションの停止処理を完了するには、MathWorks Web サイトにアクセスしてアカウントにログインし、アクティベーション停止文字列を使用してアクティベーションを停止します。ライセンスのアクティベーションを停止すると、特定のコンピュータで、このライセンスのすべてのインストールに対するアクティベーションが停止されます。

メモ ライセンスのアクティベーションの停止とソフトウェアの削除は、2 つの独立した操作です。コンピュータからソフトウェアを削除せずに、ライセンスのアクティベーションを停止することができます。インストールの削除の詳細については、「MathWorks 製品のアンインストール（対話形式）」（p. 1-58）（インストール、ライセンスおよびアクティベーション）を参照してください。

コンピュータ上のライセンスのアクティベーションを停止するには、以下の手順に従います。

- 1 以下のいずれかの方法を使用して、アクティベーション停止アプリケーションを起動します。
 - ・ アンインストーラーの実行後に、アクティベーション停止の開始を選択します。
 - ・ 認証確認でインストールが有効でないことが検出された後に、アクティベーション停止の開始を選択します。
 - ・ MATLAB デスクトップの [ヘルプ]、[ライセンス] メニューから、[アクティベーション停止] オプションを選択します。

- ・ MATLAB インストール フォルダに移動します。matlabroot を実行し、アクティベーション停止アプリケーションの実行可能ファイルを起動します。

Windows システム:

matlabroot\uninstall\bin\win64\deactivate_matlab.exe

Linux システム:

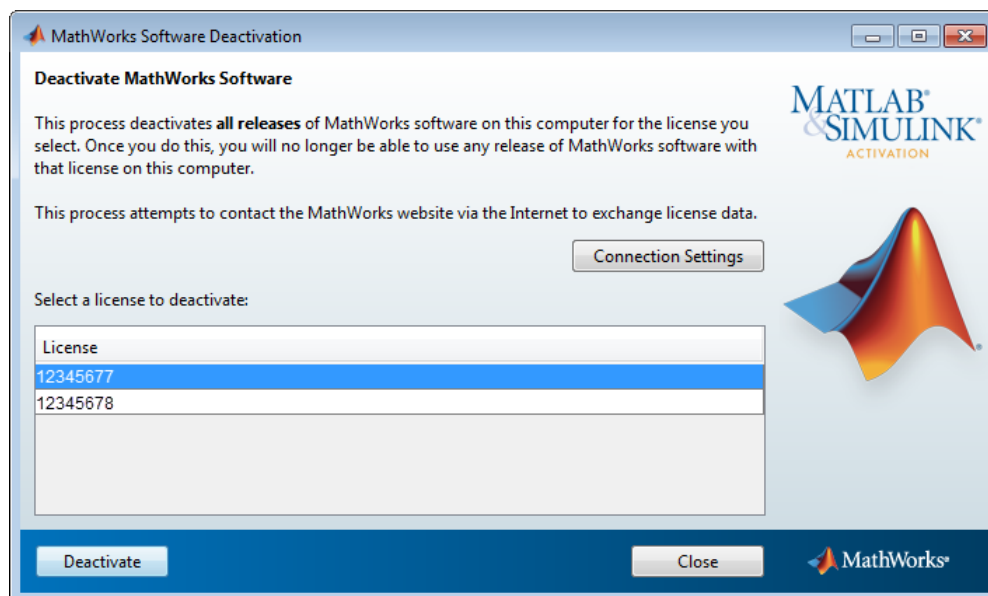
matlabroot/bin/deactivate_matlab.sh

Mac OS X システム:

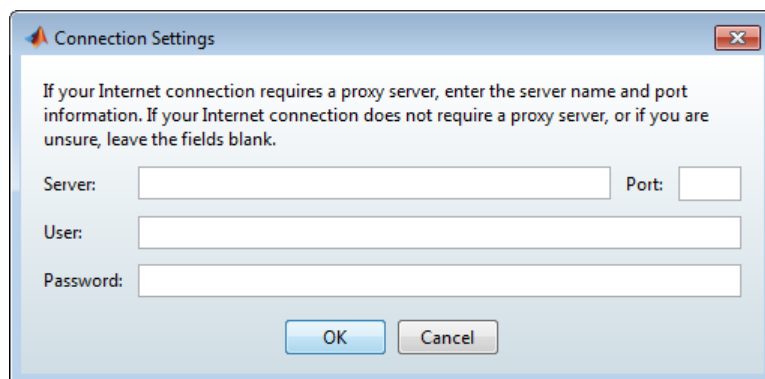
/Applications/MATLAB_R2018b.app/bin/deactivate_matlab.sh

- ・ Windows 10 を実行しているシステムでは、Windows アイコンをクリックし、[M] にスクロールして [MATLAB R2018b] を見つけます。展開ボタンをクリックして [MATLAB R2018b のアクティベーション停止] を選択します。
 - ・ Windows 7 を実行しているシステムでは、[スタート] メニューをクリックし、[MATLAB] を選択します。アクティベーション停止アプリケーションがリストに表示されます。
 - ・ Windows XP を実行しているシステムでは、[スタート] メニューをクリックし、[すべてのプログラム]、[MATLAB]、[R2018b]、[MATLAB R2018b のアクティベーション停止] を選択することもできます。
- 2 アクティベーションを停止するライセンスを選択して、[アクティベーション停止] をクリックします。

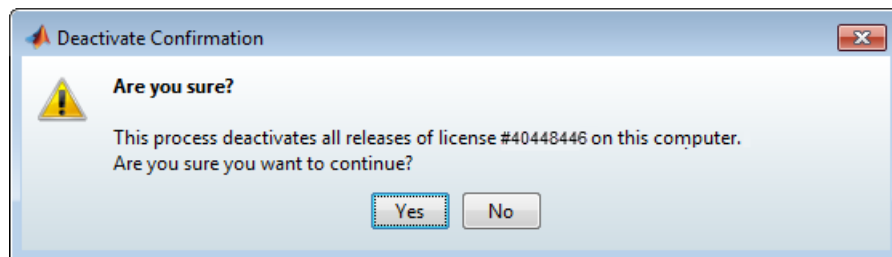
アクティベーション停止アプリケーションが起動すると、現在システムにインストールされていて、アクティベートされているライセンスが表示されます。MATLAB 内からこのアプリケーションを起動すると、使用しているライセンスがあらかじめ選択されています。



インターネット接続でプロキシ サーバーを必要とする場合は、[接続設定] ボタンをクリックしてサーバー名とポート情報を入力します。[OK] をクリックして、[MathWorks ソフトウェアのアクティベーション停止] ダイアログ ボックスに戻ります。

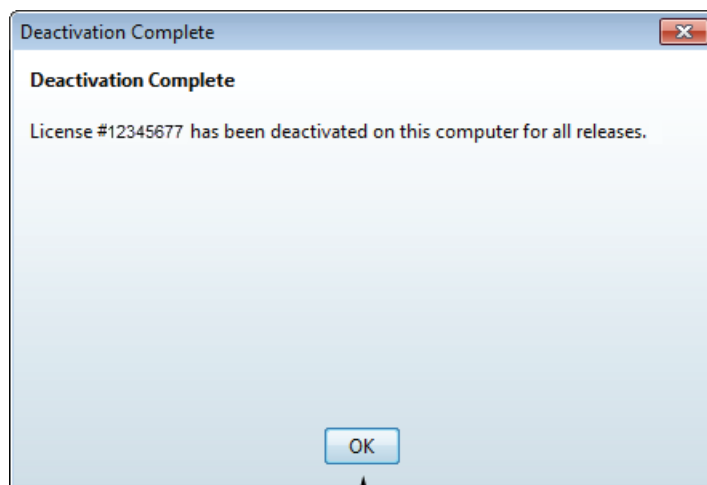


- 3 アクティベーションの停止を確認します。[はい] をクリックすると、アクティベーション停止アプリケーションによって MathWorks への連絡が試みられます。



- 4 アクティベーションの停止を完了します。[OK] をクリックします。

アクティベーション停止アプリケーションによって、コンピューターと MathWorks システムのライセンスのアクティベーションを停止できた場合は、[アクティベーション停止完了] ダイアログ ボックスが表示されます。[OK] をクリックして [MathWorks ソフトウェアのアクティベーション停止] ダイアログ ボックスに戻ります。このダイアログ ボックスで他のライセンスのアクティベーションを停止することができます。

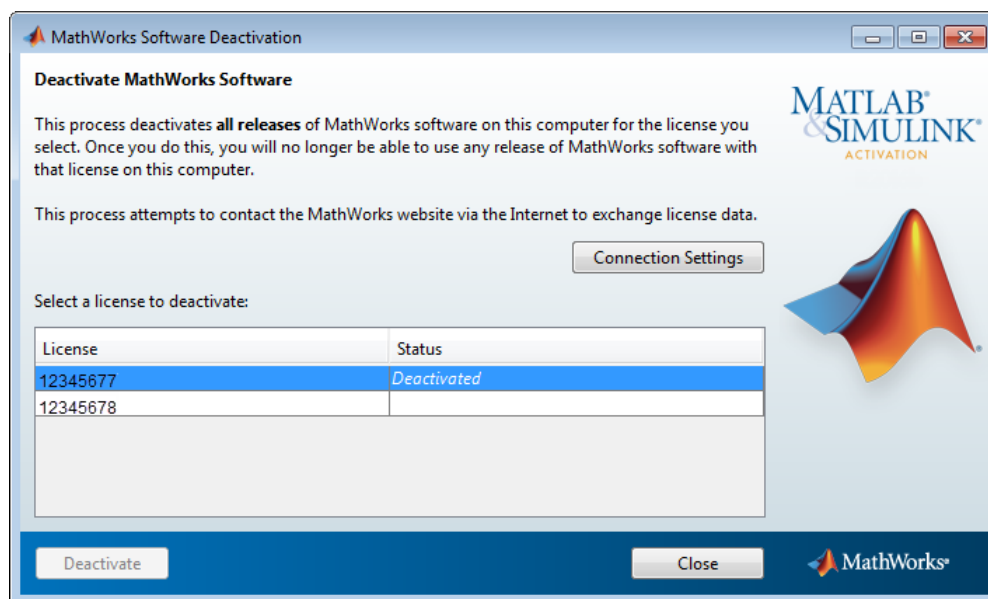


Click OK.

アクティベーション停止アプリケーションによってコンピューターのライセンスのアクティベーションを停止できますが、MathWorks システムのライセンスのアクティベーションは停止されません。そのため、[アクティベーション停止の次の手順] ダイアログ ボックスが表示されます。このダイアログ ボックスには、アクティベーション停止文字列が記載されています。アクティベーションの停止を完了するには、MathWorks Web サイトにアクセスして、自分のアカウントにログインします。ライセンス センターで、ア

クティベーション停止文字列を使用してライセンスのアクティベーションを停止します。[OK] をクリックして、[MathWorks ソフトウェアのアクティベーション停止] ダイアログ ボックスに戻ります。

- 5 ライセンスのアクティベーションの停止後、[MathWorks ソフトウェアのアクティベーション停止] ダイアログ ボックスには新しい列が追加され、ライセンスの状態が表示されます。別のライセンスのアクティベーションを停止するには、リストからそのライセンスを選択し、[アクティベーション停止] をクリックします。完了したら、[閉じる] をクリックしてアクティベーション停止アプリケーションを終了します。



このコンピュータでソフトウェアのアクティベーションが停止されました。

参考

関連する例

- ・ 「MathWorks 製品のアンインストール」 (p. 1-58) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)

謝辞

この節には、ライセンス マネージャー ベンダー デーモンで使用されるコンテンツの著作権所有者がリストされています。

MD5

MD5 derived from RSADSI MD5 Message-Digest Algorithm. Copyright (C) 1991-2, RSA Data Security, Inc. Created 1991. All rights reserved.

License to copy and use this software is granted provided that it is identified as the "RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest algorithm" in all material mentioning or referencing this software or this function.

License is also granted to make and use derivative works provided that such works are identified as "derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing the derived work.

RSA Data Security, Inc. makes no representations concerning either the merchantability of this software or the suitability of this software for any particular purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty of any kind.

These notices must be retained in any copies of any part of this documentation and/or software.

参考

関連する例

- ・ 「使用するインストール手順の決定」(インストール、ライセンスおよびアクティベーション)

インストール後の管理作業

- ・ 「MATLAB ソフトウェアの起動」 (p. 2-2)
- ・ 「ライセンスの更新」 (p. 2-4)
- ・ 「MATLAB 起動フォルダーの設定」 (p. 2-5)
- ・ 「MATLAB 環境オプションの設定」 (p. 2-6)

MATLAB ソフトウェアの起動

MATLAB ソフトウェアの起動方法は、プラットフォームによって異なります。

- Windows システム:

- Windows 10: [スタート]、[すべてのアプリ]、[MATLAB R2018b]。
- Windows 8: Windows のスタート画面またはデスクトップで [MATLAB R2018b] をクリックします。



- Windows 7: [スタート]、[MATLAB R2018b]。
- Windows XP: [スタート]、[プログラム]、[MATLAB]、[R2018b]、[MATLAB R2018b]。
- インストール中にショートカットをデスクトップに作成するように選択した場合は、デスクトップの MATLAB アイコンをダブルクリックします。



- matlabroot/bin に移動します。ここで、matlabroot は MATLAB インストールフォルダーです。matlab.exe をダブルクリックします。
- Linux システム:
 - システム プロンプトで matlab コマンドを入力します。インストール中に [インストール オプション] ダイアログ ボックスでシンボリック リンクを設定しなかった場合は、絶対パス名 matlabroot/bin/matlab を入力しなければなりません。ここで、matlabroot は MATLAB インストール フォルダーの名前です。
- Mac OS X システム:
 - インストール フォルダーに移動し、MATLAB アイコンをダブルクリックします。



参考

関連する例

- ・ 「製品のインストールとアクティベーション（エンド ユーザー向け）」（インストール、ライセンスおよびアクティベーション）

外部の Web サイト

- ・ <https://www.mathworks.com/help/matlab/index.html>

ライセンスの更新

ライセンス契約期間中、MATLAB インストールは定期的に MathWorks と通信して、ライセンスが最新のものであることを確認します。ライセンスが最新のものである場合、ユーザーは検証の過程に気付きません。検証プロセスによってライセンスの更新が必要であると判断されると、ライセンス更新のオプションを提供するダイアログ ボックスが表示されます。

この検証プロセスは、MathWorks Web サイトのライセンス センターで無効にすることができます。

MATLAB 起動フォルダーの設定

デスクトップのショートカットを使用して MATLAB を起動する場合、初期の現在のフォルダー（または起動フォルダー）は My Documents\MATLAB になります（「手順 10: インストール オプションの指定」（p. 1-16）（インストール、ライセンスおよびアクティベーション）で、インストーラーによってこのショートカットを作成することを選択できます）。起動フォルダーの指定方法については、MATLAB の『デスクトップ ツールと開発環境』ドキュメンテーションを参照してください。

MATLAB 環境オプションの設定

MATLAB 環境オプションをカスタマイズするには、matlabroot\toolbox\local フォルダに startup.m という名前のファイルを作成して、それにコマンドを追加します。たとえば、startup.m ファイルを使用すると、ウェルカム メッセージや既定の定義を指定したり、MATLAB の起動時に毎回実行される任意の MATLAB 式を指定したりできます。local フォルダに startupsav.m という名前のサンプルのスタートアップ ファイルがあります。このファイルの名前を変更して、開始点として使用することができます。

MATLAB コマンド プロンプトで適切なコマンドを入力し、追加の設定を行います。たとえば、MATLAB の出力を特定のログ ファイルに自動で書き込むには、「matlab -logfile "logfilename"」と入力します。

ライセンス管理者向けのインストール

- ・ 「ライセンス管理者向けのインストール手順」 (p. 3-2)
- ・ 「1 台のコンピューターへのインストール」 (p. 3-3)
- ・ 「インストールを後で行う場合の製品のダウンロード」 (p. 3-16)

ライセンス管理者向けのインストール手順

ライセンス管理者がインストールを行う場合は、以下を実行できます。

- ・ ログインしているコンピューターに MATLAB ソフトウェアをダウンロードし、インストールする。
- ・ 場所を指定して MATLAB 製品をダウンロードし、その製品を後でインストールする。以下の操作を実行できます。
 - ・ 複数のプラットフォーム用に製品をダウンロードする。
 - ・ ダウンロードしたソフトウェアを 1 台以上のコンピューターにインストールする。
- ・ ファイル インストール キーを使用した製品のインストール。この手順は、DVD またはダウンロード済みの製品をお持ちで、インターネットへの接続がない場合に使用します。ファイル インストール キーを使用したインストール手順については、「ファイル インストール キーを使用した製品のインストール」 (p. 1-36) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション) を参照してください。

自分が 1 つ以上のライセンスの管理者であるかどうかを調べるには、以下の手順に従います。

- 1 MathWorks アカウントにログインします。
- 2 表示されたリストからライセンスを選択します。

どちらのインストール方法でも、アクティベーションは、ライセンスを付与されたエンド ユーザーの場合と同じです。アクティベーションの詳細については、「MathWorks アカウントを使用するインストールのアクティベーション」 (p. 1-23) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション) を参照してください。

1 台のコンピューターへのインストール

この手順を使用するには、インストーラーで選択するライセンスの管理者でなければなりません。この手順は、インターネットへの接続があり、MathWorks アカウントを保有していると想定しています。MathWorks アカウントを保有していない場合は、インストール中にアカウントを作成できます。

インターネット接続がない場合は、「ネットワーク インストールの計画」(p. 4-6) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)を参照し、オフラインでのインストール手順に従ってください。

インストール中は、システムのウイルス対策ソフトウェアとインターネット セキュリティアプリケーションを無効にしてください。これらのアプリケーションによって、インストールの処理が遅くなったり、反応が示されない可能性もあります。

ターゲット マシンが、System Requirements for MATLAB を満たしていることを確認してください。

手順 1: インストーラーの起動

- 1 MathWorks Web サイトからインストーラーをダウンロードするか、お持ちの MATLAB DVD を用意します。

Web サイトでインストーラーを選択すると、製品ファイルではなく、選択したプラットフォームでインストーラーを実行するために必要なファイルが渡されます。インストーラーを実行して、ログインしているコンピューターにインストールする製品を選択します。必要に応じて、インストーラーが製品を MathWorks からダウンロードします。

- 2 インストーラーを起動します。インストーラーの起動方法は、プラットフォームによって異なります。また、MathWorks Web サイトからインストーラーをダウンロードするのか、DVD を使用するのかによっても異なります。

- ・ Windows

- ・ ダウンロードしたインストーラー ファイル – MathWorks Web サイトでインストーラーを選択して [実行] をクリックすると、インストーラーが自動的に起動します。インストーラーを保存した場合は、保存先のフォルダーにある自己解凍形式のインストーラー ファイルをダブルクリックします。自己解凍形式のインストーラー ファイルの名前は matlab_release_\$ARCH です。release はインストールするリリース (R2018b など) を、\$ARCH は選択したアーキテクチャを示します。

解凍の完了後に、インストーラーが自動的に起動します。

後でインストーラーを再起動するには、`setup.exe` をクリックします。このファイルは、ファイルを解凍したフォルダーの最上位にあります。

- ・ DVD によるインストール – システムに接続されている DVD ドライブに DVD 1 を挿入します。通常、インストーラーが自動的に起動します。2 枚目のディスクを挿入するよう求められたら、DVD 2 を挿入します。
- ・ Mac OS X
 - ・ ダウンロードしたインストーラー ファイル – MathWorks Web サイトからダウンロードした `dmg` ファイルをダブルクリックします。InstallForMacOSX.app をダブルクリックします。
 - ・ DVD によるインストール – システムに接続されている DVD ドライブに DVD 1 を挿入します。DVD アイコンがデスクトップに表示されたら、そのアイコンをダブルクリックして DVD の内容を表示し、InstallForMacOSX アイコンをダブルクリックしてインストールを開始します。



InstallForMacOSX

2 枚目のディスクを挿入するよう求められたら、DVD 2 を挿入します。

- ・ Linux
 - ・ ダウンロードしたインストーラー ファイル – `unzip` コマンドを使用して、MathWorks Web サイトからダウンロードしたアーカイブ ファイルからファイルを解凍します。ファイルの解凍後、次のインストーラー コマンドを実行します。

```
./install
```

DVD によるインストール – システムに接続されている DVD ドライブに DVD 1 を挿入し、次のコマンドを実行します。

```
/path_to_dvd/install &
```

メモ DVD ルート内からインストールを実行しないでください。インストールは DVD ルートの外にあるディレクトリから開始します。

システムの構成によっては、最初に DVD をマウントしなければならないことがあります。次の例のように、必ず実行権限を指定してマウントしてください。DVD ドライブの名前は、お使いのシステムでは異なっている場合があります。

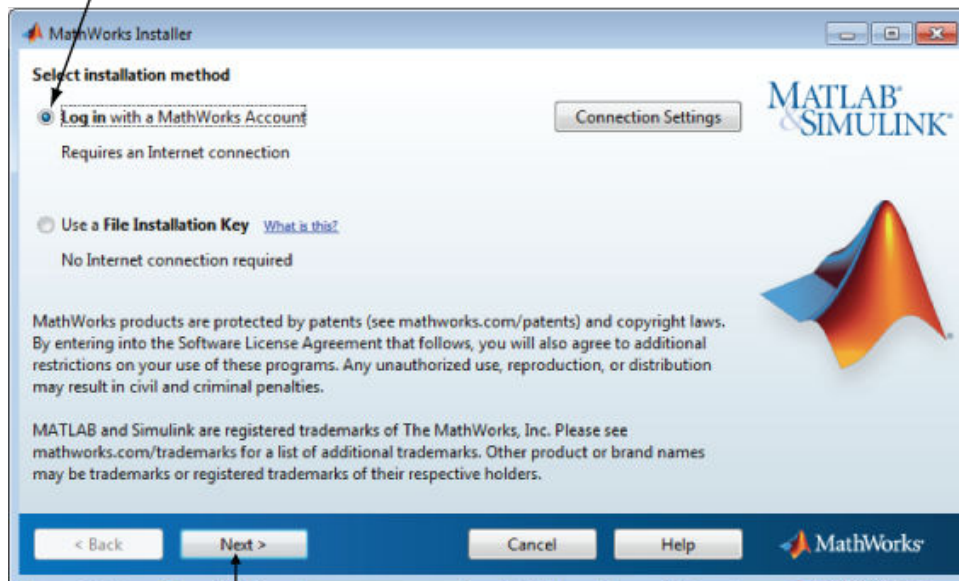
```
mount -o exec /media/cdrom0
```

2 枚目のディスクを挿入するよう求められたら、DVD 2 を挿入します。

手順 2: ログイン オプションの選択

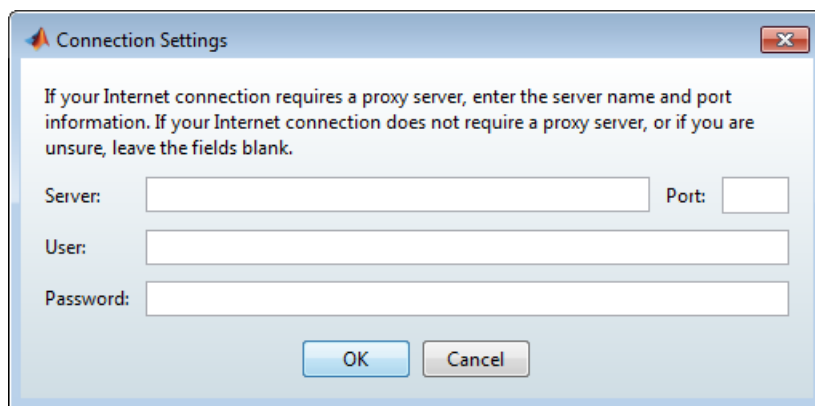
[MathWorks アカウントでログインする] オプションをオン（既定）にしておき、[次へ] をクリックします。インストール中に MathWorks アカウントにログインし、インストールするライセンスを選択してインストーラーの指示に従います。

Select this option to install products using an Internet connection.



Click Next.

インターネット接続にプロキシ サーバーを必要とする場合は、[接続設定] をクリックします。[接続設定] ページに、サーバー名、ポートおよびパスワードを入力します。MathWorks は基本認証とダイジェスト認証のプロキシ設定をサポートしています。



メモ Windows システムでは、インストーラーは、既定でシステムのプロキシ設定を使用します。プロキシ サーバーがログインを要求する場合、インストーラーはログイン情報の入力を指示するプロンプトを表示します。

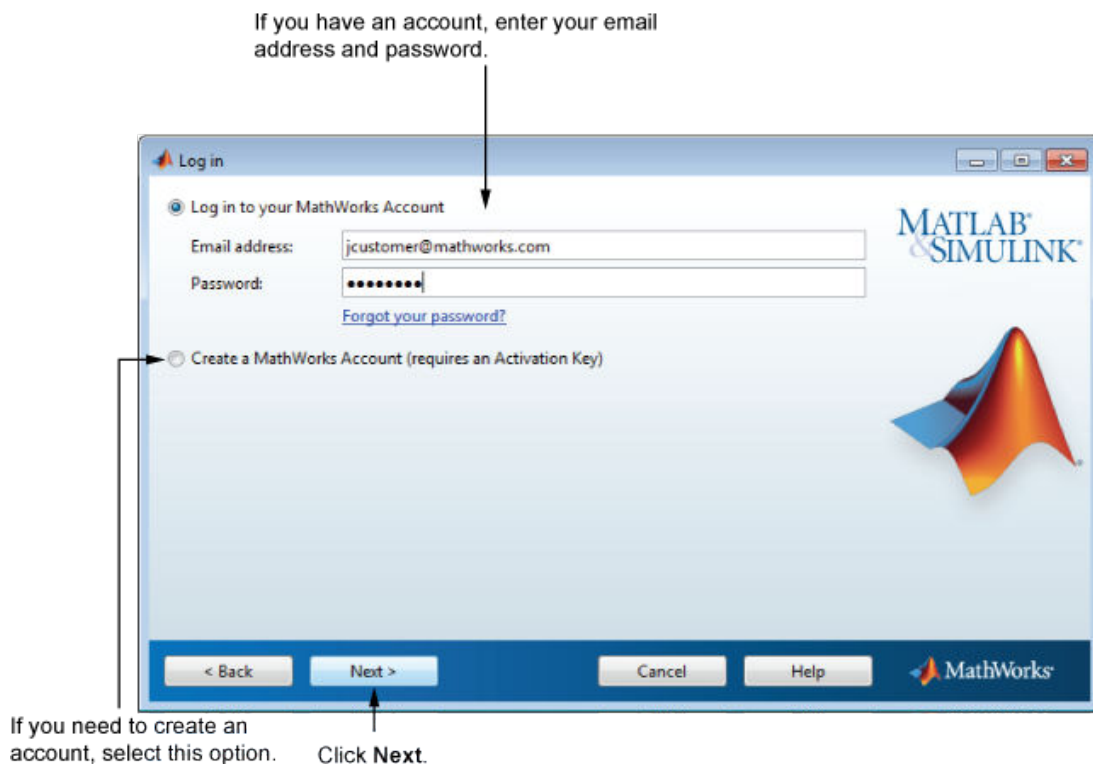
手順 3: ソフトウェア ライセンス許諾書の確認

ソフトウェア ライセンス許諾書を確認し、条件に同意する場合は [はい] を選択して [次へ] をクリックします。

手順 4: MathWorks アカウントへのログイン

MathWorks アカウントにログインするには、電子メール アドレスとパスワードを入力して、[次へ] をクリックします。インストーラーにより MathWorks へのアクセスが行われ、アカウントに関連付けられたライセンスに関する情報が取得されます。アカウントで 2 段階認証を有効にしている場合、認証コードが主な方法に送信されます。

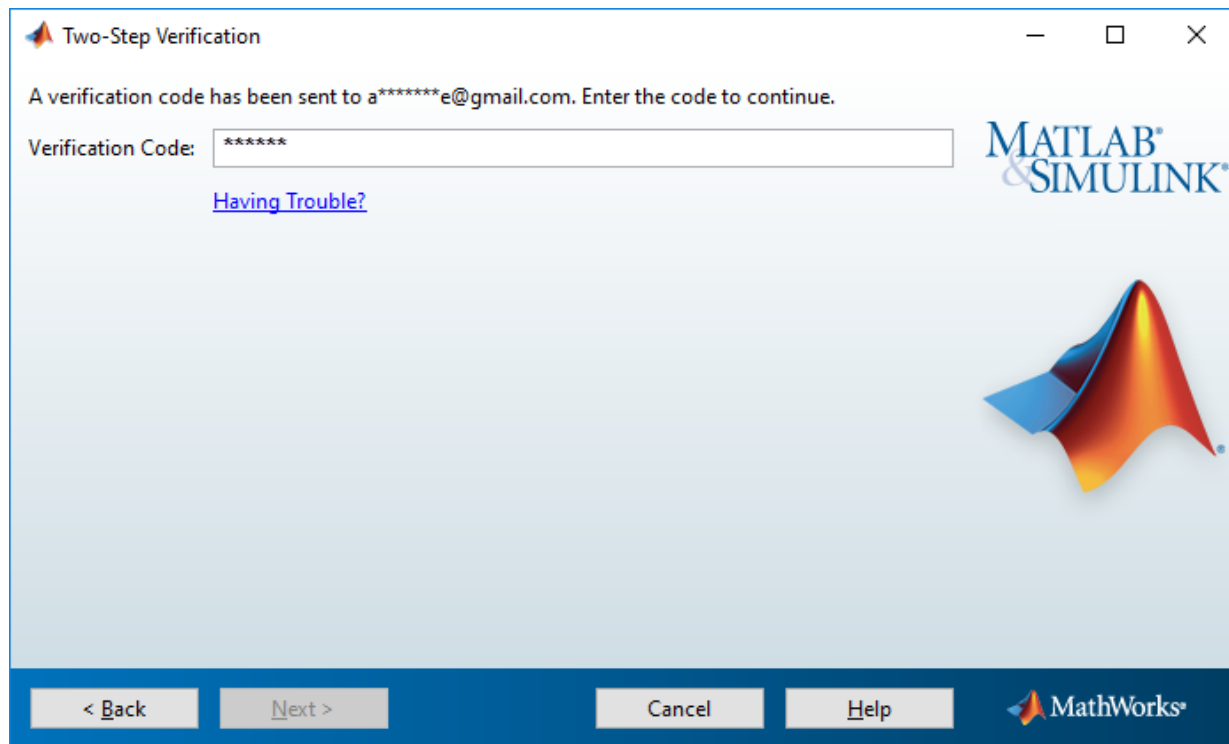
MathWorks アカウントを保有していない場合は、[MathWorks アカウントを作成する (アクティベーション キーが必要)] オプションをオンにして [次へ] をクリックします。アカウントの作成に必要なデータの入力を指示するプロンプトが表示されます。



手順 5: 2 段階認証コードの入力

MathWorks アカウントで 2 段階認証を有効にしている場合、MathWorks アカウントのサインイン時に、主な方法に送信された認証コードを入力するよう求めるメッセージが表示されます。2 段階認証を有効にしていない場合は、次のステップに直接進むことができます。

主な方法に送信された認証コードを入力します。



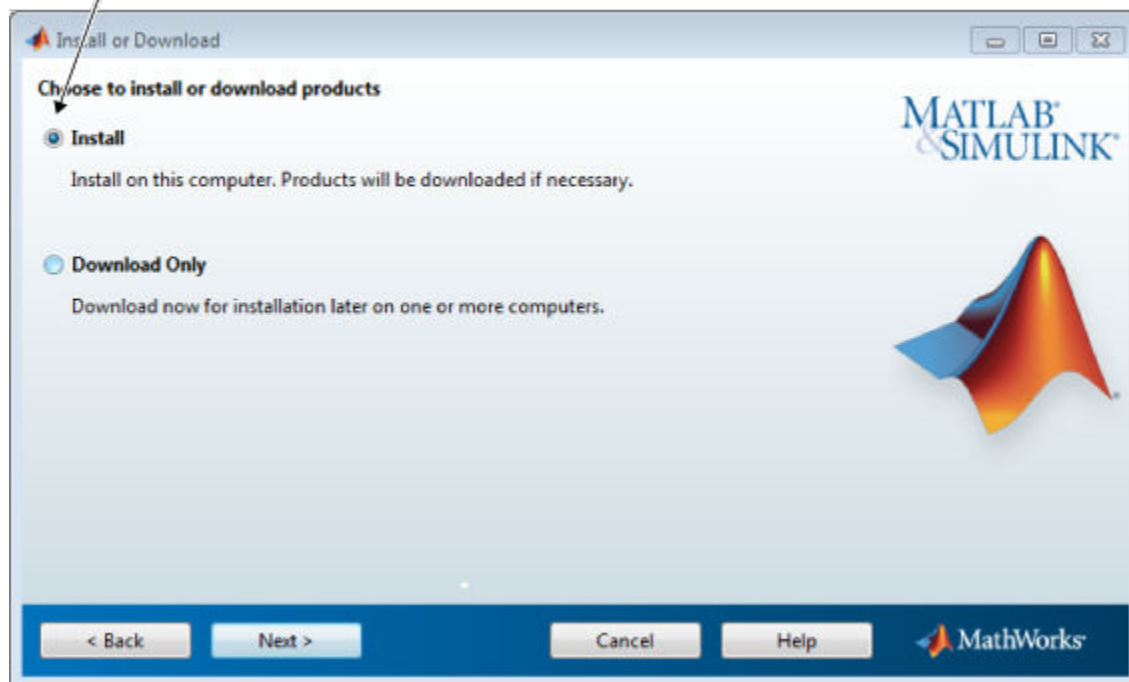
[次へ] をクリックしてインストールを実行します。

手順 6: [インストール] の選択

[インストール] をオンにします。

このオプションを選択すると、必要に応じて MathWorks からソフトウェアがダウンロードされ、現在ログインしているコンピューターにソフトウェアがインストールされます。

To download and install the software immediately, select this option.



手順 7: ライセンスの選択

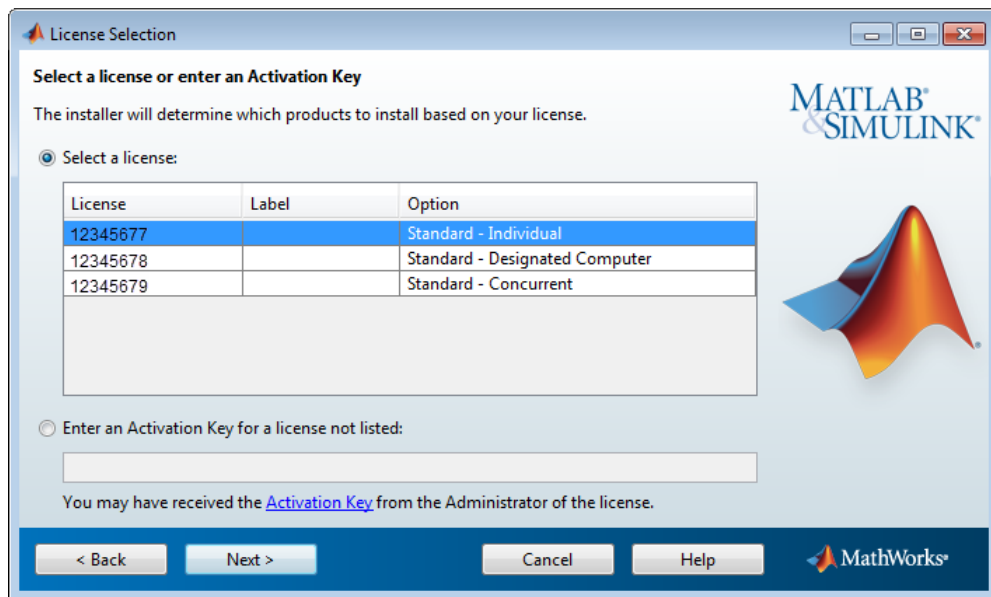
MathWorks アカウントに関連付けられたライセンスのリストからライセンスを選択して、[次へ] をクリックします。

自分の MathWorks アカウントに関連付けられていないライセンスを使用して製品をインストールする場合は、次の操作を行います。

- 1 [リストされていないライセンスのアクティベーション キーを入力] オプションをオンにします。
- 2 アクティベーション キーを入力して、[次へ] をクリックします。

“アクティベーション キー” とは、ライセンスを識別する固有のコードのことです。このコードを使用して、ライセンスのアクティベーションを行います。また、ライセンス

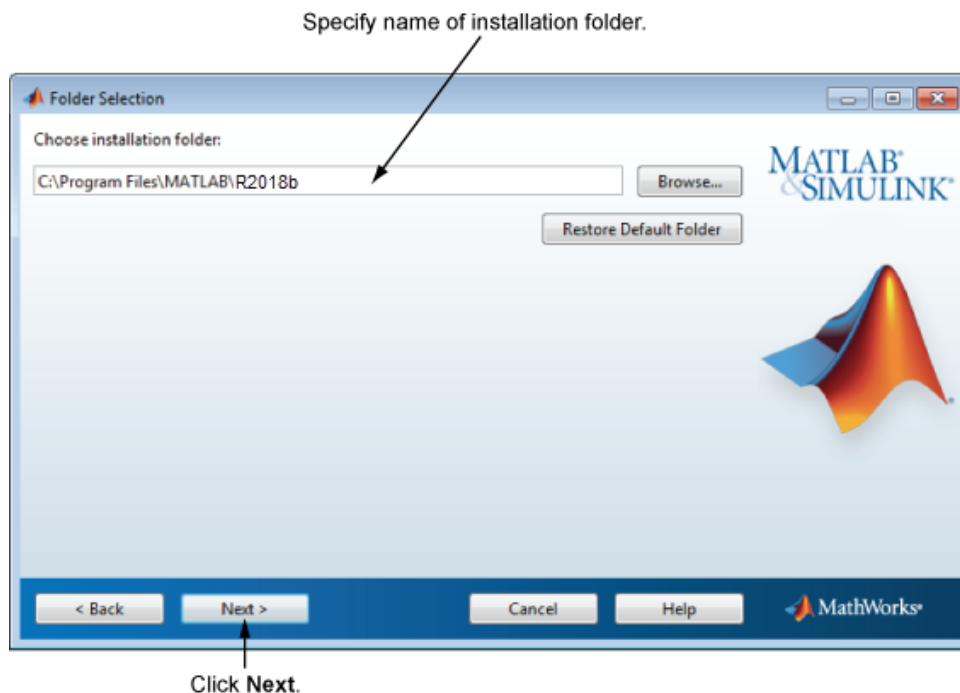
を付与されたエンド ユーザーは各自の MathWorks アカウントをライセンスに関連付けることができます。ライセンス管理者は、MathWorks Web サイトのライセンス センターからアクティベーション キーを取得できます。



手順 8: インストール フォルダーの指定

MathWorks 製品をインストールするフォルダーの名前を指定します。既定のインストール フォルダーをそのまま使用するか、[参照] をクリックして別のフォルダーを選択します。指定したフォルダーが存在しない場合は、インストーラーによって作成されます。

フォルダー名を指定するときは、任意の英数字に加えて、アンダースコアなどの一部の特殊文字を使用できます。フォルダー名の入力を誤った場合にやり直すには、[既定のフォルダーに戻す] をクリックします。選択を行った後、[次へ] をクリックします。

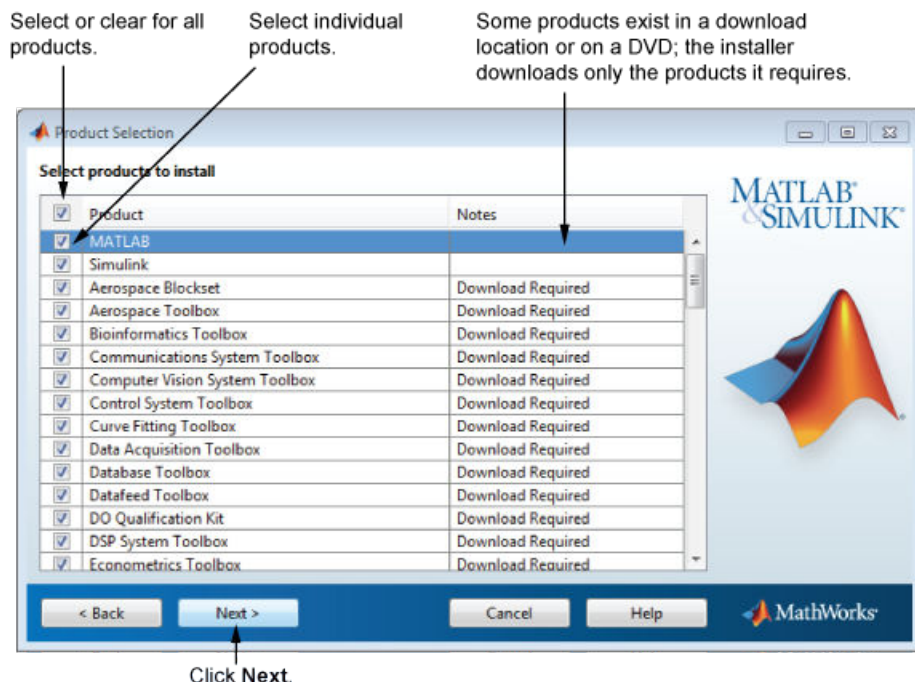


手順 9: インストールする製品の指定

製品リストから、インストールする製品を指定します。このリストには、選択したライセンスまたは指定したアクティベーション キーに関連付けられているすべての製品が表示されます。インストール対象外の製品がある場合は、製品名の横のチェック ボックスをオフにします。

メモ 選択した製品がお使いのコンピューターの既定のダウンロード場所または DVD に存在している場合、インストーラーは MathWorks Web サイトからファイルをダウンロードせずに、ローカル ファイルを使用してインストールを実行します。

選択した製品のいずれかが他の製品に依存しているかどうかはインストーラーによって確認されます。不適切な製品の依存が存在する場合は、警告が発せられます。選択した製品が、適切であるかどうかを検討します。

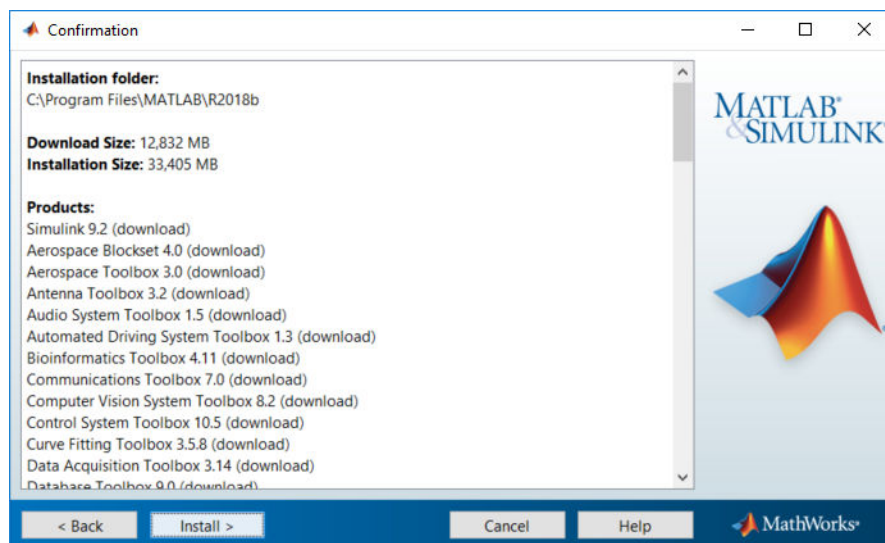


インストールする製品を選択した後、[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

手順 10: 選択内容の確認

ソフトウェアをハード ディスクにインストールする前に、インストーラーにインストール内容の要約が表示されます。設定を変更するには、[戻る] をクリックします。インストールを続行するには、[インストール] をクリックします。

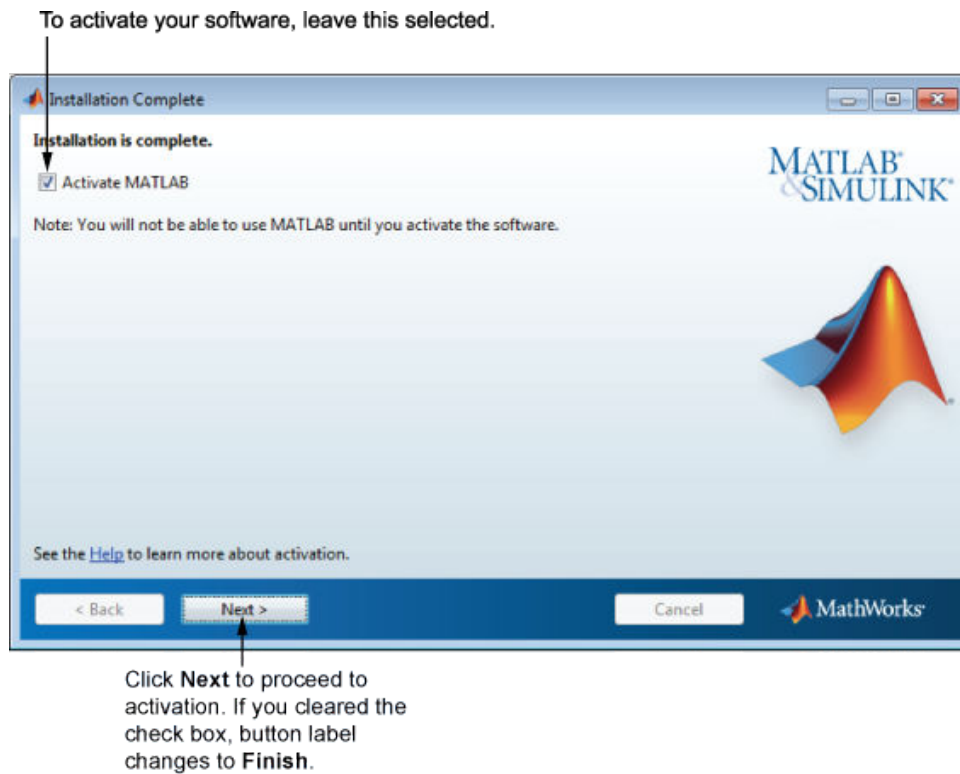
メモ 使用するインストール方法によっては、確認情報がここで示される例とは異なる場合があります。



手順 11: インストールの完了

インストールが正常に完了した後、インストールしたソフトウェアのアクティベーションを行うかどうかを選択できます。インストールしたソフトウェアは、アクティベーションを行うまで使用できません。インストール直後にアクティベーションを行うと、最も早く MATLAB の使用を開始できます。[次へ] をクリックして、アクティベーションを実行します。

ソフトウェアのアクティベーションを行わずにインストーラーを終了する場合は、[MATLAB のアクティベーション] オプションをオフにし、ラベルが [終了] に変更されたボタンをクリックします。後でソフトウェアのアクティベーションを行うときには、アクティベーション アプリケーションを使用します。ソフトウェアのアクティベーションが行われていない場合、MATLAB を起動したときにアクティベーション アプリケーションが自動的に起動します。



アクティベーション

この後のアクティベーションの方法は、ライセンスを付与されたエンド ユーザーのアクティベーションと同じです。詳細については、「MathWorks アカウントを使用するインストールのアクティベーション」(p. 1-23) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)を参照してください。

参考

関連する例

- ・ 「ネットワーク インストールの計画」 (p. 4-6) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)

- ・ 「MathWorks アカウントを使用するインストールのアクティベーション」 (p. 1-23) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)

インストールを後で行う場合の製品のダウンロード

この節の内容...
「手順 1: インストーラーのダウンロードおよび起動」 (p. 3-16)
「手順 2: ログイン オプションの選択」 (p. 3-17)
「手順 3: ソフトウェア ライセンス許諾書の確認」 (p. 3-19)
「手順 4: MathWorks アカウントへのログイン」 (p. 3-19)
「手順 5: 2 段階認証コードの入力」 (p. 3-20)
「手順 6: [ダウンロードのみ] オプションの選択」 (p. 3-21)
「手順 7: ダウンロード フォルダーとプラットフォームの指定」 (p. 3-22)
「手順 8: ダウンロードする製品の指定」 (p. 3-23)
「手順 9: 選択内容の確認」 (p. 3-24)
「手順 10: ダウンロードの完了」 (p. 3-25)
「ダウンロードしたソフトウェアのインストールおよびアクティベーション」 (p. 3-26)

この手順では、すぐにインストールを実行せずに製品をダウンロードする方法について説明します。この手順は、製品をダウンロードしておいて、後で 1 台以上のコンピューターに製品をインストールする場合に便利です。インストールする際、コンピューターはインターネットに接続されていなくてもかまいません。

この手順を使用する当事者は、自分の MathWorks アカウントに関連付けられているライセンスの管理者でなければなりません。

インストール中は、システムのウイルス対策ソフトウェアとインターネット セキュリティアプリケーションを無効にしてください。これらのアプリケーションによって、インストールの処理が遅くなったり、反応がなくなったように見えたりすることがあります。

手順 1: インストーラーのダウンロードおよび起動

- 1 MathWorks Web サイトからインストーラーをダウンロードします。

Web サイトでインストーラーを選択すると、製品ファイルではなく、選択したプラットフォームでインストーラーを実行するために必要なファイルが渡されます。インストーラーを実行し、Windows、Linux、および Mac OS X のプラットフォーム用の製品を選択します。必要に応じて、インストーラーが製品を MathWorks からダウンロードします。

- 2 インストーラーを起動します。インストーラーの起動方法は、プラットフォームによって異なります。
- ・ Windows – MathWorks Web サイトでインストーラーを選択し、[実行] をクリックすると、インストーラーが自動的に起動します。インストーラーを保存した場合は、保存先のフォルダーにある自己解凍形式のインストーラー ファイルをダブルクリックします。解凍の完了後に、インストーラーが自動的に起動します。
- 後でインストーラーを再起動するには、`setup.exe` をクリックします。このファイルは、ファイルを解凍したフォルダーの最上位にあります。
- ・ Mac OS X – MathWorks Web サイトからダウンロードした `dmg` ファイルをダブルクリックします。`InstallForMacOSX.app` をダブルクリックします。
 - ・ Linux – `unzip` コマンドを使用して、MathWorks Web サイトからダウンロードしたアーカイブ ファイルよりファイルを解凍し、次のコマンドを実行します。

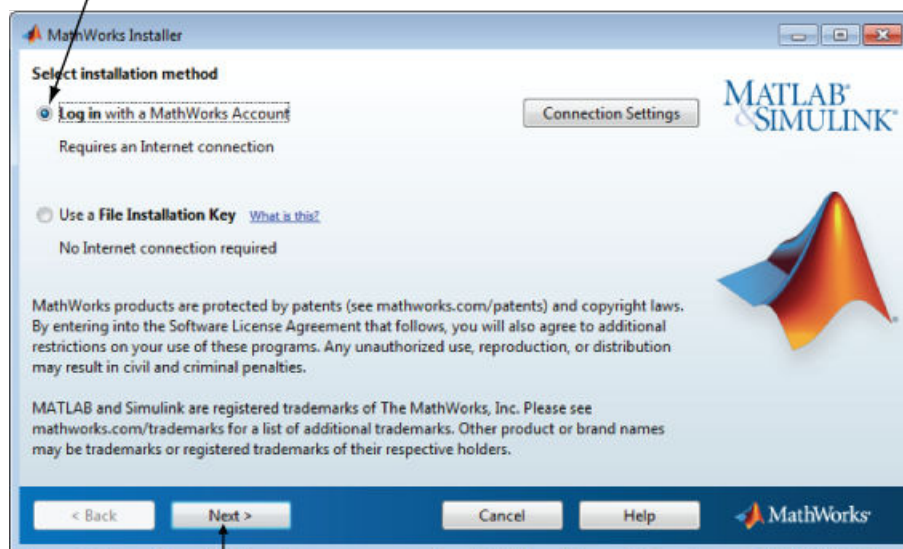
```
./install
```

メモ DVD 1 からインストーラーを起動することもできますが、インストーラーは DVD の製品を使用する代わりに、MathWorks Web サイトから製品ファイルをダウンロードします。

手順 2: ログイン オプションの選択

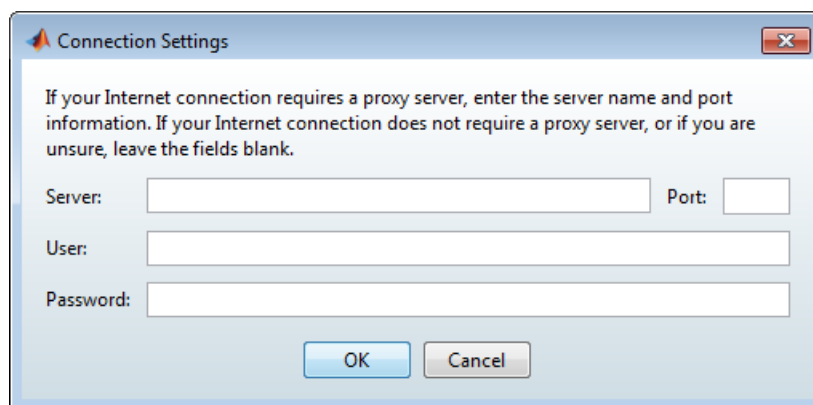
[MathWorks アカウントでログインする] オプションをオン（既定）にしておき、[次へ] をクリックします。インストール中に MathWorks アカウントにログインし、インストーラーの指示に従います。

Select this option to install products using an Internet connection.



Click Next.

インターネット接続にプロキシ サーバーを必要とする場合は、[接続設定] ボタンをクリックします。[接続設定] ダイアログ ボックスに、サーバー名、ポートおよびパスワードを入力します。MathWorks は基本認証とダイジェスト認証のプロキシ設定をサポートしています。



メモ Windows システムでは、インストーラーは、既定でシステムのプロキシ設定を使用します。プロキシ サーバーがログインを要求する場合、インストーラーはログイン情報の入力を指示するプロンプトを表示します。

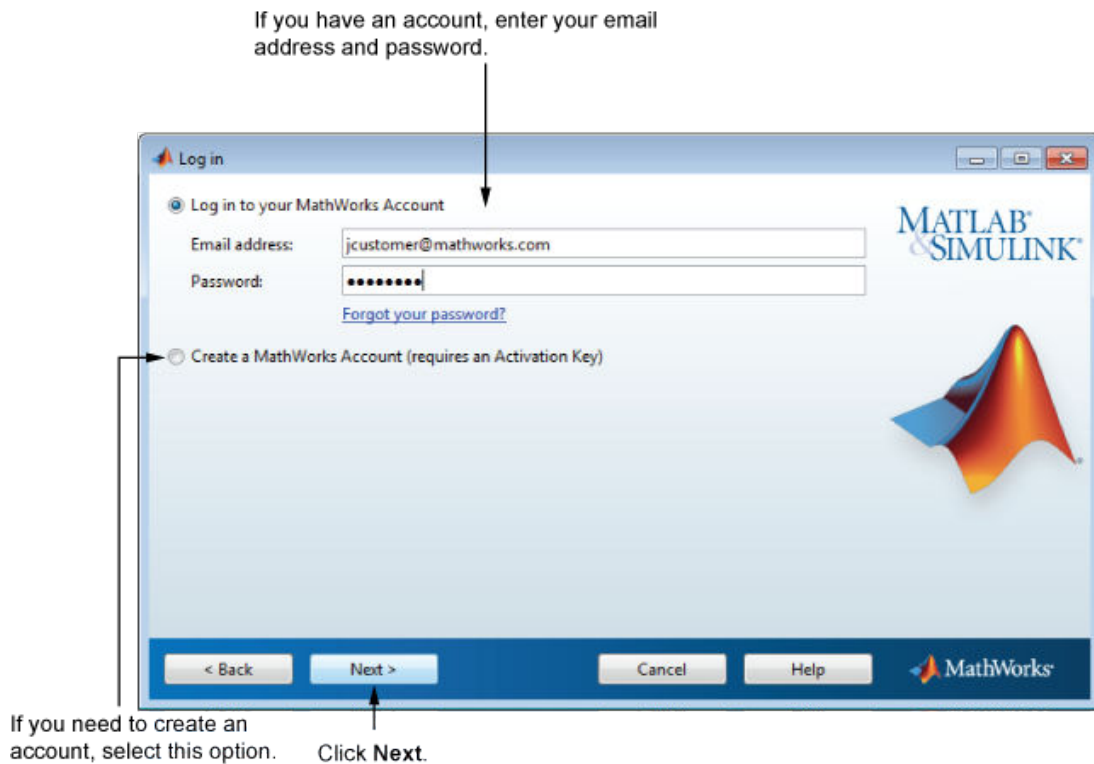
手順 3: ソフトウェア ライセンス許諾書の確認

ソフトウェア ライセンス許諾書を確認し、条件に同意する場合は [はい] を選択して [次へ] をクリックします。

手順 4: MathWorks アカウントへのログイン

MathWorks アカウントにログインするには、電子メール アドレスとパスワードを入力して、[次へ] をクリックします。インストーラーにより MathWorks へのアクセスが行われ、アカウントに関連付けられたライセンスに関する情報が取得されます。アカウントで 2 段階認証を有効にしている場合、認証コードが主な方法に送信されます。

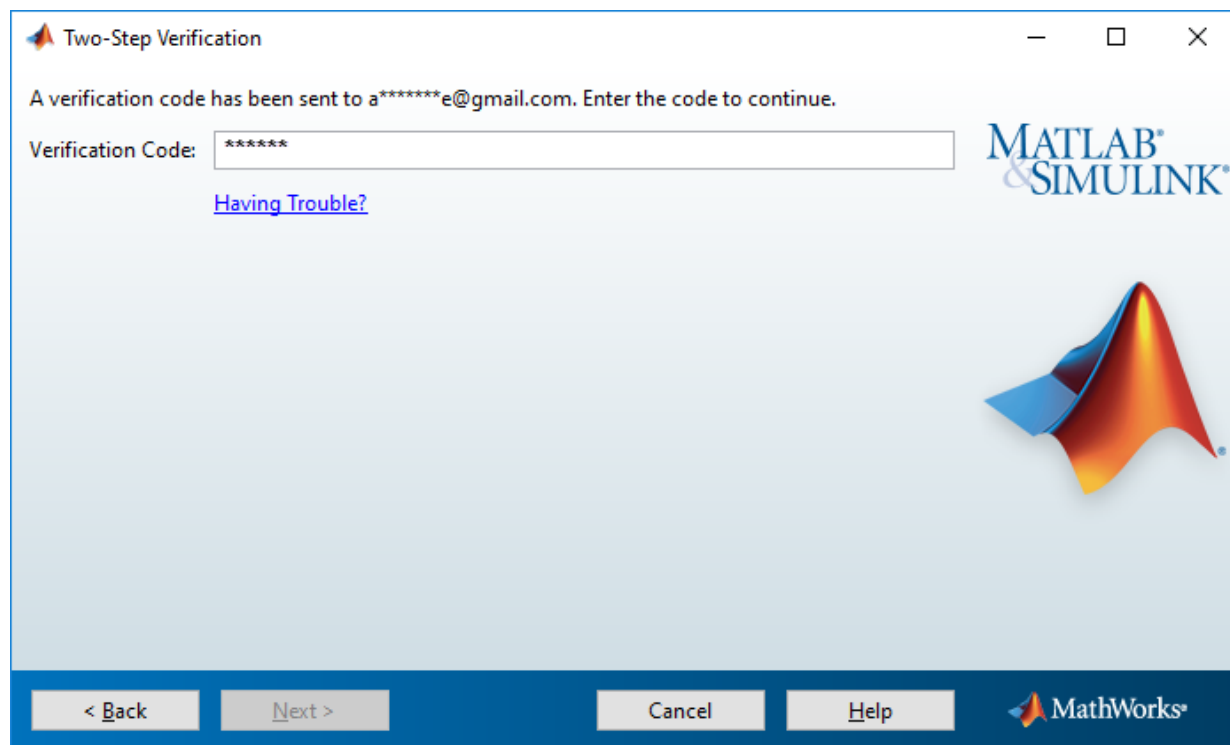
MathWorks アカウントを保有していない場合は、[MathWorks アカウントを作成する (アクティベーション キーが必要)] オプションをオンにして [次へ] をクリックします。アカウントの作成に必要なデータの入力を指示するプロンプトが表示されます。



手順 5: 2 段階認証コードの入力

MathWorks アカウントで 2 段階認証を有効にしている場合、MathWorks アカウントのサインイン時に、主な方法に送信された認証コードを入力するよう求めるメッセージが表示されます。2 段階認証を有効にしていない場合は、次のステップに直接進むことができます。

主な方法に送信された認証コードを入力します。

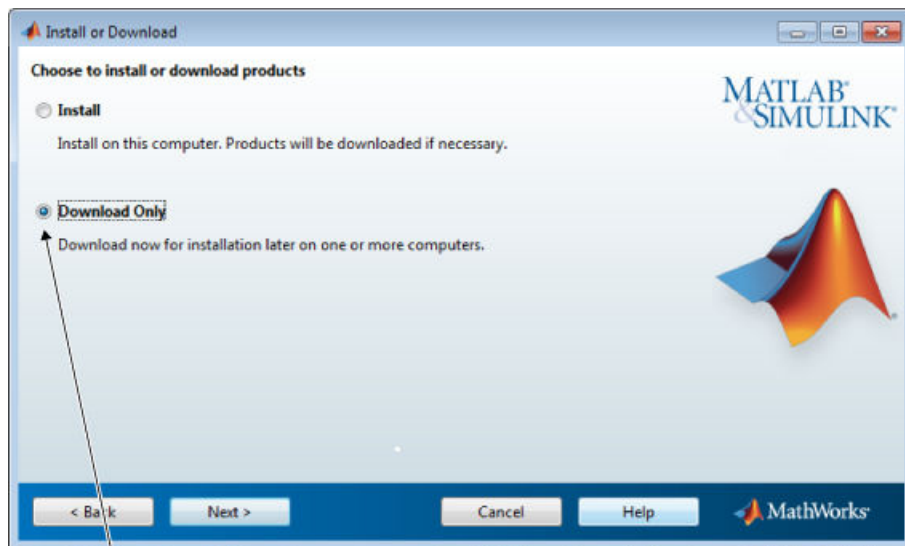


[次へ] をクリックしてインストールを実行します。

手順 6: [ダウンロードのみ] オプションの選択

[ダウンロードのみ] オプションをオンにします。

このオプションを選択すると、後でインストールできるように MathWorks Web サイトから製品がダウンロードされます。



To download the software
without installing it, select this
option

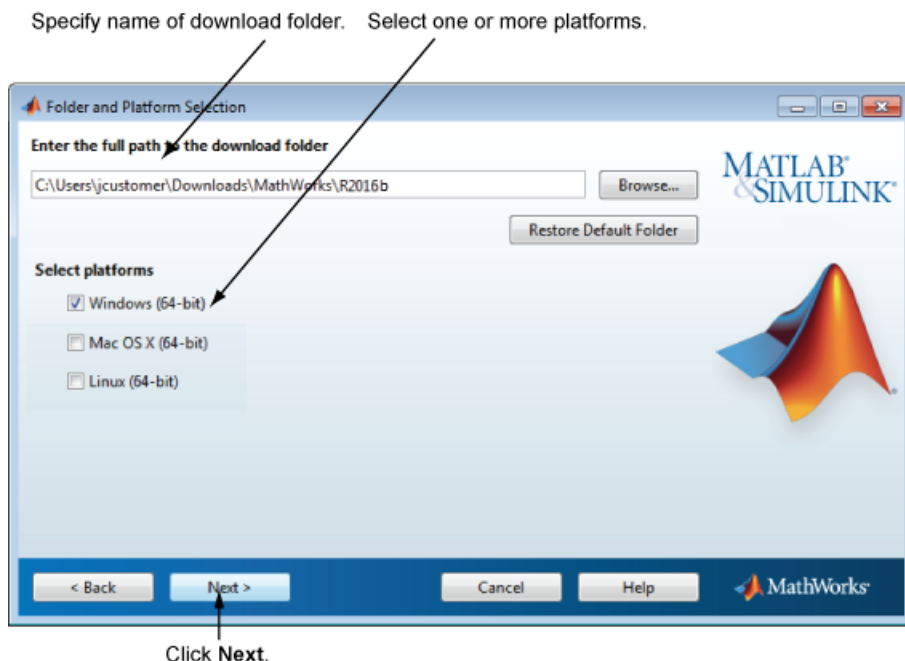
手順 7: ダウンロード フォルダーとプラットフォームの指定

- 1 MathWorks ソフトウェアのダウンロード先のフォルダー名を指定します。

既定のダウンロード フォルダーをそのまま使用することも、[参照] をクリックして別のフォルダーを選択することもできます。指定したフォルダーが存在しない場合は、インストーラーによって作成されます。

- 2 1 つ以上のプラットフォームを選択します。

ダウンロードの完了後、ダウンロード場所のルート フォルダーまたはルート ディレクトリに、選択した各プラットフォーム用のインストーラーが格納されます。

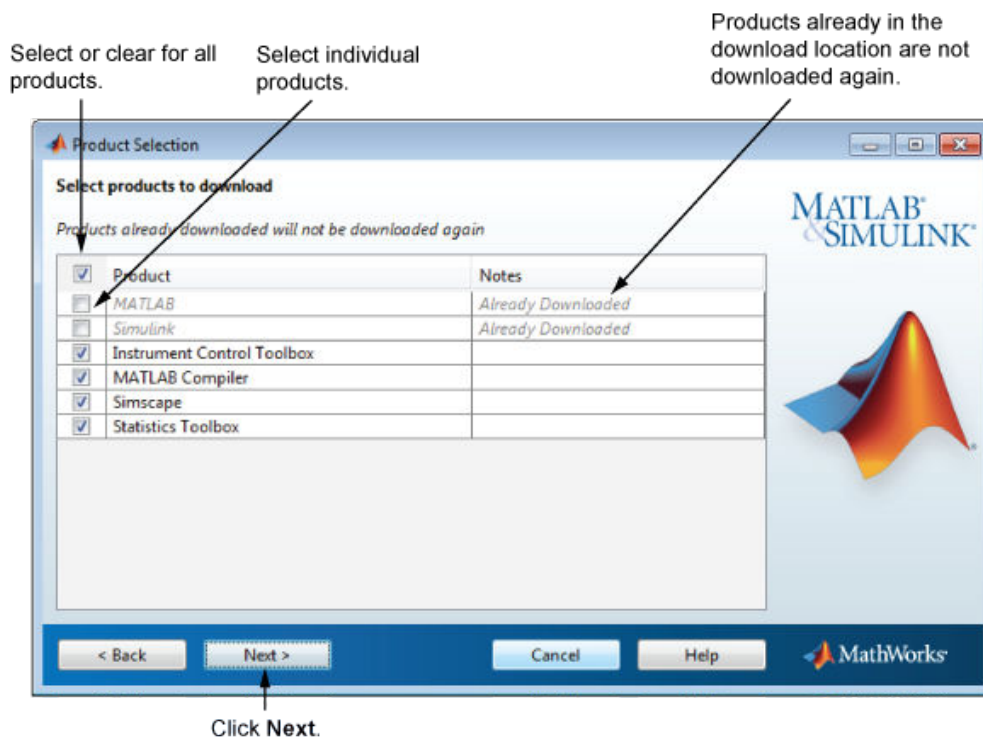


手順 8: ダウンロードする製品の指定

ダウンロードする製品を指定します。ダウンロードしない製品がある場合は、製品名の横にあるチェック ボックスをオフにします。

指定したダウンロード場所に既に製品が存在する場合、その製品は選択できません。インストーラーはそれらの製品の再ダウンロードを行いません。製品を再度ダウンロードする場合は、[フォルダーの選択] ダイアログ ボックスに戻り、別のダウンロードの場所を選択します。

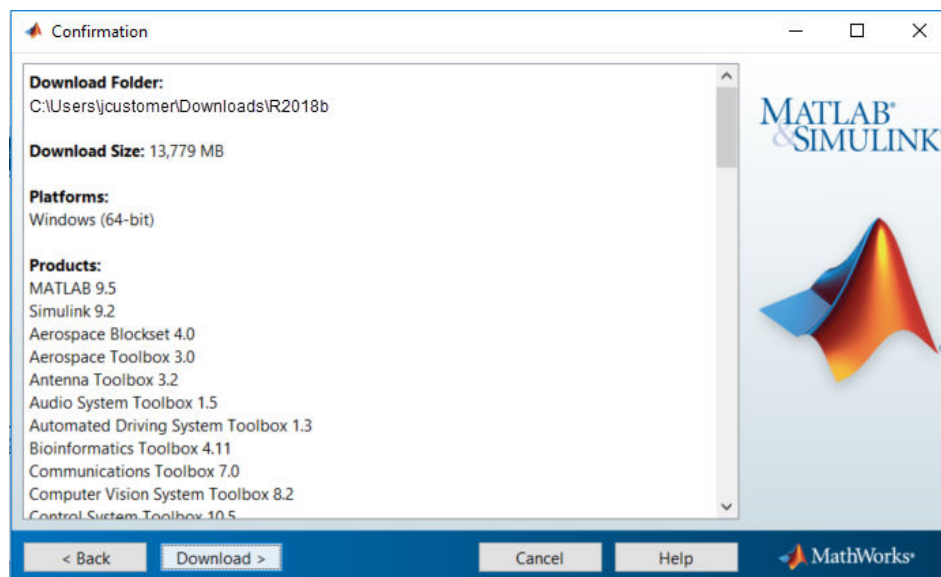
ダウンロードする製品を選択した後、[次へ] をクリックします。



手順 9: 選択内容の確認

ファイルをハード ディスクにダウンロードする前に、インストーラーに選択内容の要約が表示されます。

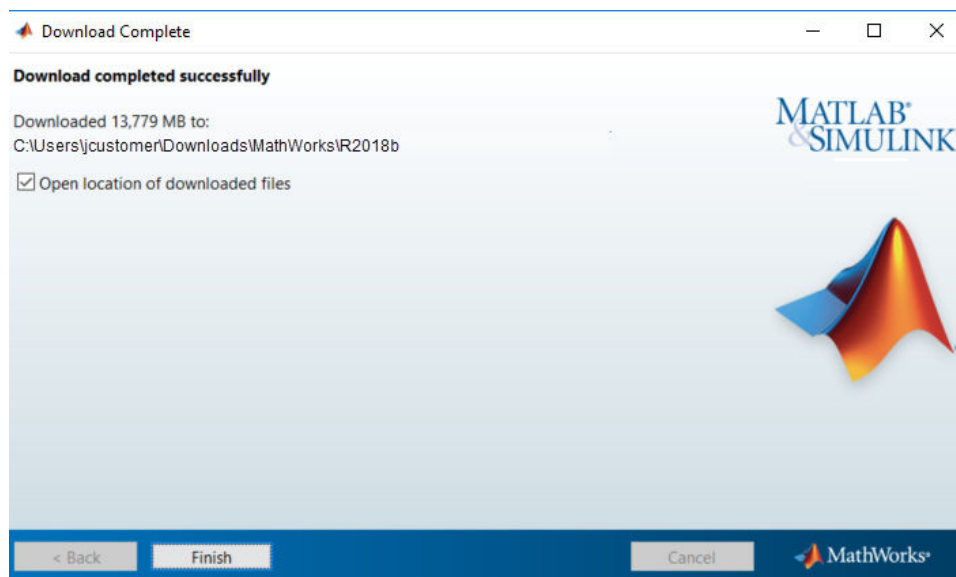
- ・ ダウンロード場所または選択した製品を変更するには、[戻る] をクリックします。
- ・ ダウンロードを実行するには、[ダウンロード] をクリックします。



手順 10: ダウンロードの完了

ダウンロードが正常に完了すると、ダウンロードしたファイルの合計サイズが表示され、ダウンロード場所を開くことができます。

[終了] をクリックしてダウンロード手順を終了します。



ダウンロードしたソフトウェアのインストールおよびアクティベーション

ソフトウェアをダウンロードした後、ダウンロード場所からいつでもソフトウェアをインストールできます。ファイル インストール キーを使用してソフトウェアをインストールする場合は、インストーラー ファイルを含むダウンロードした製品ファイルが、ネットワーク接続がないコンピューターがアクセスできる場所に格納されていることを確認します。たとえば、ネットワーク接続がないコンピューターの既定のダウンロード フォルダーにファイルをコピーするか、ソフトウェアを DVD などのメディアにコピーできます。コンピューターの既定のダウンロード フォルダーにファイルをコピーしない場合は、インストーラー ファイルが製品ファイルと同じフォルダー内にあることを確認してください。

ソフトウェアをインストールするには、「ネットワーク インストールの計画」 (p. 4-6) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション) を参照し、組織の構成に合った適切な手順に従ってください。

参考

関連する例

- ・ 「ネットワーク インストールの計画」 (p. 4-6) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)

ネットワーク ライセンス オプションのインストール

このトピックでは、コンカレント ユーザーまたはネットワーク ネームド ユーザーなどのライセンスで、ネットワーク上にあるコンピューターに MathWorks 製品をインストールしてアクティベーションを行う方法を説明します。Microsoft Windows オペレーティング システム (64 ビット)、Linux オペレーティング システム (64 ビット) または Mac OS X オペレーティング システムを実行しているコンピューターを使用できます。

- ・ 「ネットワーク ライセンス ファイルについて」 (p. 4-2)
- ・ 「ネットワーク インストールの計画」 (p. 4-6)
- ・ 「ファイル インストール キーを使用したライセンス マネージャーのインストール」 (p. 4-13)
- ・ 「MathWorks アカウントを使用したライセンス マネージャーのインストール」 (p. 4-25)
- ・ 「ライセンス マネージャー ソフトウェアの更新」 (p. 4-42)
- ・ 「クライアントへの製品とライセンス情報の提供」 (p. 4-44)
- ・ 「クライアント システムへの MathWorks ソフトウェアのインストール」 (p. 4-46)
- ・ 「ライセンス マネージャーの起動」 (p. 4-65)
- ・ 「ライセンス マネージャーの管理」 (p. 4-67)
- ・ 「ネットワーク ライセンスの更新」 (p. 4-71)
- ・ 「非対話モードのインストール (サイレント インストール)」 (p. 4-73)
- ・ 「非対話モードでのアンインストール」 (p. 4-75)

ネットワーク ライセンス ファイルについて

この節の内容...
「ネットワーク ライセンス」 (p. 4-2)
「MATLAB インストール」 (p. 4-2)
「MATLAB 検索パス」 (p. 4-3)
「ネットワーク ライセンス ファイルの内容」 (p. 4-4)
「ネットワーク ライセンス ファイルの変更」 (p. 4-5)

ネットワーク ライセンス

ネットワーク ライセンスには、組織がインストールおよび実行するライセンスを保有している各製品の暗号パスコードが記載されています。ネットワーク サーバーのライセンス管理者またはシステム管理者は、ネットワーク ライセンス ファイルにアクセスしなければならない場合があります。

MATLAB インストール

MATLAB ソフトウェアをインストールする場合、インストーラーはネットワーク ライセンス ファイルの処理を次のように実行します。

- ・ サーバー上でインストーラーが次を行います。
 - ・ `license.dat` というネットワーク ライセンス ファイルのコピーを作成し、MATLAB インストール フォルダーの `\etc` フォルダーに配置します。
 - ・ ファイルに `SERVER` 行と `DAEMON` 行を追加します。`SERVER` 行はサーバー ホストとポート番号を識別します。`DAEMON` 行はライセンス マネージャー デーモンの名前を識別します。
 - ・ 処理したライセンス ファイルは `matlabroot/etc` に保存します。ここで、`matlabroot` は MATLAB インストール フォルダーです。
 - ・ インストール時にオプション ファイルが作成されると、ライセンス ファイルの `DAEMON` 行に `Options=` 構文も追加されます。この構文はオプション ファイルのパス名を指定します。

たとえば、使用しているサーバー名が `thunderball` で IP アドレスが `144.212.111.103` の場合、ライセンス ファイルの `SERVER` 行と `DAEMON` 行は次のようになります。

```
SERVER thunderball INTERNET=144.212.111.103 27000
DAEMON MLM "C:\Program Files\MATLAB\R2018b\etc\win64\MLM.exe" \
options="C:\Program Files\MATLAB\R2018b\etc\mlm.opt"
```

- ・ クライアント マシン上でインストーラーが次を行います。
 - ・ 指定したライセンス ファイルのコピーを network.lic という名前で作成し、MATLAB クライアントのインストール フォルダーにある \licenses フォルダーに配置します。
 - ・ SERVER 行はそのまま残して、すべての INCREMENT 行と DAEMON 行をライセンス ファイルから削除します。また、ファイルにステートメント USE_SERVER を追加します。この行はクライアントにサーバー上のネットワーク ライセンス ファイルを指定します。ファイルには製品のすべてのパスコードが記載されています。

MATLAB 検索パス

MATLAB の起動時にライセンス ファイルが読み込まれ、製品のライセンスが確認されます。MATLAB は次の場所を順番に検索してライセンス ファイルを見つけます。

- ・ MATLAB の起動コマンド ラインで、-c オプションを使用して指定されたライセンス ファイル。
- ・ 環境変数 MLM LICENSE FILE および LM LICENSE FILE。
- ・ プログラムを起動したユーザーのプロファイル フォルダー
- ・ MATLAB インストールの \licenses フォルダーにある license.dat というファイル、または拡張子 .lic をもつ任意のファイル。

ライセンス ファイルが見つかると、MATLAB は検索を停止します。

MATLAB 検索パスの設定

既定では、MATLAB はライセンス ファイルをクライアント マシン上の MATLAB クライアント インストール フォルダーにある \licenses フォルダーにインストールします。ただし、次のいずれかの方法でこの場所を上書きすることができます。

- ・ MATLAB の起動時にコマンド ラインで -c オプションを使用してライセンス ファイルのパスを指定します。MATLAB はこのパスを最初に検索します。

検索を行うパスの一覧を指定できます。-c オプションを使用すると、環境変数の検索を明示的に禁止することになります。-c オプションを使用するときには、次のことに注意してください。

- ・ ライセンス ファイルへのパスがスペースを含む場合は、パス名を引用符で囲みます。
- ・ 複数のライセンス ファイルを指定する場合は、ライセンス ファイルの一覧全体を引用符で囲みます。
- ・ 環境変数を設定します。MATLAB はこれらのパスを 2 番目に検索します。
 - ・ MLM_LICENSE_FILE - ライセンス ファイルの場所を指定しますが、MathWorks 製品 のみに適用されます (MathWorks 製品のみに影響するため推奨)。

MATLAB はこの環境変数を最初に検索します。

- ・ LM_LICENSE_FILE - このサーバーで FlexNet® ライセンスを使用するすべてのアプ リケーションのライセンス ファイルの場所を指定します。
- ・ ライセンスを個々のユーザーに制限します。MATLAB はこのパスを 3 番目に検索します。

MATLAB は、プログラムを起動したユーザーのプロファイル フォルダを検索します。特 定ユーザーによる使用に制限されたライセンスの場合、アクティベーション アプリケー ションによって、ライセンス ファイルは対象ユーザーのプロファイル内のフォルダに格 納されます。

ネットワーク ライセンス ファイルの内容

ネットワーク ライセンス ファイルとは特殊な形式の ASCII テキスト ファイルで、実行す るライセンスのある各製品の暗号パスコードが記載されています。各製品のパスコードは、 該当する製品で使用可能なライセンス キーの数を指定します。ライセンス マネージャーに よって、各製品に関連付けられているライセンス キーの使用状況に応じて、その製品へのア クセスを許可するか拒否するかが決定されます。

- ・ 各 INCREMENT 行は、製品、製品に対して使用可能なキーの数、その他の情報を指定し ます (この例に示されているすべての要素が実際のライセンス ファイルの INCREMENT 行に含まれているとは限りません)。
- ・ バックスラッシュまたは円記号 (\) は、その行が次の行に続くことを示します。
- ・ シャープ記号 (#) で始まる行はコメント行です。MathWorks インストーラーは、インス トール中のライセンス ファイル処理時に、これらのコメント行にあるライセンス サーバ ー ホストの ID またはインターネット アドレスなどの情報を使用します。

```
# BEGIN-----cut here-----CUT HERE-----BEGIN
# MATLAB license passcode file.
# LicenseNo: 12345          HostID: INTERNET=144.212.101.43
INCREMENT TMW_Archive MLM 18 01-sep-2015 0 \
BC9DE773A77D15AF8 VENDOR_STRING=83 HOSTID=DEMO SN=12345
```

```
INCREMENT MATLAB MLM 18 01-sep-2015 1 \
    4C9D3348561BE9E3B USER_BASED DUP_GROUP=U SN=12345
INCREMENT SIMULINK MLM 18 01-sep-2015 1 \
    1CD148466EF58DF8B USER_BASED DUP_GROUP=U SN=12345
INCREMENT Signal_Toolbox MLM 18 01-sep-2015 1 \
    6CF74B458BA143DC3 USER_BASED DUP_GROUP=U SN=12345
# END-----cut here-----CUT HERE-----END
```

ネットワーク ライセンス ファイルの変更

一般に、サーバーやクライアント マシン上のネットワーク ライセンス ファイルを変更する必要はありません。ただし、次のような場合にはライセンス ファイルを編集しなければなりません。

- ・ ライセンス サーバーの名前を変更する場合（たとえば、ライセンスを新しいサーバーでホストする場合など）。「ネットワーク ライセンスの更新」（p. 4-71）（インストール、ライセンスおよびアクティベーション）を参照してください。
- ・ ポート番号を変更する場合（たとえば、サーバーのポート アドレスが変更された場合など）。Migrate MATLAB Client Installations to New License Server を参照してください。
- ・ ネットワーク インストールを新しいライセンス ファイルで更新する場合。Update License File on License Server を参照してください。

参考

詳細

- ・ 「ライセンス マネージャーのコマンド ライン ユーティリティの使用」（p. 4-68）（インストール、ライセンスおよびアクティベーション）

外部の Web サイト

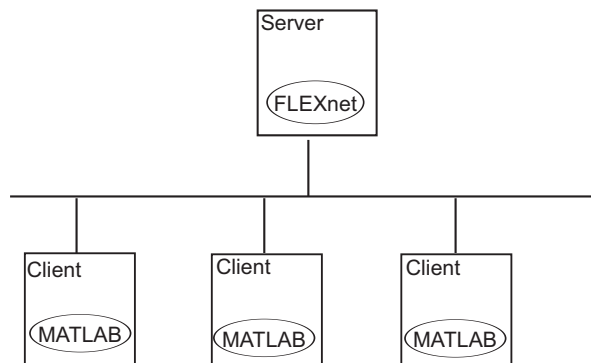
- ・ ライセンス センター

ネットワーク インストールの計画

構成

MathWorks は、ネットワーク インストールに Flexera Software, Inc の製品である FLEXlm® というライセンス マネージャー プログラムを使用します（このドキュメンテーションでは、“ライセンス マネージャー”と呼びます）。

“ローカル クライアント アクセス” 構成では、ライセンス マネージャーをサーバーにインストールし、MATLAB を各クライアント システムにインストールします。ライセンス マネージャーは、ライセンス キーを使って MathWorks 製品へのアクセスを制御します。MATLAB は、起動時または他の製品の機能を使用するときに、ライセンス キーをチェックアウトします。特定の製品のキーがすべてチェックアウトされると、ライセンス マネージャーがそれ以降の要求を拒否します。



ネットワーク インストールを設定するには、次のようにして FlexNet ライセンス マネージャーをサーバーにインストールし、MathWorks 製品をクライアント ワークステーションにインストールしなければなりません。

- ・ サーバーへのライセンス マネージャーのインストール - ネットワーク インストールの場合、製品へのアクセスをコントロールするために FlexNet ライセンス マネージャーをインストールしなければなりません。ライセンス マネージャーは、すべてのネットワーク ユーザーが利用できるサーバーにインストールします。このドキュメンテーションでは、このサーバーを “ライセンス サーバー” と呼びます。
- ・ 各クライアント システムへの MathWorks 製品のインストール - 製品ファイルを各クライアント システムにインストールします。クライアント システムは、ネットワークを通じてライセンス サーバーに接続できなければなりません。

インストールおよびアクティベーションは、オンラインで行うかオフラインで行うかを選ぶことができ、インストールは自分で実行するか他の人に実行させるかを選択することができます。

どちらのインストールも MathWorks インストーラーを使って行えます。

既に確立されているライセンス管理スキームに MathWorks 製品を統合する場合は、インストーラーを使用してライセンス マネージャーをインストールする代わりに、MathWorks ライセンス管理デーモンをシステムにコピーできます。手順については、ライセンス マネージャーソフトウェアの更新 (p. 4-42)を参照してください。

メモ インストーラーを実行する前に、インストールするライセンスのアクティベーションを行います。使用している構成に必要なライセンス ファイルを取得するには、MathWorks Web サイトのライセンス センターにアクセスしてください。ライセンス ファイルを要求する際には、ライセンス マネージャーを実行する予定のシステムのホスト ID を知らせます。インストール時にライセンス ファイルの場所を指定します。

FlexNet ライセンス マネージャーのインストール手順

MathWorks では、先にライセンス マネージャーをインストールしてから、MATLAB をインストールすることを推奨しています。そうすることで、インストール時にクライアント マシンがライセンス サーバーに正常にアクセスしているかを判断できるため、MATLAB のインストールを簡単に確認できます。

ライセンス マネージャーのインストール手順については、次のいずれかを選びます。

- ・ 「ファイル インストール キーを使用したライセンス マネージャーのインストール」 (p. 4-13) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)
- ・ 「MathWorks アカウントを使用したライセンス マネージャーのインストール」 (p. 4-25) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)

ライセンス マネージャーをインストールしたら、次の節の説明に従い MATLAB のインストール手順を選択します。

MATLAB のインストール手順

MATLAB をエンド ユーザーのシステムにインストールするには、そのシステムの管理者でなければなりません。インストールを行うユーザーは、MathWorks アカウントを保有しているか作成する必要があり、そのアカウントにライセンスを追加しなければなりません。

自分が 1 つ以上のライセンスの管理者であるかどうかを調べるには、以下の手順に従います。

- 1 MathWorks アカウントにログインします。
- 2 表示されたリストからライセンスを選択します。

次の表を参考にして、MATLAB の適切なインストール手順を選択してください。

インストールのタイプ	インストール実行者	手順
インターネット接続を使用した対話形式でのインストールとアクティベーション	管理者またはエンド ユーザー	<p>「1 台のコンピューターへのインストール」(p. 3-3) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)の手順に従います。</p> <p>エンド ユーザーがインストールを行う場合は、次のようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「クライアントへの製品とライセンス情報の提供」 (p. 4-44) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション) ・ エンド ユーザーが「MathWorks アカウントを使用する製品のインストール」(p. 1-3) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)の手順に従う <p>メモ インストールのみを行い、後でエンド ユーザーにアクティベーションを自分で行ってもらうには、インストール終了時に [MATLAB のアクティベーション] オプションをオフにして [終了] をクリックします。エンド ユーザーに、「MathWorks アカウントを使用するインストールのアクティベーション」 (p. 1-23) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)の手順に従ってもらいます。</p>

インストールのタイプ	インストール実行者	手順
インターネット接続を使用した、エンド ユーザーによる対話形式でのインストールとアクティベーション（インストーラーのダウンロードは管理者が別に行う）	管理者およびエンドユーザー	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="807 336 1326 465">1 「インストールを後で行う場合の製品のダウンロード」 (p. 3-16)（インストール、ライセンスおよびアクティベーション）の手順に従います。 <li data-bbox="807 475 1326 666">2 ターゲット マシンとは別のマシンでダウンロードを行った場合は、ダウンロードしたファイルを対象のクライアント マシンにコピーするか、ネットワーク上のアクセス可能な場所に格納します。 <li data-bbox="807 677 1326 868">3 「クライアントへの製品とライセンス情報の提供」 (p. 4-44)（インストール、ライセンスおよびアクティベーション）で説明されている、インストールに必要なアーティファクトをエンド ユーザーに提供します。 <li data-bbox="807 878 1326 1034">4 エンド ユーザーが「MathWorks アカウントを使用する製品のインストール」 (p. 1-3)（インストール、ライセンスおよびアクティベーション）の手順に従う

インストールのタイプ	インストール実行者	手順
オフライン コンピューターへのインストールとアクティベーション	管理者のみ	<ol style="list-style-type: none"> 1 「インストールを後で行う場合の製品のダウンロード」 (p. 3-16) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)の手順に従います。 2 ターゲット マシンとは別のマシンでダウンロードを行った場合は、ダウンロードしたファイルを対象のクライアント マシンにコピーするか、ネットワーク上のアクセス可能な場所に格納します。 3 「クライアント システムへの MathWorks ソフトウェアのインストール」 (p. 4-46) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション) <p>メモ インストールのみを行い、後でエンドユーザーにアクティベーションを自分で行ってもらうには、インストール終了時に [MATLAB のアクティベーション] オプションをオフにして [終了] をクリックします。エンド ユーザーに、「MathWorks アカウントを使用するインストールのアクティベーション」 (p. 1-23) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)の手順に従ってもらいます。</p>

インストールのタイプ	インストール実行者	手順
オフライン コンピューターへの対話形式でのインストールとアクティベーション（ダウンロードは管理者が別に行う）	管理者およびエンドユーザー	<ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="805 335 1317 465">1 「インストールを後で行う場合の製品のダウンロード」 (p. 3-16) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)の手順に従います。 <li data-bbox="805 473 1317 664">2 ターゲット マシンとは別のマシンでダウンロードを行った場合は、ダウンロードしたファイルを対象のクライアント マシンにコピーするか、ネットワーク上のアクセス可能な場所に格納します。 <li data-bbox="805 673 1317 960">3 「クライアントへの製品とライセンス情報の提供」 (p. 4-44) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)で説明している、インストールに必要なアーティファクトをエンド ユーザーに提供します。ファイル インストール キー (FIK) がエンド ユーザーに提供されていることを確認してください。 <li data-bbox="805 968 1317 1124">4 エンド ユーザーが「ファイル インストール キーを使用した製品のインストール」 (p. 1-36) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)の手順に従います。

インストールのタイプ	インストール実行者	手順
<p>非対話形式でのインストール (サイレント インストール)</p> <p>各ダイアログ ボックスで必要な情報を入力してインストールを対話的に実行する代わりに、インストーラーを非対話モードで実行することができます。このモードでは、通常、インストーラーのダイアログ ボックスを使用して対話形式で入力するすべての情報をプロパティ ファイルに入力します。</p>	管理者のみ	「非対話モードのインストール (サイレント インストール)」 (p. 4-73) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)

次のステップ

MATLAB をエンド ユーザーのマシンにインストールできたら、MATLAB 起動アクセラレータの構成や MATLAB の環境オプションの設定などの MATLAB 構成やスタートアップ オプションを調査できます。を参照してください。

参考

関連する例

- ・ 「ファイル インストール キーを使用したライセンス マネージャーのインストール」 (p. 4-13) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)
- ・ 「MathWorks アカountを使用したライセンス マネージャーのインストール」 (p. 4-25) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)
- ・

ファイル インストール キーを使用したライセンス マネージャーのインストール

インターネットに接続していないマシンに FlexNet ライセンス マネージャーをインストールするには、ファイル インストール キー (FIK) を使用します。インストーラーと FIK は、インターネット接続のあるコンピューターを使ってダウンロードしなければなりません。

ライセンス ファイルの運用に関する潜在的な問題を回避するために、MATLAB ソフトウェアをアップグレードするには常にライセンス マネージャー ソフトウェアのアップグレードを検討してください。

メモ R2013b 以降、ネットワーク ライセンス ファイルには新しいファイル形式が採用されています。そのため、R2013b 以降のリリースでは、R2013b 以降に同梱の最新バージョンのライセンス マネージャーに更新する必要があります。R2013b 以降のリリースにアップグレードしない場合は、MATLAB ソフトウェアの古いライセンス ファイルと以前のバージョンを継続して使用できます。

手順 1: インストールの準備

- ・ ライセンス マネージャーを実行するコンピューターのホスト ID を取得します。
- ・ Windows システム – ホスト ID は、最初のイーサネット アダプターの MAC アドレス（物理アドレス）または IP アドレスになります。MAC アドレスを取得するには、コマンド プロンプト ウィンドウを開いて、次のコマンドを実行します。

```
getmac
```

リストされている最初の物理アドレスを使用します（例：00-11-22-aa-bb-cc）。

IP アドレスを取得するには、コマンド プロンプト ウィンドウを開いて、次のコマンドを実行します。

```
ipconfig
```

- ・ Linux システム – ホスト ID は eth0 デバイス（最初のイーサネット デバイス）の MAC アドレスになります。ターミナル ウィンドウで、次のコマンドを実行します。

```
/sbin/ifconfig eth0
```

ホスト ID は、タグ “HWaddr” の横にある値です。

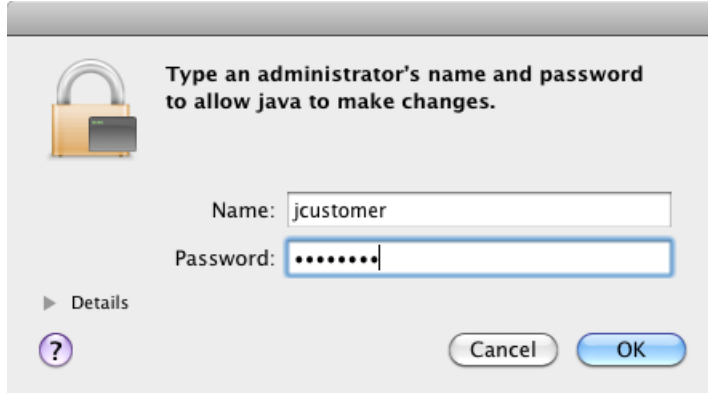
- ・ Mac OS X システム – ホスト ID は、内蔵イーサネット デバイス (en0) の MAC アドレスです。/Applications/Utilities の Terminal を使用して、次のコマンドを実行します。

```
netstat -I en0
```

ホスト ID は、出力の最初の行の [Address] 列にリストされます。

- ・ ライセンスのアクティベーションを行います。以前にライセンスのアクティベーションを行っている場合は、ライセンス ファイルを取得します。
 - 1 MathWorks Web サイトのライセンス センターにアクセスします。
 - 2 アクティベーションを行うライセンスを選択します。
 - 3 [Activation and Installation (アクティベーションとインストール)] タブを選択し、[Activate (アクティベーション)] をクリックします。
 - 4 ライセンス マネージャーを実行するコンピューターのオペレーティング システムの種類とホスト ID を指定します。オプションで、アクティベーションに説明ラベルを割り当てることもできます。[Continue (続行)] をクリックします。
 - 5 ライセンス ファイルとファイル インストール キーをダウンロードするか、または電子メールで受信するかを選択します。[Continue (続行)] をクリックします。
- ・ ライセンス マネージャーを実行中の場合は終了します。詳細については、「ライセンス マネージャーの起動」 (p. 4-65) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション) を参照してください。
- ・ ライセンス マネージャーのみをインストールする場合、MathWorks Web サイトからインストーラーを実行するか、DVD を使用します。
- ・ ライセンス マネージャーとその他の MathWorks 製品を同時にインストールするには、MathWorks 製品をあらかじめコンピューター上に用意しておくか、DVD として用意しておかなければなりません。DVD がない場合は、MathWorks インストーラーを使用して、製品をインストールせずにダウンロードします。
- ・ ソフトウェアをインストールするための適切な権限があることを確認してください。権限に関する質問は、システム管理者にお問い合わせください。
 - ・ Windows システム – 使用しているコンピューターの管理者アカウントの名前とパスワードを取得します。
 - ・ Linux システム – ルート パスワードを取得します。MATLAB ソフトウェアはスーパーユーザー権限がなくてもインストールできますが、特定のインストール オプションが制限されます。たとえば、matlab コマンドへのシンボリック リンクの設定、保護されているフォルダーへの製品ファイルのインストール、またはシステム起動スクリプトの編集を行うには、スーパーユーザーのステータスが必要です。

- Mac OS X システム – 使用しているコンピューターの管理者アカウントの名前とパスワードを取得します。管理者アカウントは Mac OS X システムの構成時に設定されたユーザー アカウントであり、MathWorks アカウントではありません。インストール中に、この名前とパスワードを [Authenticate] ダイアログ ボックスに入力しなければなりません。



- インストール プロセス中は、システムのウイルス対策ソフトウェアとインターネット セキュリティ アプリケーションを無効にしてください。これらのアプリケーションによって、インストールの処理が遅くなったり、反応がなくなったように見えたりすることがあります。

ライセンス マネージャーは、各環境で 1 回のみインストールします。MathWorks ソフトウェアをクライアントにインストールする方法の詳細については、「クライアント システムへの MathWorks ソフトウェアのインストール」 (p. 4-46) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション) を参照してください。

手順 2: インストーラーの起動

- 1 MathWorks Web サイトからインストーラーをダウンロードするか、お持ちの MATLAB DVD を用意します。

Web サイトでインストーラーを選択すると、製品ファイルではなく、選択したプラットフォームでインストーラーを実行するために必要なファイルが渡されます。インストーラーを実行して、ログインしているコンピューターにインストールする製品を選択します。必要に応じて、インストーラーが製品を MathWorks からダウンロードします。

- 2 インストーラーを起動します。インストーラーの起動方法は、プラットフォームによって異なります。また、MathWorks Web サイトからインストーラーをダウンロードするのか、DVD を使用するのかによっても異なります。

- ・ Windows

- ・ ダウンロードしたインストーラー ファイル – MathWorks Web サイトでインストーラーを選択して [実行] をクリックすると、インストーラーが自動的に起動します。インストーラーを保存した場合は、保存先のフォルダーにある自己解凍形式のインストーラー ファイルをダブルクリックします。自己解凍形式のインストーラー ファイルの名前は `matlab_release_$ARCH` です。release はインストールするリリース (R2018b など) を、\$ARCH は選択したアーキテクチャを示します。

解凍の完了後に、インストーラーが自動的に起動します。

後でインストーラーを再起動するには、`setup.exe` をクリックします。このファイルは、ファイルを解凍したフォルダーの最上位にあります。

- ・ DVD によるインストール – システムに接続されている DVD ドライブに DVD 1 を挿入します。通常、インストーラーが自動的に起動します。2 枚目のディスクを挿入するよう求められたら、DVD 2 を挿入します。
- ・ Mac OS X
 - ・ ダウンロードしたインストーラー ファイル – MathWorks Web サイトからダウンロードした `dmg` ファイルをダブルクリックします。InstallForMacOSX.app をダブルクリックします。
 - ・ DVD によるインストール – システムに接続されている DVD ドライブに DVD 1 を挿入します。DVD アイコンがデスクトップに表示されたら、そのアイコンをダブルクリックして DVD の内容を表示し、InstallForMacOSX アイコンをダブルクリックしてインストールを開始します。



InstallForMacOSX

2 枚目のディスクを挿入するよう求められたら、DVD 2 を挿入します。

- ・ Linux

- ・ ダウンロードしたインストーラー ファイル – `unzip` コマンドを使用して、MathWorks Web サイトからダウンロードしたアーカイブ ファイルからファイルを解凍します。ファイルの解凍後、次のインストーラー コマンドを実行します。

```
./install
```


DVD によるインストール – システムに接続されている DVD ドライブに DVD 1 を挿入し、次のコマンドを実行します。

```
/path_to_dvd/install &
```

メモ DVD ルート内からインストールを実行しないでください。インストールは DVD ルートの外にあるディレクトリから開始します。

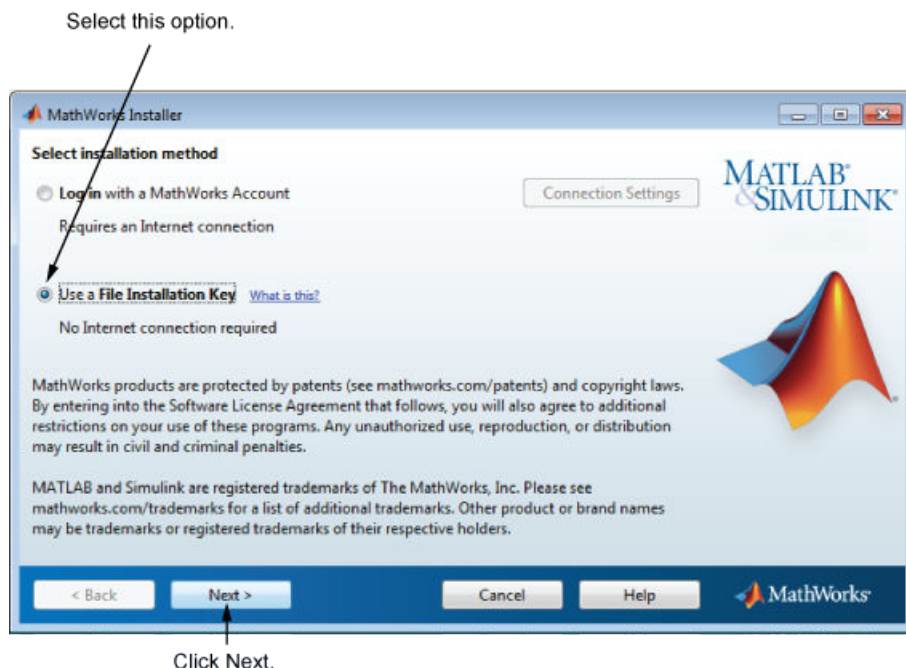
システムの構成によっては、最初に DVD をマウントしなければならないことがあります。次の例のように、必ず実行権限を指定してマウントしてください。DVD ドライブの名前は、お使いのシステムでは異なっている場合があります。

```
mount -o exec /media/cdrom0
```

2 枚目のディスクを挿入するよう求められたら、DVD 2 を挿入します。

手順 3: [ファイル インストール キーを使用する] の選択

[ファイル インストール キーを使用する] をオンにして [次へ] をクリックします。

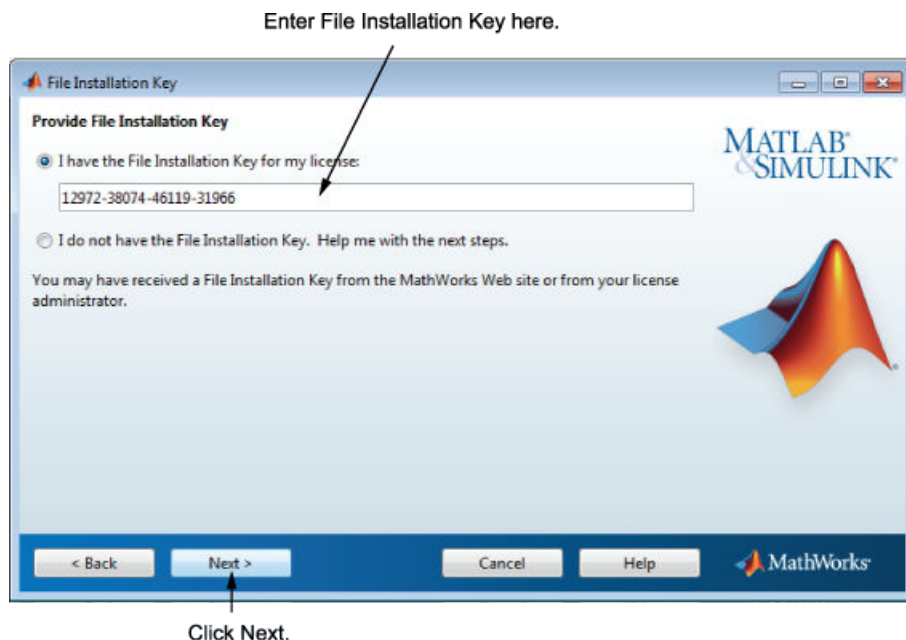


手順 4: ソフトウェア ライセンス許諾書の確認

ソフトウェア ライセンス許諾書を確認し、条件に同意する場合は [はい] を選択して [次へ] をクリックします。

手順 5: ファイル インストール キーの指定

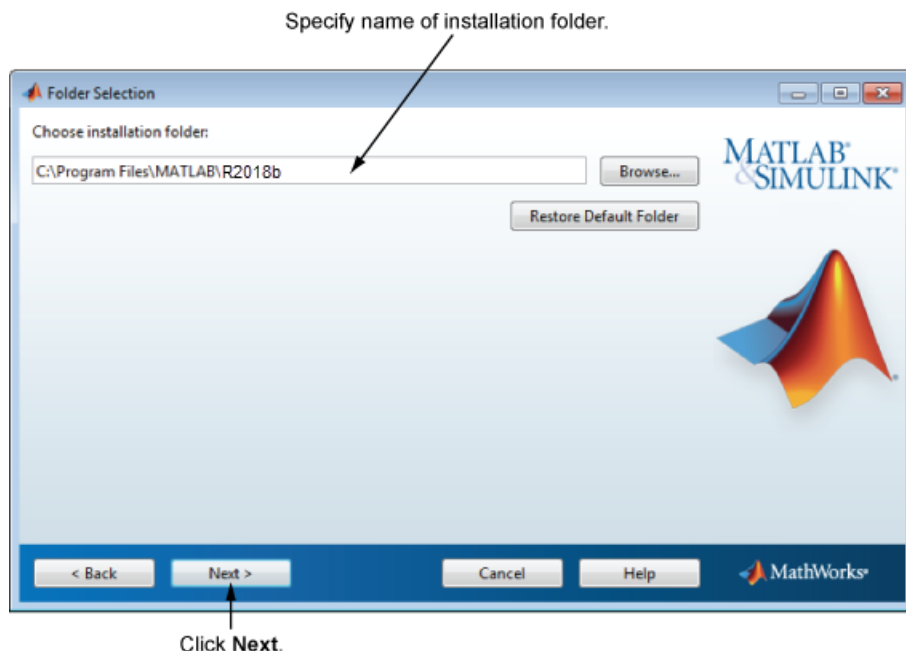
[ライセンスに対するファイル インストール キーを保有しています] オプションをオンにし、ファイル インストール キーを入力して、[次へ] をクリックします。



手順 6: インストール フォルダの指定

ライセンス マネージャーをインストールするフォルダの名前を指定します。既定のインストール フォルダをそのまま使用するか、[参照] をクリックして別のフォルダを選択します。指定したフォルダが存在しない場合は、インストーラーによって作成されます。

選択を行った後、[次へ] をクリックします。



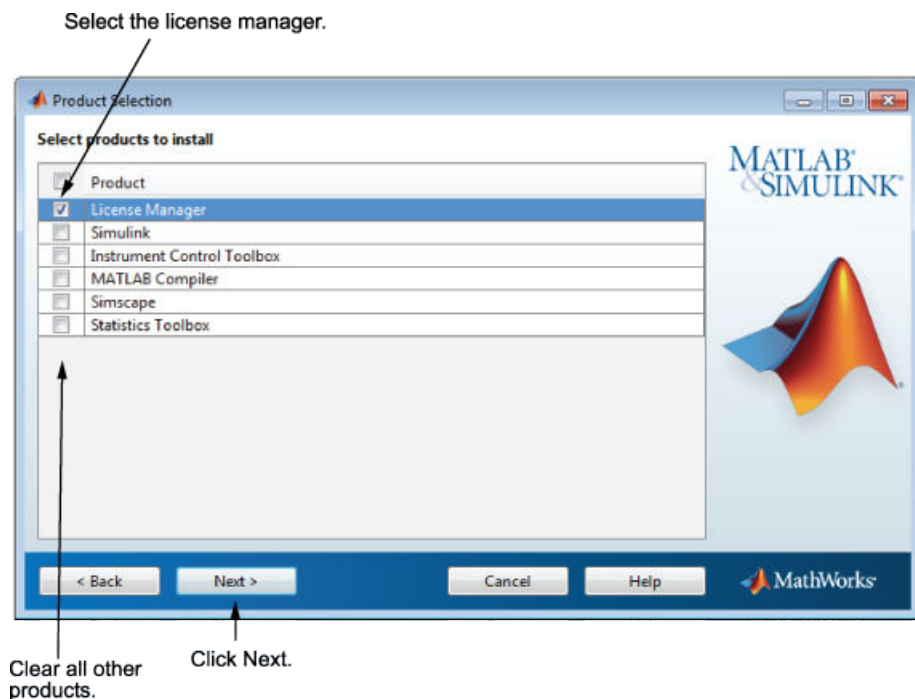
手順 7: インストールに使用するライセンス マネージャーの選択

製品リストでライセンス マネージャーを選択します。既定では、ライセンス マネージャーはインストール用に選択されていません。

サーバーにライセンス マネージャーのみをインストールする場合は、他の製品の横にあるチェック ボックスをクリアします。集中管理サーバー上でユーザーが MathWorks 製品を実行するためのリモート アクセス構成を設定し、かつ、この集中管理サーバーがライセンス サーバーである場合には、インストールする製品を選択する一覧のほかのすべての製品は選択されたままの状態にしておきます。

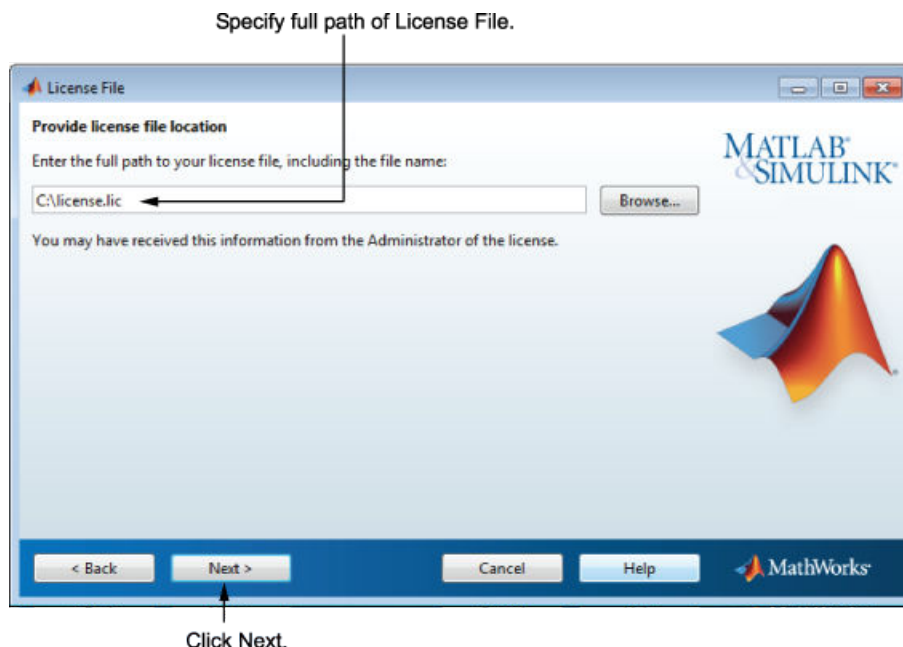
メモ ライセンス マネージャーをインストールする際に、他の MathWorks 製品もインストールする場合、その製品の DVD を用意するか、ローカル コンピューター上に用意しておかなければなりません。製品をコンピューターにダウンロードする方法の詳細については、「インストールを後で行う場合の製品のダウンロード」 (p. 3-16) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション) を参照してください。

選択が完了したら、[次へ] をクリックしてインストールを続行します。[次へ] をクリックした後、選択した製品の 1 つ以上が他の製品に依存しているというメッセージが表示されることがあります。



手順 8: ライセンス ファイルの場所の指定

テキスト ボックスで、MathWorks Web サイトのライセンス センターから取得したライセンス ファイルの絶対パスを入力します。[次へ] をクリックします。



サーバーでのライセンス ファイルの処理

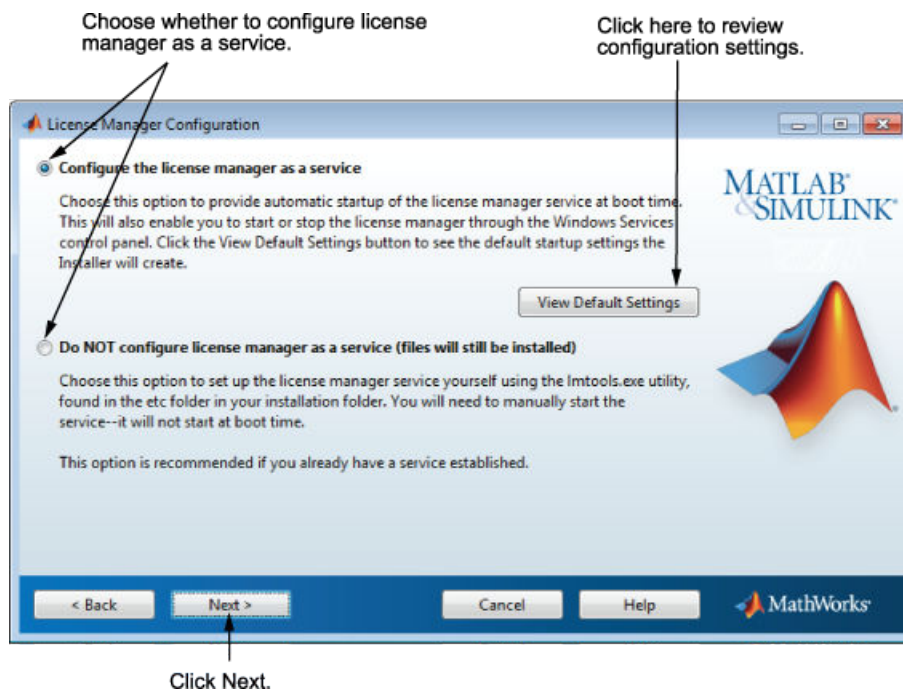
インストーラーでは、このライセンス ファイルについて以下の処理が実行されます。

- ・ ライセンス ファイルのコピーを作成して、license.dat という名前を付け、MATLAB インストール フォルダの \etc フォルダにこのコピーを配置します。
- ・ ファイルに SERVER 行と DAEMON 行を追加します。SERVER 行はサーバー ホストとポート番号を識別します。DAEMON 行はライセンス マネージャー デーモンの名前を識別します。
- ・ 処理したライセンス ファイルは matlabroot/etc に保存します。ここで、matlabroot は MATLAB インストール フォルダです。

手順 9: ライセンス マネージャーの設定: Windows システムのみ

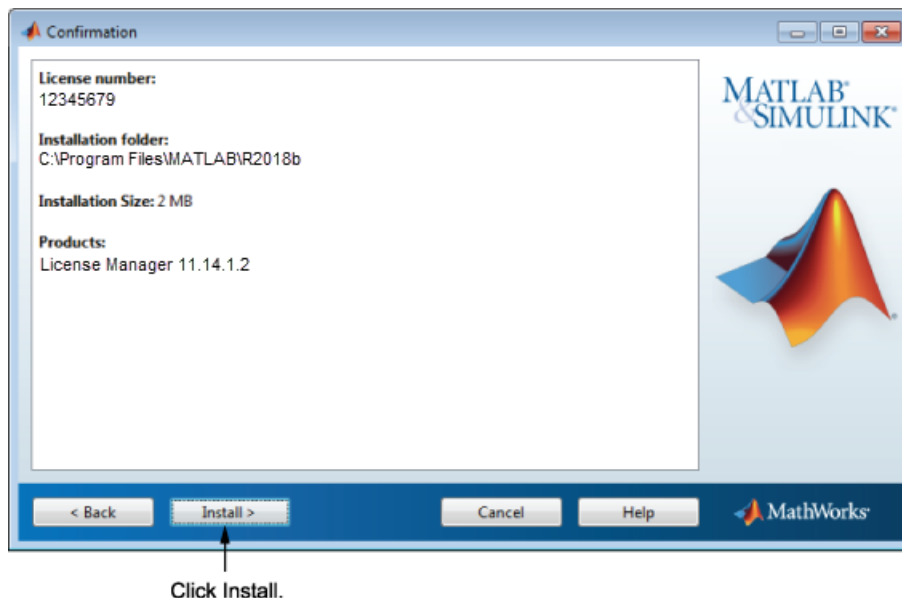
ライセンス マネージャー サービスを設定することにより、システム起動時にライセンス マネージャーが自動的に起動し、Windows の [サービス] コントロール パネルでライセンス マネージャーを集中管理できます。既定のライセンス マネージャー設定を確認するには、[既定の設定の表示] をクリックします。ライセンス マネージャー サービスを設定しないように選択した場合は、後から設定することができます。

メモ 新しいライセンス マネージャーをインストールするまで既存のライセンス マネージャーを継続して使用する場合は、[サービスとしてライセンス マネージャーを設定しない (ファイルはインストールされます)] オプションをオンにします。この場合でも、ライセンス マネージャー ファイルはインストールされます。インストールが完了したら、既存のライセンス マネージャーを停止して、新しいライセンス マネージャーを起動します。



手順 10: 選択内容の確認

ファイルをハード ディスクにコピーする前に、インストーラーにインストール内容の要約が表示されます。設定を変更するには、[戻る] をクリックします。インストールを続行するには、[インストール] をクリックします。



手順 11: インストールの完了

インストールが完了したら、[終了] をクリックしてインストーラーを終了します。

ライセンス マネージャーをサービスとしてインストールする場合は、インストールの完了後にコンピュータを再起動してください。クライアント システムで MATLAB を起動するには、ライセンス マネージャーが実行中でなければなりません。ライセンス マネージャーはサービスなので、システムの起動時に自動的に開始されます。

参考

関連する例

- ・ 「ライセンス マネージャーの起動」 (p. 4-65) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)
- ・ 「クライアント システムへの MathWorks ソフトウェアのインストール」 (p. 4-46) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)

MathWorks アカウントを使用したライセンス マネージャーのインストール

インターネット接続のあるコンピューターにライセンス マネージャーをインストールします。MATLAB ソフトウェアをクライアント システムにインストールする前に、ライセンス マネージャーをインストールして実行していなければなりません。

ライセンス ファイルの運用に関する潜在的な問題を回避するために、MATLAB ソフトウェアをアップグレードする際には常にライセンス マネージャー ソフトウェアのアップグレードを検討してください。

メモ R2013b 以降、ネットワーク ライセンス ファイルには新しいファイル形式が採用されています。そのため、R2013b 以降のリリースでは、R2013b 以降に同梱の最新バージョンのライセンス マネージャーに更新する必要があります。R2013b 以降のリリースにアップグレードしない場合は、MATLAB ソフトウェアの古いライセンス ファイルと以前のバージョンを継続して使用できます。

手順 1: インストールの準備

- ・ ライセンス マネージャーを実行するコンピューターのホスト ID を取得します。
 - ・ Windows システム – ホスト ID は、最初のイーサネット アダプターの MAC アドレス（物理アドレス）または IP アドレスになります。MAC アドレスを取得するには、コマンド プロンプト ウィンドウを開いて、次のコマンドを実行します。

```
getmac
```

リストされている最初の物理アドレスを使用します（例：00-11-22-aa-bb-cc）。

IP アドレスを取得するには、コマンド プロンプト ウィンドウを開いて、次のコマンドを実行します。

```
ipconfig
```

- ・ Linux システム – ホスト ID は eth0 デバイス（最初のイーサネット デバイス）の MAC アドレスになります。ターミナル ウィンドウで、次のコマンドを実行します。

```
/sbin/ifconfig eth0
```

ホスト ID は、タグ “HWaddr” の横にある値です。

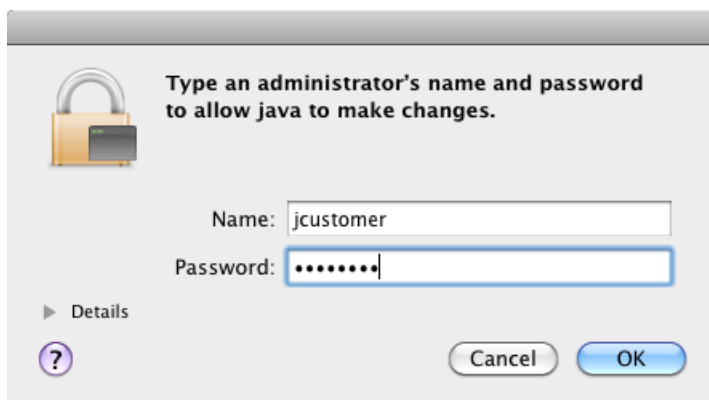
- ・ Mac OS X システム – ホスト ID は、内蔵イーサネット デバイス (en0) の MAC アドレスです。/Applications/Utilities の Terminal を使用して、次のコマンドを実行します。

```
netstat -I en0
```

ホスト ID は、出力の最初の行の [Address] 列にリストされます。

- ・ ライセンスのアクティベーションを行います。以前にライセンスのアクティベーションを行っている場合は、ライセンス ファイルを取得します。
 - 1 MathWorks Web サイトのライセンス センターにアクセスします。
 - 2 アクティベーションを行うライセンスを選択します。
 - 3 [Activation and Installation (アクティベーションとインストール)] タブを選択し、[Activate (アクティベーション)] をクリックします。
 - 4 ライセンス マネージャーを実行するコンピューターのオペレーティング システムの種類とホスト ID を指定します。オプションで、アクティベーションに説明ラベルを割り当てることもできます。[Continue (続行)] をクリックします。
 - 5 ライセンス ファイルをダウンロードするか、または電子メールで受信するかを選択します。[Continue (続行)] をクリックします。
 - ・ ライセンス マネージャーを実行中の場合は終了します。詳細については、「ライセンス マネージャーの起動」 (p. 4-65) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション) を参照してください。
 - ・ 電子メール アドレスと MathWorks アカountのパスワードをお手元にご用意ください。これらは、インストール中にユーザー アカountにログインするために必要になります。ユーザー アカountに複数のライセンスが関連付けられている場合は、インストールするライセンス番号を確認しておきます。
- MathWorks アカountを保有していない場合は、インストール中にアカountを作成できます。ただし、“アクティベーション キー” が必要です。アクティベーション キーとは、ライセンスを識別する固有のコードのことです。ライセンスのアクティベーションに使用します。また、アクティベーション キーを使用することで、ライセンスを付与されたエンド ユーザーは各自の MathWorks アカountにライセンスを関連付けることができます。アクティベーション キーは、ライセンス管理者から入手できます。
- ・ インストーラーを実行するための適切な権限があることを確認してください。権限に関する質問は、システム管理者にお問い合わせください。
 - ・ Windows システム – 使用しているコンピューターの管理者アカountの名前とパスワードを取得します。

- ・ Linux システム – ルート パスワードを取得します。MATLAB ソフトウェアはスーパーユーザー権限がなくてもインストールできますが、特定のインストール オプションが制限されます。たとえば、matlab コマンドへのシンボリック リンクの設定、保護されているフォルダーへの製品ファイルのインストール、またはシステム起動スクリプトの編集を行うには、スーパーユーザーのステータスを保有していなければなりません。
- ・ Mac OS X システム – 使用しているコンピューターの管理者アカウントの名前とパスワードを取得します。管理者アカウントは Mac OS X システムの構成時に設定されたユーザー アカウントであり、MathWorks アカウントではありません。インストール中に、この名前とパスワードを [Authenticate] ダイアログ ボックスに入力しなければなりません。



- ・ インストール プロセス中は、システムのウイルス対策ソフトウェアとインターネット セキュリティ アプリケーションを無効にしてください。これらのアプリケーションによって、インストールの処理が遅くなったり、反応がなくなったように見えたりすることがあります。

ライセンス マネージャーは、各環境で 1 回のみインストールします。MathWorks ソフトウェアをクライアントにインストールする方法の詳細については、「クライアント システムへの MathWorks ソフトウェアのインストール」 (p. 4-46) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション) を参照してください。

手順 2: インストーラーの起動

- 1 MathWorks Web サイトからインストーラーをダウンロードするか、お持ちの MATLAB DVD を用意します。

Web サイトでインストーラーを選択すると、製品ファイルではなく、選択したプラットフォームでインストーラーを実行するために必要なファイルが渡されます。インストーラーを実行して、ログインしているコンピューターにインストールする製品を選択します。必要に応じて、インストーラーが製品を MathWorks からダウンロードします。

- 2 インストーラーを起動します。インストーラーの起動方法は、プラットフォームによって異なります。また、MathWorks Web サイトからインストーラーをダウンロードするのか、DVD を使用するのかによっても異なります。

- ・ Windows

- ・ ダウンロードしたインストーラー ファイル – MathWorks Web サイトでインストーラーを選択して [実行] をクリックすると、インストーラーが自動的に起動します。インストーラーを保存した場合は、保存先のフォルダーにある自己解凍形式のインストーラー ファイルをダブルクリックします。自己解凍形式のインストーラー ファイルの名前は matlab_release_\$ARCH です。release はインストールするリリース (R2018b など) を、\$ARCH は選択したアーキテクチャを示します。

解凍の完了後に、インストーラーが自動的に起動します。

後でインストーラーを再起動するには、setup.exe をクリックします。このファイルは、ファイルを解凍したフォルダーの最上位にあります。

- ・ DVD によるインストール – システムに接続されている DVD ドライブに DVD 1 を挿入します。通常、インストーラーが自動的に起動します。2 枚目のディスクを挿入するよう求められたら、DVD 2 を挿入します。
- ・ Mac OS X
 - ・ ダウンロードしたインストーラー ファイル – MathWorks Web サイトからダウンロードした dmg ファイルをダブルクリックします。InstallForMacOSX.app をダブルクリックします。
 - ・ DVD によるインストール – システムに接続されている DVD ドライブに DVD 1 を挿入します。DVD アイコンがデスクトップに表示されたら、そのアイコンをダブルクリックして DVD の内容を表示し、InstallForMacOSX アイコンをダブルクリックしてインストールを開始します。



2 枚目のディスクを挿入するよう求められたら、DVD 2 を挿入します。

- Linux

- ダウンロードしたインストーラー ファイル - unzip コマンドを使用して、MathWorks Web サイトからダウンロードしたアーカイブ ファイルからファイルを解凍します。ファイルの解凍後、次のインストーラー コマンドを実行します。

```
./install
```

DVD によるインストール - システムに接続されている DVD ドライブに DVD 1 を挿入し、次のコマンドを実行します。

```
/path_to_dvd/install &
```

メモ DVD ルート内からインストールを実行しないでください。インストールは DVD ルートの外にあるディレクトリから開始します。

システムの構成によっては、最初に DVD をマウントしなければならないことがあります。次の例のように、必ず実行権限を指定してマウントしてください。DVD ドライブの名前は、お使いのシステムでは異なっている場合があります。

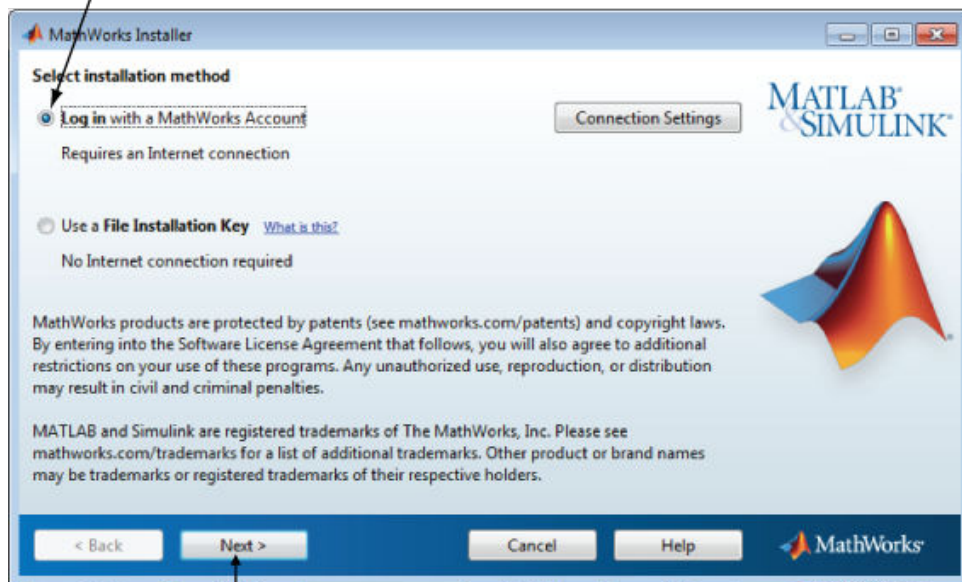
```
mount -o exec /media/cdrom0
```

2 枚目のディスクを挿入するよう求められたら、DVD 2 を挿入します。

手順 3: [MathWorks アカウントでログインする] の選択

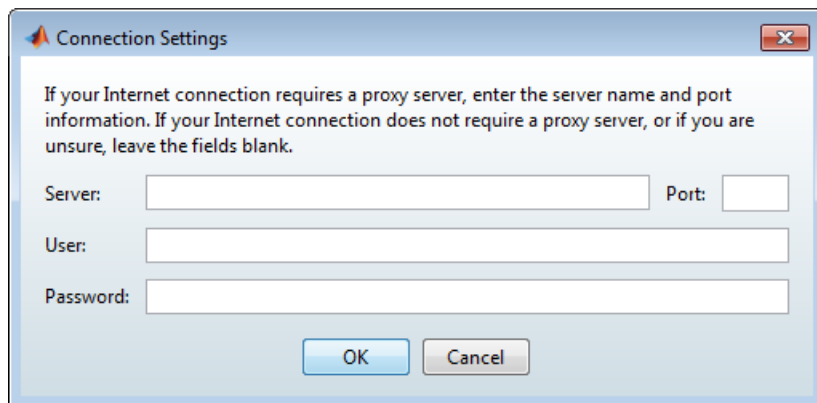
[MathWorks アカウントでログインする] オプションをオン (既定) にしておき、[次へ] をクリックします。インストール中に MathWorks アカウントにログインし、インストールするライセンスを選択してインストーラーの指示に従います。

Select this option to install products using an Internet connection.



Click Next.

インターネット接続にプロキシ サーバーを必要とする場合は、[接続設定] をクリックします。[接続設定] ページに、サーバー名、ポートおよびパスワードを入力します。MathWorks は基本認証とダイジェスト認証のプロキシ設定をサポートしています。



メモ Windows システムでは、インストーラーは、既定でシステムのプロキシ設定を使用します。プロキシ サーバーがログインを要求する場合、インストーラーはログイン情報の入力を指示するプロンプトを表示します。

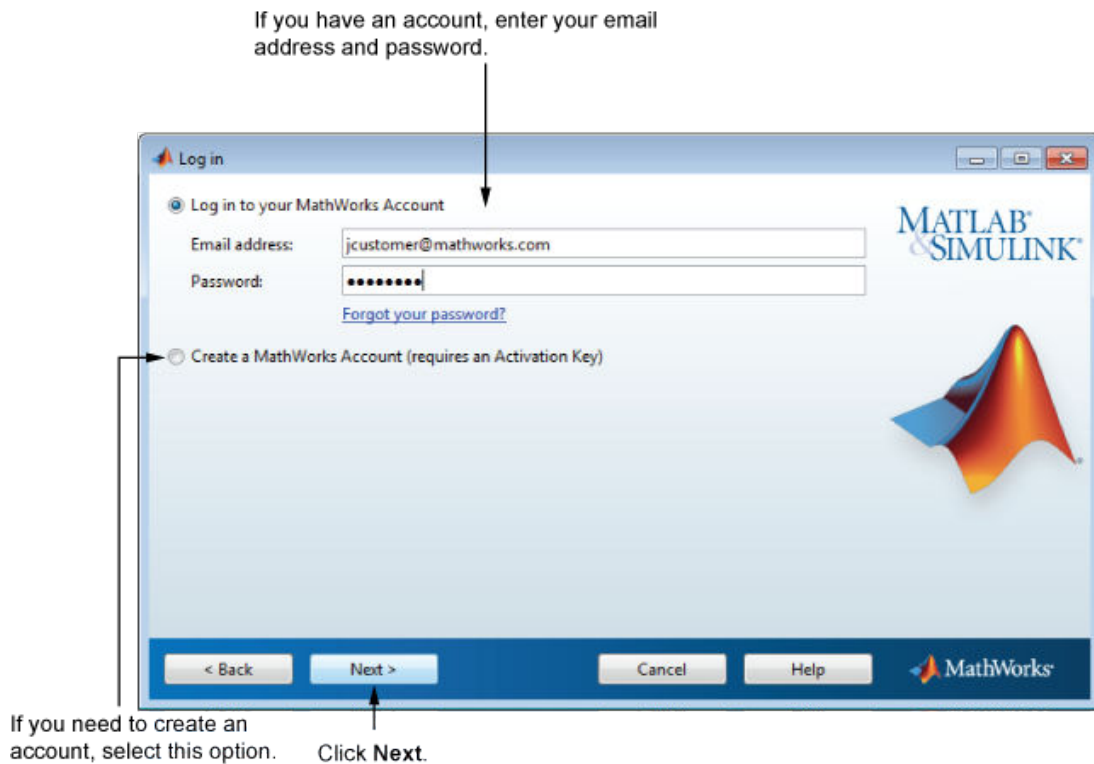
手順 4: ソフトウェア ライセンス許諾書の確認

ソフトウェア ライセンス許諾書を確認し、条件に同意する場合は [はい] を選択して [次へ] をクリックします。

手順 5: MathWorks アカウントへのログイン

MathWorks アカウントにログインするには、電子メール アドレスとパスワードを入力して、[次へ] をクリックします。インストーラーにより MathWorks へのアクセスが行われ、アカウントに関連付けられたライセンスに関する情報が取得されます。アカウントで 2 段階認証を有効にしている場合、認証コードが主な方法に送信されます。

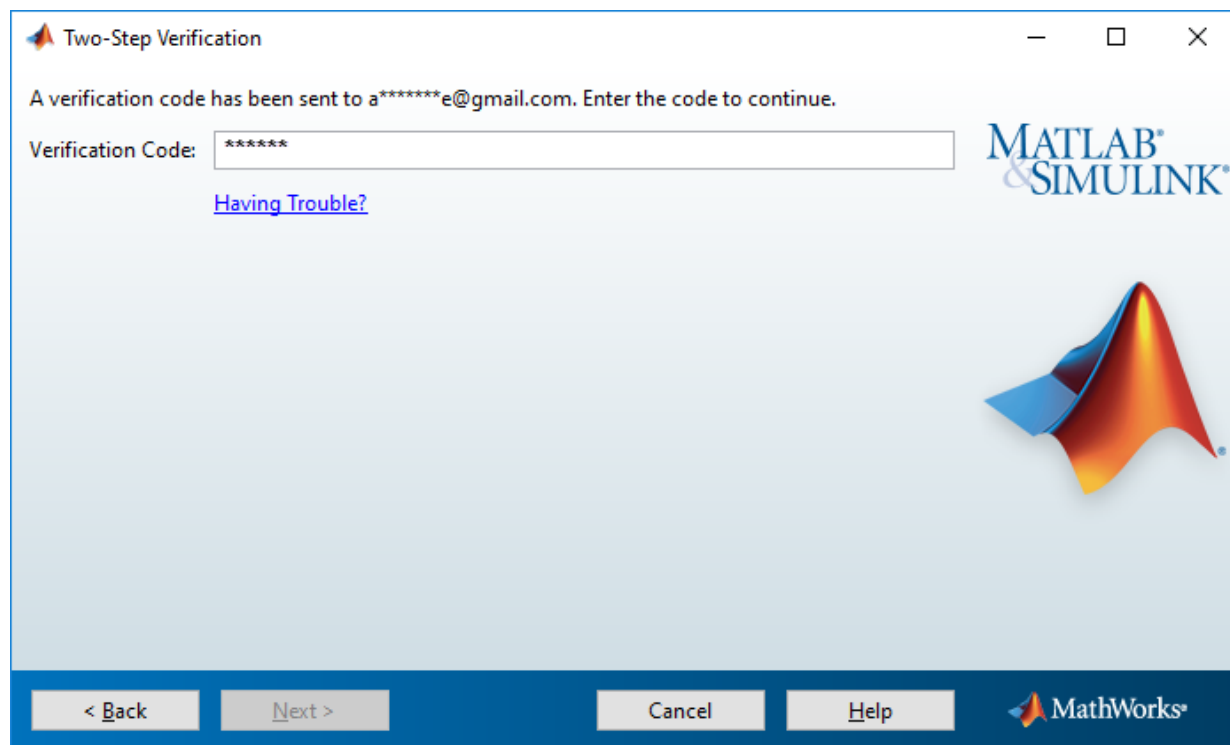
MathWorks アカウントを保有していない場合は、[MathWorks アカウントを作成する (アクティベーション キーが必要)] オプションをオンにして [次へ] をクリックします。アカウントの作成に必要なデータの入力を指示するプロンプトが表示されます。



手順 6: 2 段階認証コードの入力

MathWorks アカウントで 2 段階認証を有効にしている場合、MathWorks アカウントのサインイン時に、主な方法に送信された認証コードを入力するよう求めるメッセージが表示されます。2 段階認証を有効にしていない場合は、次のステップに直接進むことができます。

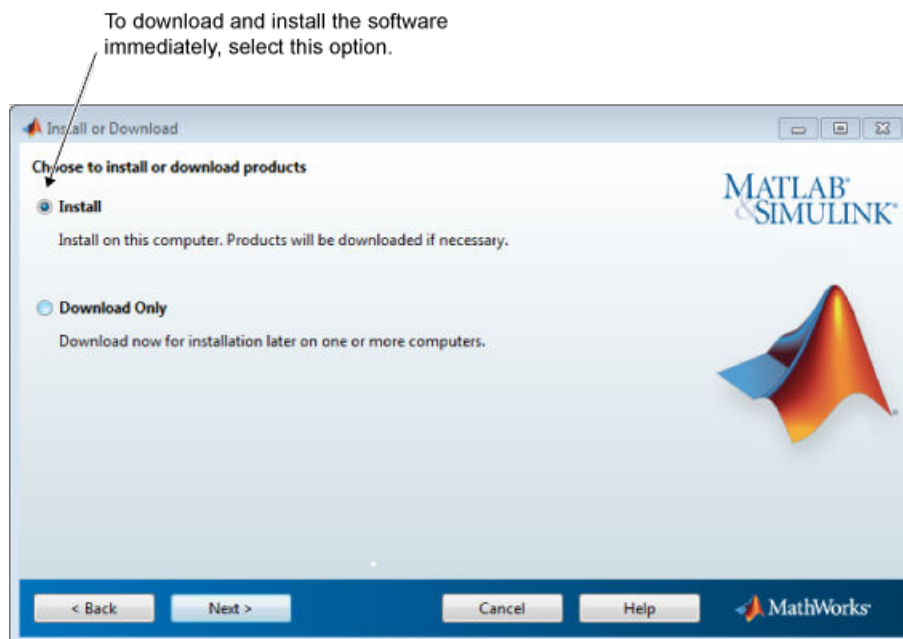
主な方法に送信された認証コードを入力します。



[次へ] をクリックしてインストールを実行します。

手順 7: インストール オプションの選択

[インストール] オプションをオン（既定）にしており、[次へ] をクリックします。



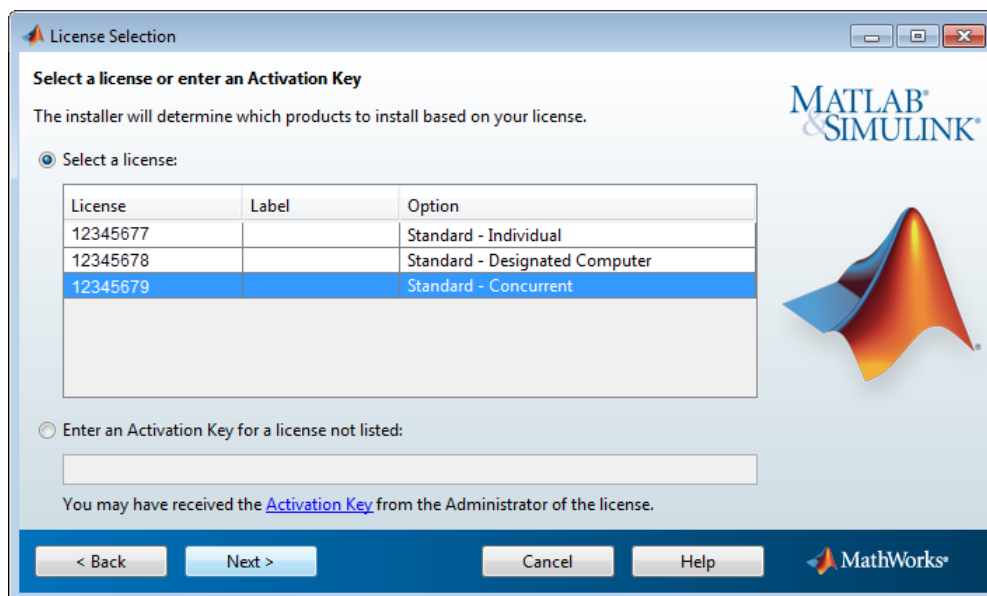
手順 8: インストールするライセンスの選択

MathWorks アカウントに関連付けられたライセンスのリストから、いずれかのネットワークライセンス オプションを持つライセンスを選択して [次へ] をクリックします。この一覧には、ライセンスに関する以下の情報が含まれています。

- ・ ライセンス番号。
- ・ ライセンスの識別に役立つ説明テキスト ラベル (オプション)。
- ・ ライセンス オプションを識別する情報。サーバー インストールの場合は、ネットワークライセンス オプションが指定されたライセンスを選択します。

自分の MathWorks アカウントに関連付けられていないライセンスの製品をインストールする場合は、[リストされていないライセンスのアクティベーション キーを入力] オプションをオンにし、アクティベーション キーを入力して、[次へ] をクリックします。“アクティベーション キー” とは、ライセンスを識別する固有のコードのことです。

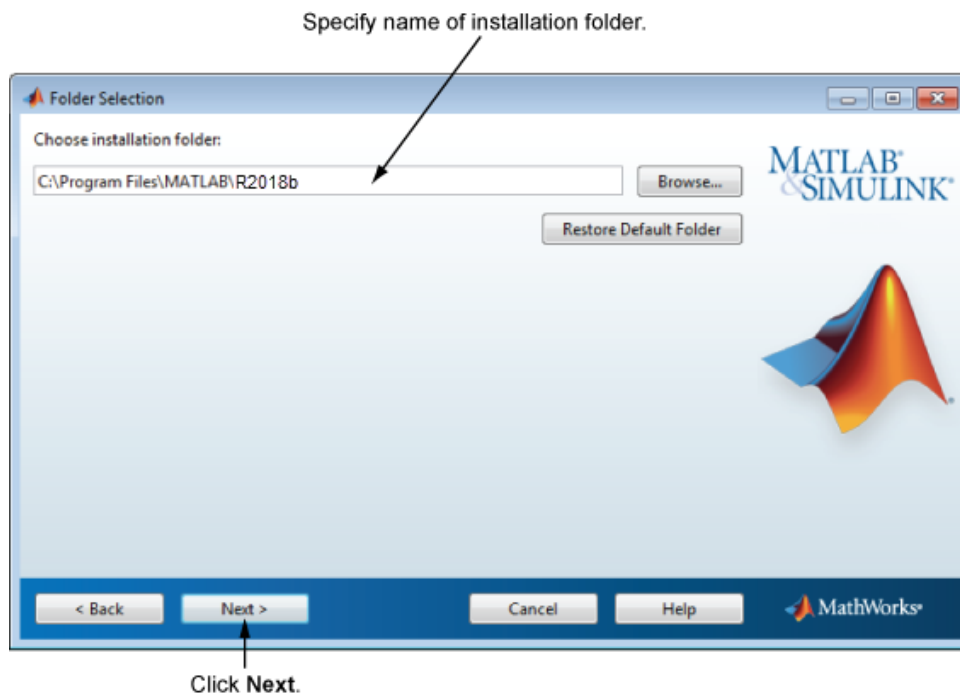
メモ アクティベーション キーのダッシュやスペースの入力は任意です。



手順 9: インストール フォルダの指定

MathWorks 製品をインストールするフォルダの名前を指定します。既定のインストールフォルダをそのまま使用するか、[参照] をクリックして別のフォルダを選択します。指定したフォルダが存在しない場合は、インストーラーによって作成されます。

フォルダ名を指定するときは、任意の英数字に加えて、アンダースコアなどの一部の特殊文字を使用できます。フォルダ名の入力を誤った場合にやり直すには、[既定のフォルダに戻す] をクリックします。選択を行った後、[次へ] をクリックします。

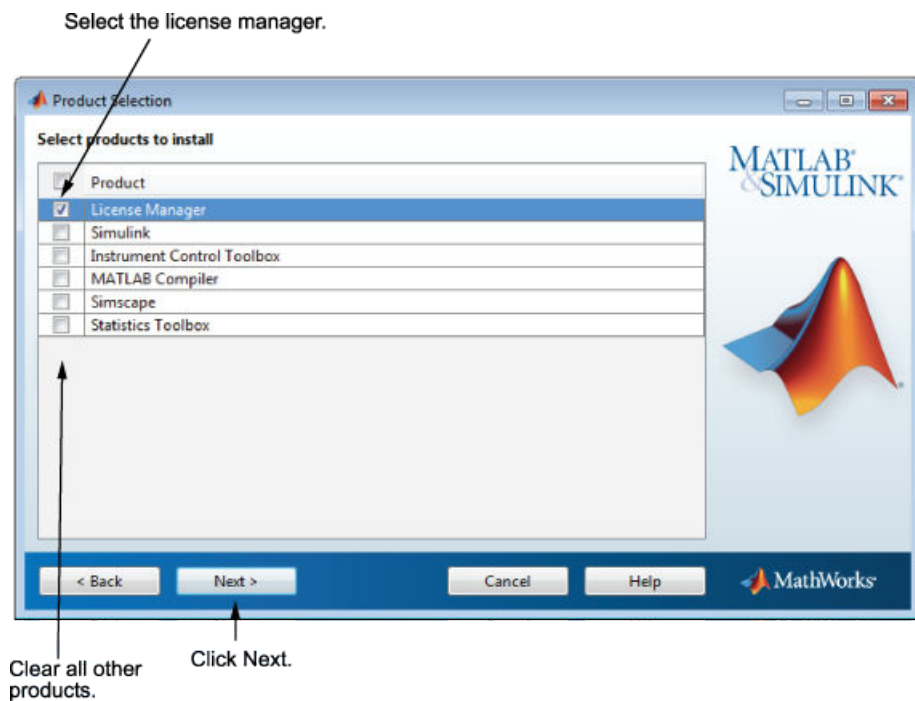


手順 10: インストールに使用するライセンス マネージャーの選択

製品リストでライセンス マネージャーを選択します。既定では、ライセンス マネージャーはインストール用に選択されていません。

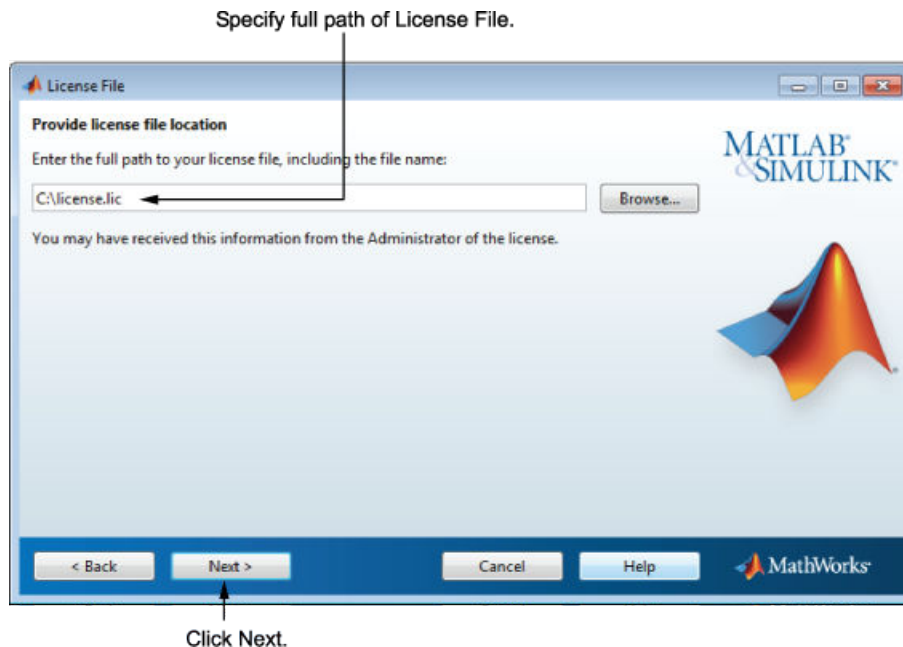
サーバーにライセンス マネージャーのみをインストールする場合は、他の製品の横にあるチェック ボックスをクリアします。集中管理サーバー上でユーザーが MathWorks 製品を実行するためのリモート アクセス構成を設定し、かつ、この集中管理サーバーがライセンス サーバーである場合には、インストールする製品を選択する一覧のほかのすべての製品は選択されたままの状態にしておきます。

選択が完了したら、[次へ] をクリックしてインストールを続行します。[次へ] をクリックした後、選択した製品の 1 つ以上が他の製品に依存しているというメッセージが表示されることがあります。



手順 11: ライセンス ファイルの場所の指定

テキスト ボックスで、MathWorks Web サイトのライセンス センターから取得したライセンス ファイルの絶対パスを入力します。[次へ] をクリックします。



サーバーでのライセンス ファイルの処理

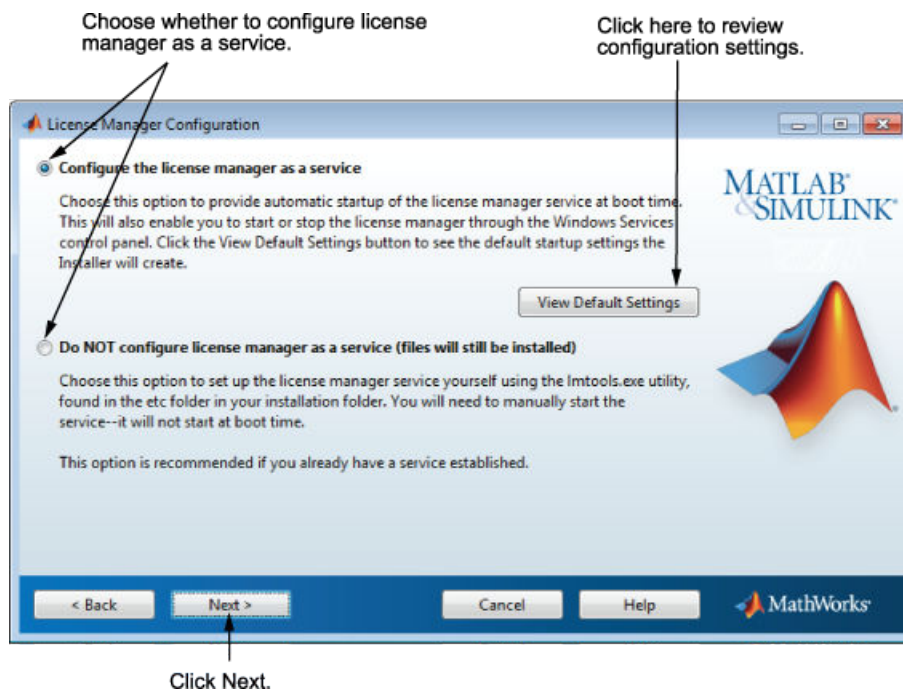
ライセンス マネージャーをインストールする際に、インストーラーはこのライセンス ファイルを次のように処理します。

- ・ ライセンス ファイルのコピーを作成して、license.dat という名前を付け、MATLAB インストール フォルダの \etc フォルダにこのコピーを配置します。
- ・ ファイルに SERVER 行と DAEMON 行を追加します。SERVER 行はサーバー（ホストとポート番号）を識別します。DAEMON 行はライセンス マネージャー デーモンの名前を識別します。

手順 12: ライセンス マネージャーの設定: Windows システムのみ

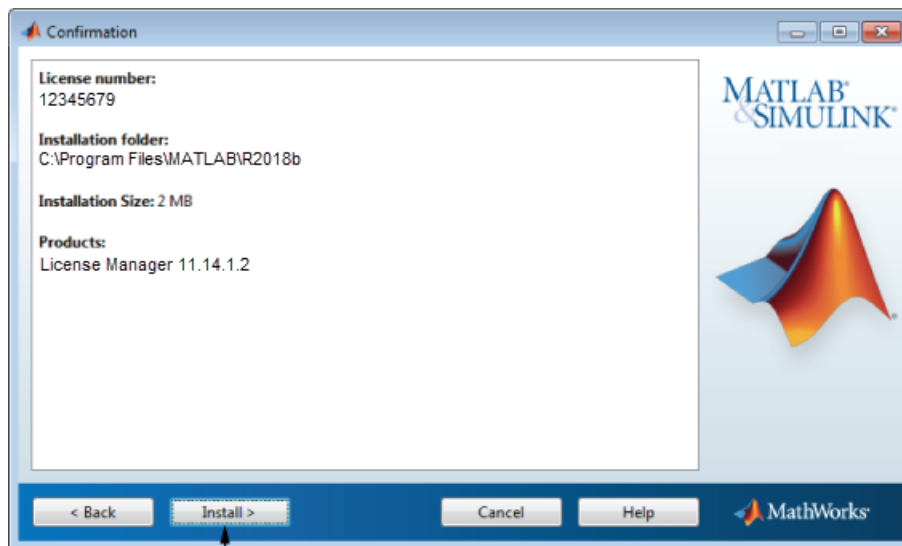
ライセンス マネージャー サービスを設定することにより、システム起動時にライセンス マネージャーが自動的に起動し、Windows の [サービス] コントロール パネルでライセンス マネージャーを集中管理できます。既定のライセンス マネージャー設定を確認するには、[既定の設定の表示] をクリックします。ライセンス マネージャー サービスを設定しないように選択した場合は、後から設定することができます。

メモ 新しいライセンス マネージャーをインストールするまで既存のライセンス マネージャーを継続して使用する場合は、[サービスとしてライセンス マネージャーを設定しない (ファイルはインストールされます)] オプションをオンにします。この場合でも、ライセンス マネージャー ファイルはインストールされます。インストールが完了したら、既存のライセンス マネージャーを停止して、新しいライセンス マネージャーを起動します。



手順 13: 選択内容の確認

ファイルをハード ディスクにコピーする前に、インストーラーにインストール内容の要約が表示されます。設定を変更するには、[戻る] をクリックします。インストールを続行するには、[インストール] をクリックします。



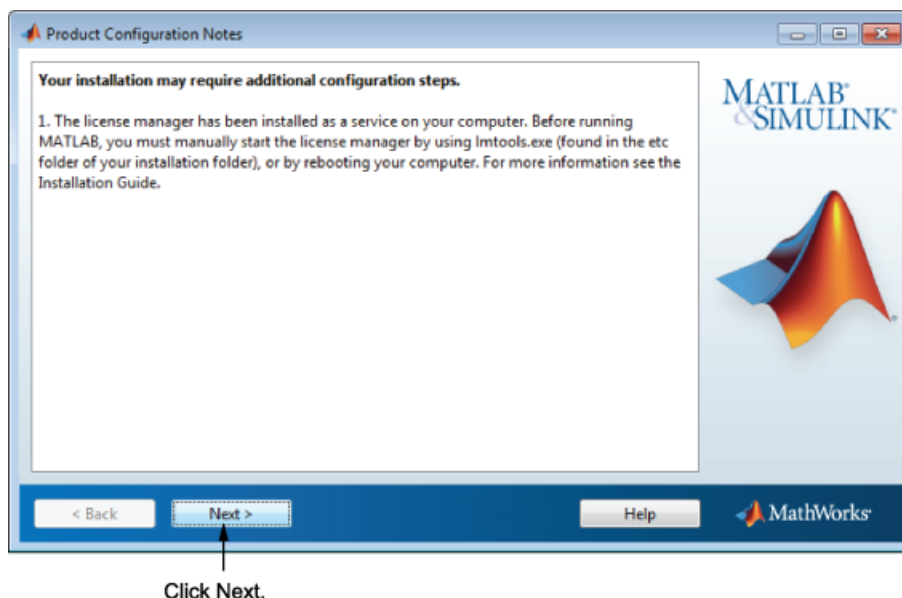
Click Install.

ファイルをハード ドライブにコピーしている間は、インストールの進捗状況を示すダイアログ ボックスが表示されます。

製品の設定に関するメモの確認

インストーラーに、サーバーでライセンス マネージャーを起動する方法の情報が表示されます。他の製品をインストールした場合は、この他の製品設定や製品更新に関する情報が表示されることもあります。

[次へ] をクリックしてインストールを続行します。



手順 14: インストールの完了

インストールが完了したら、[終了] をクリックしてインストーラーを終了します。

ライセンス マネージャーをサービスとしてインストールする場合は、インストールの完了後にコンピュータを再起動してください。クライアント システムで MATLAB を起動するには、ライセンス マネージャーが実行中でなければなりません。ライセンス マネージャーはサービスなので、システムの起動時に自動的に開始されます。

参考

関連する例

- ・ 「ライセンス マネージャーの起動」 (p. 4-65) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)
- ・ 「クライアント システムへの MathWorks ソフトウェアのインストール」 (p. 4-46) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)

ライセンス マネージャー ソフトウェアの更新

手順 1: ライセンス マネージャーの停止

メモ ライセンス マネージャー ソフトウェアを更新するには、ライセンス マネージャーを停止してから再起動する必要があります。この手順を実行するのはネットワーク ライセンス管理者でなければなりません。

1 ライセンス マネージャーを実行中の場合は終了します。

- ・ Linux および Mac OS X - `lmdown` コマンドを使用します。詳細については、「ライセンス マネージャーのコマンド ライン ユーティリティの使用」(p. 4-68) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)を参照してください。
- ・ Windows - 競合を回避するために既存のサービスを削除します。
 - a `matlabroot\etc\ARCH` フォルダーにある `lmttools.exe` ファイルをダブルクリックして、`LMTTOOLS` を起動します。ここで、`matlabroot` は MATLAB インストール フォルダー、`ARCH` は `win64` などのプラットフォーム固有のサブフォルダーです。
 - b [Config Services] タブを選択します。
 - c [サービス名] メニューから、削除するサービスを選択して [Remove Service] をクリックします。

ライセンス マネージャー サービスを停止したら、更新のインストールを、デーモンをダウンロードして行う (手順 2a) か、インストーラーを使って行う (手順 2b) かを決定します。

手順 2a: デーモンをダウンロードして行うライセンス マネージャー ソフトウェアの更新

ライセンス マネージャーが既にインストールされ、設定されている場合は、MathWorks インストーラーを使用する代わりにサーバーに直接新しいライセンス マネージャー デーモンをダウンロードして、ソフトウェアの最新バージョンをインストールできます。ライセンス マネージャー デーモンには、次のものが含まれます。

- ・ `lmgrd` - ライセンス マネージャー デーモン。
- ・ `MLM` - MathWorks ベンダー デーモン。

- 1 ライセンス マネージャーを停止します 「手順 1: ライセンス マネージャーの停止」 (p. 4-42) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)を参照してください。
- 2 MathWorks Web サイトの License Manager Download から、使用しているプラットフォーム用の zip ファイルをダウンロードします。
- 3 ファイルを zip ファイルからライセンス マネージャー フォルダに解凍します。ライセンス マネージャー ファイルの既定の場所は、matlabroot\etc\ARCH フォルダです。matlabroot は MATLAB インストール フォルダ、ARCH はプラットフォーム固有のサブフォルダを示します。
- 4 ライセンス マネージャーを再起動し、必要に応じて設定を行います。

手順 2b: MATLAB インストーラーを使ったライセンス マネージャーソフトウェアの更新

- 1 ライセンス マネージャーを停止します 「手順 1: ライセンス マネージャーの停止」 (p. 4-42) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)を参照してください。
- 2 ライセンス マネージャーのソフトウェア更新をインストールします。
 - ・ インターネット接続を使用 - 「MathWorks アカウントを使用したライセンス マネージャーのインストール」 (p. 4-25) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)を参照してください。
 - ・ インターネット接続を使用しない - 「ファイル インストール キーを使用したライセンス マネージャーのインストール」 (p. 4-13) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)を参照してください。

参考

関連する例

- ・ 「ライセンス マネージャーの起動」 (p. 4-65) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)
- ・ 「ライセンス マネージャーの管理」 (p. 4-67) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)

クライアントへの製品とライセンス情報の提供

MathWorks ソフトウェアは、エンド ユーザーに自分でインストールさせることも、他のスタッフにインストールさせることもできます。インストーラーは、インストール実行者が自分でダウンロードして実行することも、先にダウンロードしておいて、インストール実行者がアクセスできる場所に格納することもできます。

このワークフローでは、以下のインストール アーティファクトをインストール実行者に提供してください。

- ・ **ライセンス ファイル** - サーバーでのライセンス マネージャーのインストール時に処理したライセンス ファイルのコピーをユーザーに提供します。ライセンス ファイルには、使用しているライセンス サーバーについて正しい SERVER 行が記載されていなければなりません。このライセンス ファイルの詳細については、「サーバーでのライセンス ファイルの処理」 (p. 4-38) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション) を参照してください。

メモ クライアントへのインストールを行うユーザーには、ライセンス電子メールから作成したオリジナルのライセンス ファイルのコピーは提供しないでください。この形式のライセンス情報は、正しい SERVER 行を含んでいないため、使用できません。また、MathWorks から受信したライセンス電子メールをユーザーに転送することも避けてください。

- ・ **製品ファイルへのアクセス** - クライアントへのインストールを行うユーザーが製品ファイルを利用できるようにする方法がいくつかあります。MathWorks 製品の DVD をユーザーと共有することができます。また、製品ファイルをダウンロードして、どのクライアントでもアクセスできるサーバーに用意しておくこともできます。これらの場合、ユーザーが製品をインストールするには、ファイル インストール キーが必要となります。

クライアントへのインストールを行うユーザーが MathWorks アカウントを保有している場合は、そのユーザーにライセンスのアクティベーション キーを提供することができます。これにより、ユーザーがインストールの際にそのアカウントにログインし、MathWorks 製品をインストールできます。

- ・ **インストール手順** - 「ネットワーク インストールの計画」 (p. 4-6) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション) の表を参照し、インストールを実行する人に適切な手順を提供します。ターゲット マシンにインターネット接続があるか否かで手順が少し異なります。

クライアントへのインストールを何度も行う場合は、インストーラー初期化ファイルを作成して、インストーラーを非対話モードで実行することができます。「非対話モードのイ

ンストール（サイレント インストール）」（p. 4-73）（インストール、ライセンスおよびアクティベーション）を参照してください。

参考

関連する例

- ・ 「ネットワーク インストールの計画」（p. 4-6）（インストール、ライセンスおよびアクティベーション）

クライアント システムへの MathWorks ソフトウェアのインストール

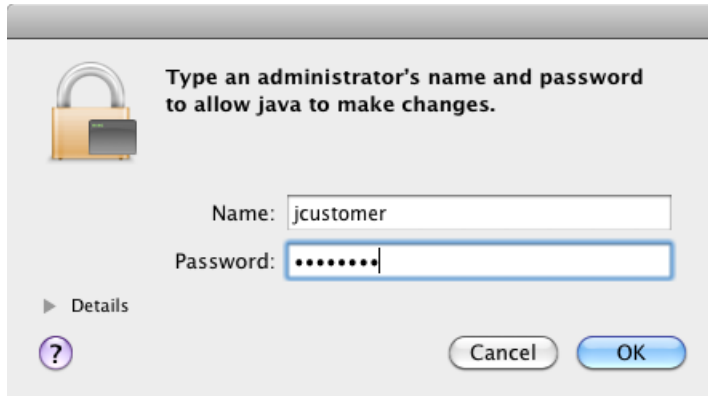
MathWorks ソフトウェアをインストールする前に、以下が必要になります。

- ・ 製品へのアクセス：
 - ・ 製品が共有の DVD またはサーバー上にある場合、ライセンス管理者からファイル インストール キーを入手します。
 - ・ ファイル インストール キーを使用してインストールを行う場合は、MATLAB インストーラーを含む製品ファイルが、コンピューターの既定のダウンロード フォルダー、ネットワーク共有フォルダーまたは DVD などのアクセス可能な場所にあることを確認します。製品ファイルがコンピューターの既定のダウンロード フォルダー以外の場合には、インストーラー ファイルは製品ファイルと同じフォルダー内に存在しなければなりません。
 - ・ MathWorks アカウントを使用して製品をインストールする必要がある場合、電子メール アドレスと MathWorks アカウントのパスワードを必ず用意しておきます。これらは、インストール中にユーザー アカウントにログインするために必要になります。

必要に応じて、アクティベーション キーを取得します。MathWorks アカウントを保有していない場合、インストール中にアカウントを作成するためにアクティベーション キーが必要です。アクティベーション キーとは、ライセンスを識別する固有のコードのことです。また、アクティベーション キーを使用することで、ライセンスを付与されたエンド ユーザーは各自の MathWorks アカウントにライセンスを関連付けることができます。

- ・ クライアントのライセンス ファイル。ライセンス ファイルには、使用するライセンスサーバーについて正しい SERVER 行が記載されていなければなりません。
- ・ ソフトウェアのインストールに適した権限。権限に関する質問は、システム管理者にお問い合わせください。
- ・ Windows システム – 使用しているコンピューターの管理者アカウントの名前とパスワードを取得します。インストーラーによってインストール中にシステム レジストリが変更されます。
- ・ Linux システム – ルート パスワードを取得します。MATLAB ソフトウェアはスーパーユーザー権限がなくてもインストールできますが、特定のインストール オプションが制限されます。たとえば、matlab コマンドへのシンボリック リンクの設定、保護されているフォルダーへの製品ファイルのインストール、またはシステム起動スクリプトの編集を行うには、スーパーユーザーのステータスを保有していなければなりません。

- ・ Mac OS X システム – 使用しているコンピューターの管理者アカウントの名前とパスワードを取得します。管理者アカウントは Mac OS X システムの構成時に設定されたユーザー アカウントであり、MathWorks アカウントではありません。インストール中に、この名前とパスワードを [Authenticate] ダイアログ ボックスに入力しなければなりません。



- ・ ウイルス対策ソフトウェアとインターネット セキュリティ アプリケーションを無効にするかどうかの選択。これらのアプリケーションによって、インストールの処理が遅くなったり、反応がなくなったように見えたりすることがあります。

ターゲット マシンが、System Requirements for MATLAB を満たしていることを確認してください。

既存のインストールをアップグレードする場合 MATLAB を最新リリースにアップグレードする場合は、新しいインストール フォルダーに新しいバージョンをインストールすることをお勧めします。インストールされたプレリリース バージョンのソフトウェアをアップグレードする場合も、新しいインストール フォルダーにインストールしてください。新しいリリースをインストールする前に既存の MATLAB を削除する必要はありません。同一システム上で MATLAB の複数のバージョンを実行することができます。

手順 1: インストーラーの起動

メモ 共有場所から製品にアクセスし、ファイル インストール キーを使用する場合、製品ファイルを含むフォルダーには、使用しているプラットフォーム向けのインストーラー ファイルがルートに含まれ、またアーカイブ サブフォルダーが含まれていることを確認します。イ

ンストーラー ファイルは、Windows では setup.exe、Linux では install、Mac OS X では InstallForMacOSX です。アーカイブ サブフォルダー内のファイル数が 3 つ未満である場合は、必要なファイルが欠落している可能性があります。「インストールを後で行う場合の製品のダウンロード」 (p. 3-16) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション) の手順を使用してファイルを再度ダウンロードするように、管理者に依頼してください。

- 1 インストーラーを起動します。インストーラーの起動方法は、プラットフォームによって異なります。また、ライセンス管理者が MathWorks Web サイトからダウンロードしたインストーラーを使用するのか、あるいは DVD を使用するのかによっても異なります。

- ・ Windows

- ・ ダウンロード済みの製品ファイル - ユーザーまたは管理者が以前に製品ファイルをダウンロードし、製品ファイルをコンピューター、ネットワーク共有フォルダー、またはメディアにコピーした場合は、製品ファイルのあるフォルダーの最上位に移動して setup.exe をクリックします。
- ・ ダウンロードしたインストーラー ファイル - ダウンロードしたファイルのフォルダーで自己解凍形式のインストーラー ファイルをダブルクリックします。解凍の完了後に、インストーラーが自動的に起動します。

後でインストーラーを再起動するには、setup.exe をクリックします。このファイルは、ファイルを解凍したフォルダーの最上位にあります。

- ・ DVD によるインストール - システムに接続されている DVD ドライブに DVD 1 を挿入します。通常、インストーラーが自動的に起動します。2 枚目のディスクを挿入するよう求められたら、DVD 2 を挿入します。
- ・ Mac OS X

- ・ ダウンロード済みの製品ファイル - ユーザーまたは管理者が以前に製品ファイルをダウンロードし、解凍したファイルをコンピューター、ネットワーク共有フォルダー、またはメディアにコピーした場合は、製品ファイルのあるフォルダーの最上位に移動し、InstallForMacOSX アイコンをダブルクリックしてインストールを開始します。
- ・ ダウンロードしたインストーラー ファイル - ダウンロードしたファイルのフォルダーでアーカイブ ファイルをダブルクリックします。ファイルの解凍後、インストーラー フォルダーを開いて InstallForMacOSX.app をダブルクリックします。
- ・ DVD によるインストール - システムに接続されている DVD ドライブに DVD 1 を挿入します。DVD アイコンがデスクトップに表示されたら、そのアイコンをダ

ブルクリックして DVD の内容を表示し、InstallForMacOSX アイコンをダブルクリックしてインストールを開始します。



InstallForMacOSX

2 枚目のディスクを挿入するよう求められたら、DVD 2 を挿入します。

・ Linux

- ・ ダウンロード済みの製品ファイル – ユーザーまたは管理者が以前に製品ファイルをダウンロードして、解凍したファイルをコンピューター、ネットワーク共有フォルダーまたはメディアにコピーしている場合は、製品ファイルが格納されているフォルダーの最上位に移動し、次のインストーラー コマンドを実行します。

```
./install
```

- ・ ダウンロードしたインストーラー ファイル – unzip コマンドを使用して、ダウンロードしたファイルがあるフォルダー内のアーカイブ ファイルからファイルを解凍します。ファイルの解凍後、次のインストーラー コマンドを実行します。

```
./install
```

DVD によるインストール – システムに接続されている DVD ドライブに DVD 1 を挿入し、次のコマンドを実行します。

```
/path_to_dvd/install &
```

メモ DVD ルート内からインストールを実行しないでください。インストールは DVD ルートの外にあるディレクトリから開始します。

システムの構成によっては、最初に DVD をマウントしなければならないことがあります。次の例のように、必ず実行権限を指定してマウントしてください。DVD ドライブの名前は、お使いのシステムでは異なっている場合があります。

```
mount -o exec /media/cdrom0
```

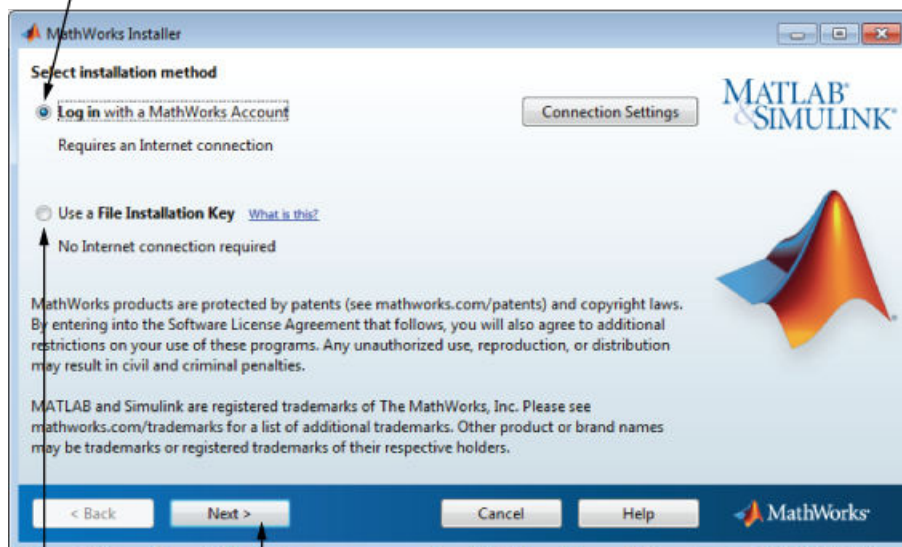
2 枚目のディスクを挿入するよう求められたら、DVD 2 を挿入します。

手順 2: インストール方法の選択

インストールにファイル インストール キーと MathWorks アカウントのどちらを使用するかを選択します。ファイル インストール キーを保有している場合は、[ファイル インストール キーを使用する] をオンにして [次へ] をクリックします。

インターネットへの接続があり、MathWorks アカウントを使用して製品をインストールするよう求められる場合は、[MathWorks アカウントでログインする] をオンにします。このオプションでは、ライセンス管理者からアクティベーション キーを取得しなければならない場合があります。

Select this option to download or install products (recommended).



Select this option if
you do not have an
Internet connection.

Click Next.

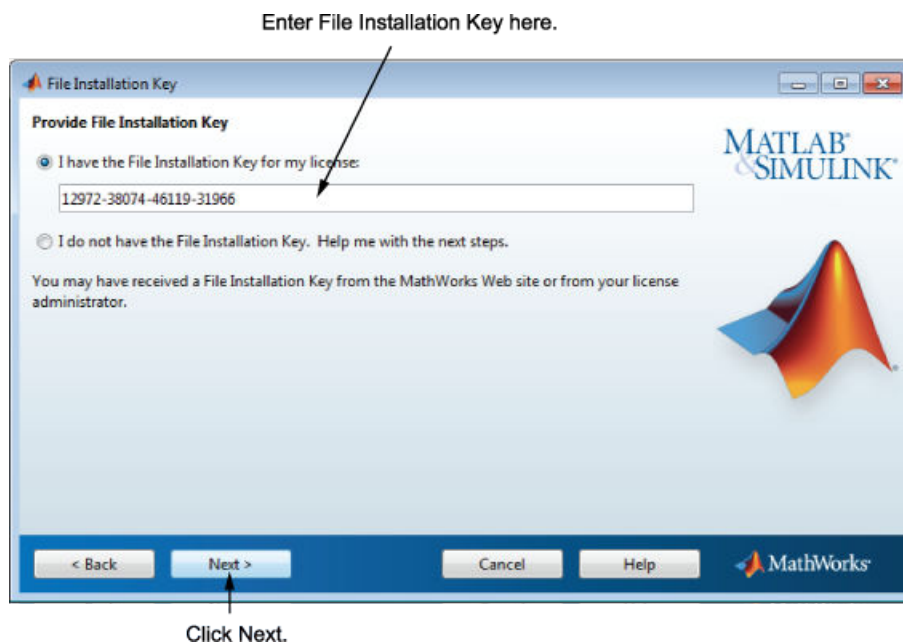
手順 3: ソフトウェア ライセンス許諾書の確認

ソフトウェア ライセンス許諾書を確認し、条件に同意する場合は [はい] を選択して [次へ] をクリックします。

手順 4: ファイル インストール キーの指定

MathWorks アカウントを使用してインストール対象の製品にアクセスする必要がある場合は、この手順を省略して手順 5 に進みます。

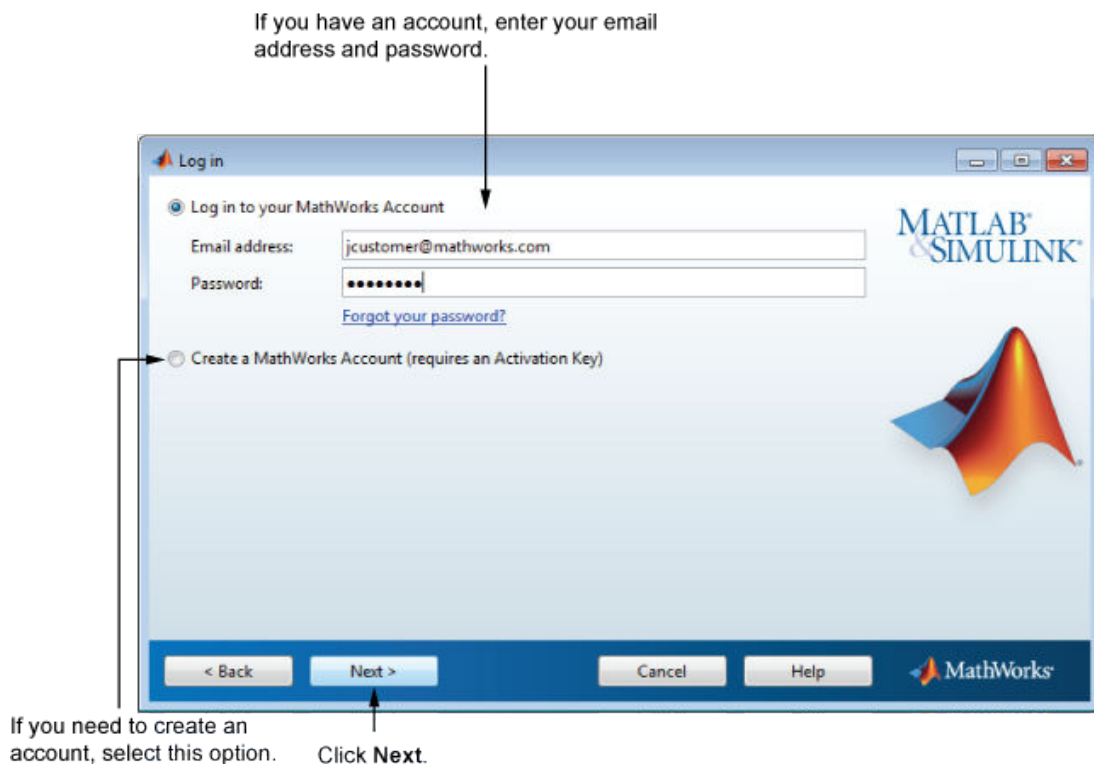
共有の DVD を使用している場合やサーバー上の製品ファイルにアクセスできる場合は、[ファイル インストール キーを使用する] をオンにして [次へ] をクリックします。



手順 5: MathWorks アカウントへのログイン

MathWorks アカウントにログインするには、電子メール アドレスとパスワードを入力して、[次へ] をクリックします。インストーラーにより MathWorks へのアクセスが行われ、アカウントに関連付けられたライセンスに関する情報が取得されます。アカウントで 2 段階認証を有効にしている場合、認証コードが主な方法に送信されます。

MathWorks アカウントを保有していない場合は、[MathWorks アカウントを作成する (アクティベーション キーが必要)] オプションをオンにして [次へ] をクリックします。アカウントの作成に必要なデータの入力を指示するプロンプトが表示されます。



MathWorks アカウントの作成

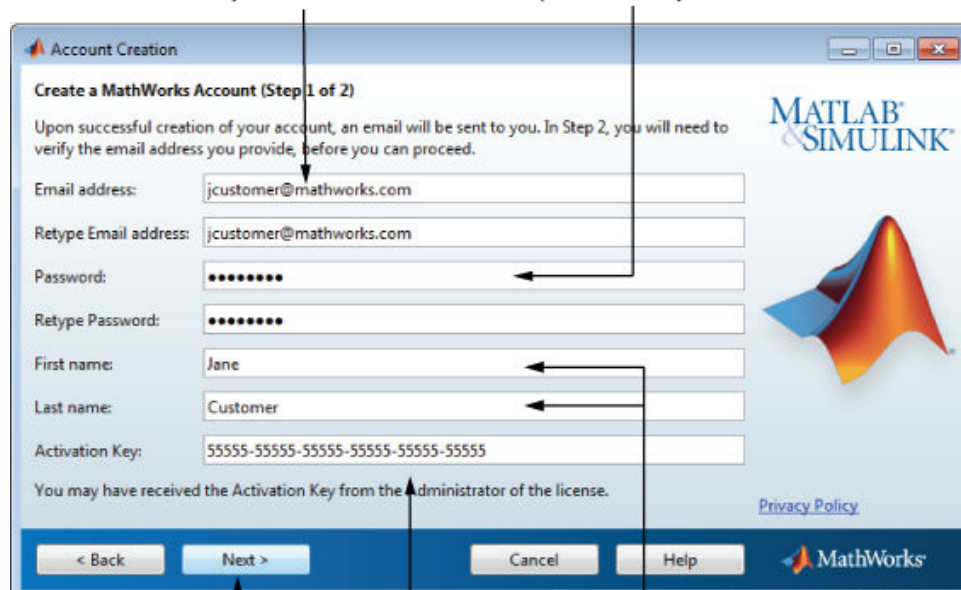
アカウントを作成するには、電子メール アドレス、姓、名およびパスワードを入力します。新しく作成したアカウントにはライセンスが関連付けられていないので、アクティベーション キーも入力しなければなりません。

アクティベーション キーによって、インストールするライセンスが識別されます。このライセンスの管理者は、MathWorks Web サイトのライセンス センターからキーを取得できます。

メモ アクティベーション キーのダッシュやスペースの入力は任意です。

[次へ] をクリックして、アカウントを作成します。

Enter your email address. Create a password for your account.



Account Creation

Create a MathWorks Account (Step 1 of 2)

Upon successful creation of your account, an email will be sent to you. In Step 2, you will need to verify the email address you provide, before you can proceed.

Email address: jcustomer@mathworks.com

Retype Email address: jcustomer@mathworks.com

Password:

Retype Password:

First name: Jane

Last name: Customer

Activation Key: 55555-55555-55555-55555-55555-55555

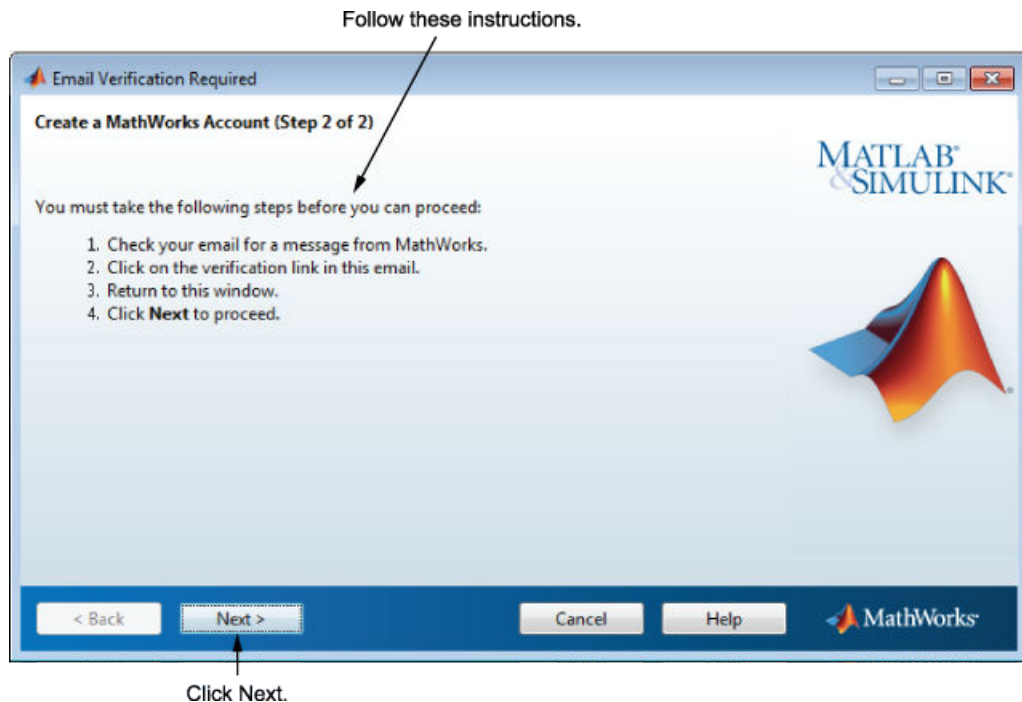
You may have received the Activation Key from the administrator of the license.

[Privacy Policy](#)

< Back Next > Cancel Help MathWorks

Click Next. Enter Activation Key. Enter first name and last name.

メモ 新しい MathWorks アカウントを作成したら、インストールを続行する前に、電子メール アドレスを確認しなければなりません。[電子メールの確認が必要] ダイアログ ボックスの [次へ] をクリックする前に、電子メール プログラムに移動して MathWorks から送信されたメッセージを開き、確認リンクをクリックします。次に、このダイアログ ボックスに戻り、[次へ] をクリックします。

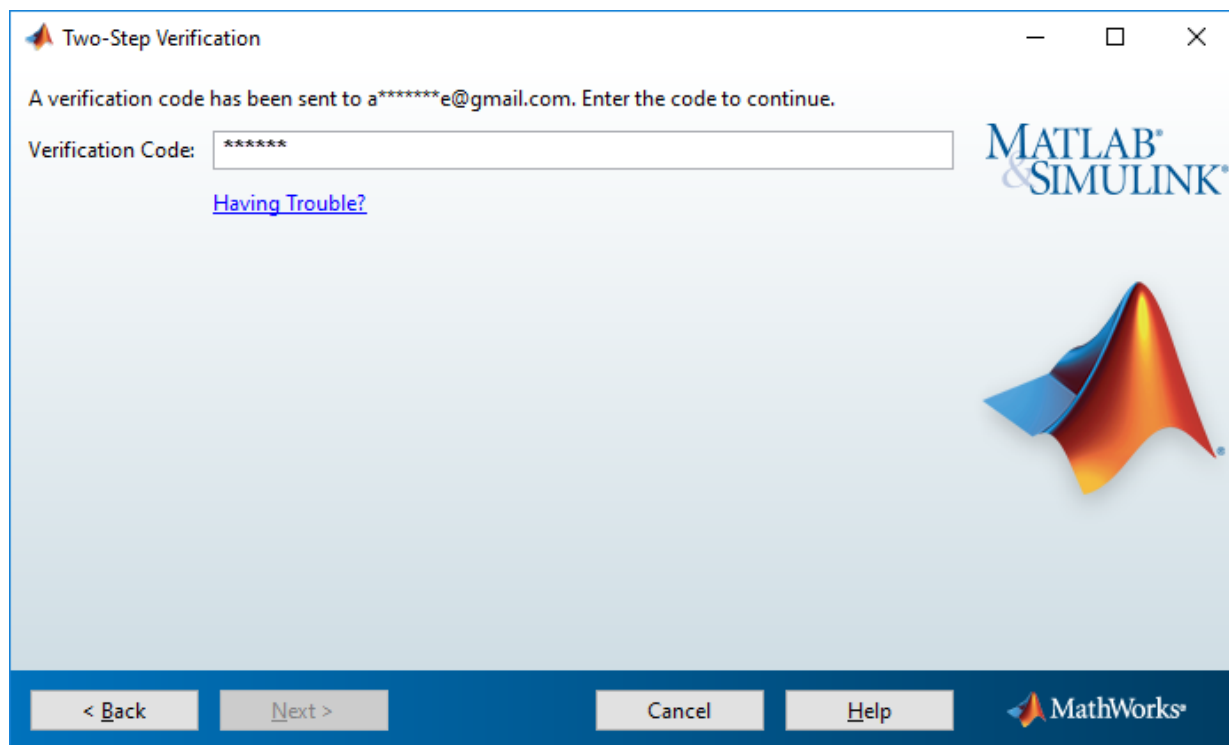


入力したアクティベーション キーによって特定のライセンスが指定されるため、インストーラーではライセンスを選択する手順が省略されます。

手順 6: 2 段階認証コードの入力

MathWorks アカウントで 2 段階認証を有効にしている場合、MathWorks アカウントのサインイン時に、主な方法に送信された認証コードを入力するよう求めるメッセージが表示されます。2 段階認証を有効にしていない場合は、次のステップに直接進むことができます。

主な方法に送信された認証コードを入力します。



[次へ] をクリックしてインストールを実行します。

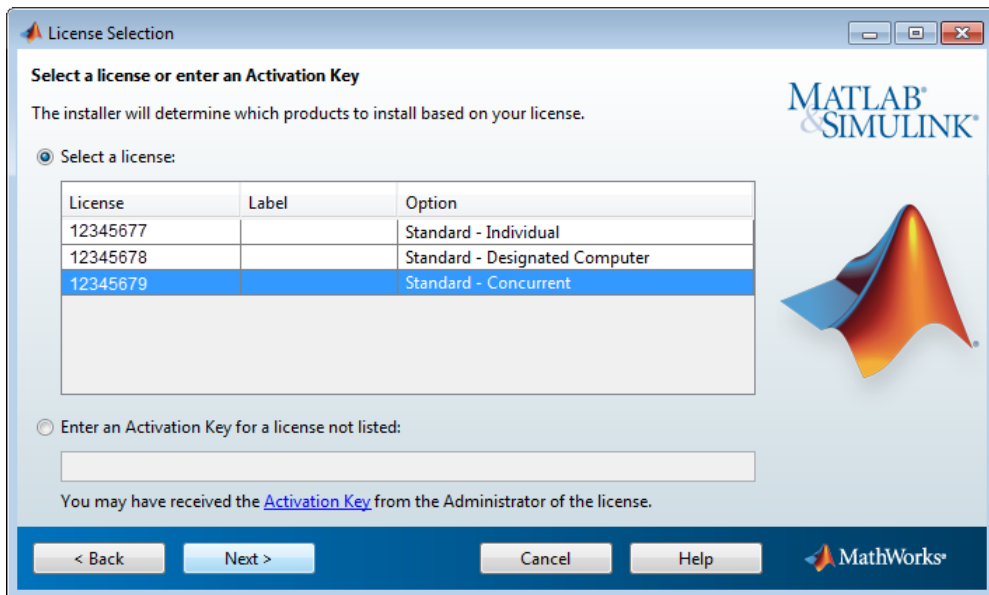
手順 7: インストールするライセンスの選択

メモ 前の手順でアクティベーション キーを指定した場合、インストーラーではこの手順が省略されます。

MathWorks アカウントに関連付けられたライセンスのリストからライセンスを選択して、[次へ] をクリックします。この一覧には、ライセンスに関する以下の情報が含まれています。

- ・ ライセンス番号。
- ・ ライセンスの識別に役立つ説明テキスト ラベル（オプション）。
- ・ ライセンス オプションを識別する情報。サーバー インストールの場合は、ネットワークライセンス オプションが指定されたライセンスを選択します。

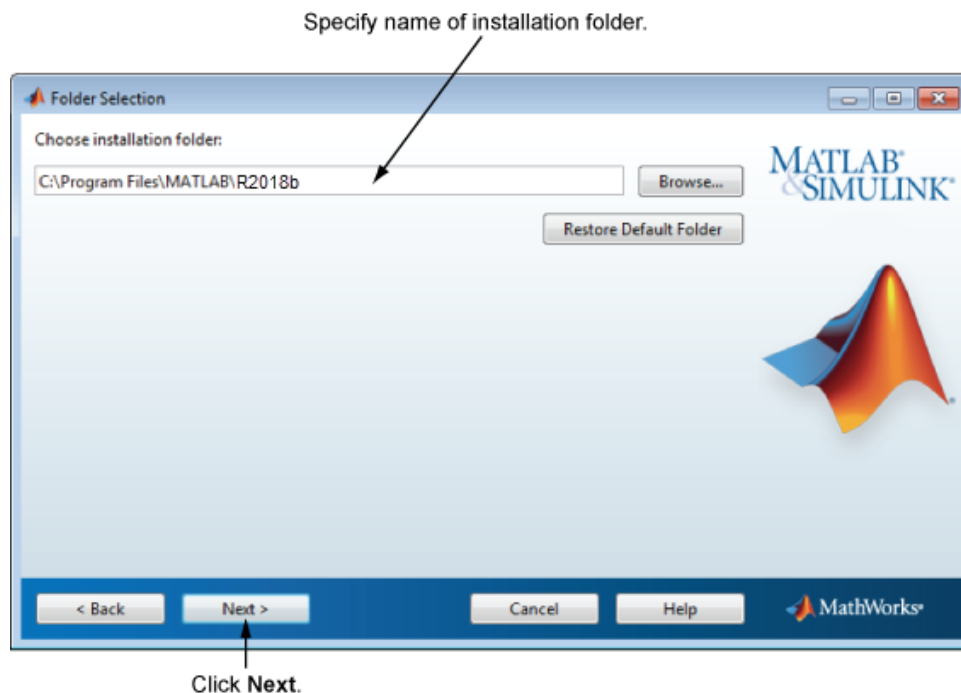
リストに目的のライセンスが表示されない場合は、[リストされていないライセンスのアクティベーション キーを入力] をオンにして、アクティベーション キーを入力します。



手順 8: インストール フォルダの指定

MathWorks 製品をインストールするフォルダの名前を指定します。既定のインストールフォルダをそのまま使用するか、[参照] をクリックして別のフォルダを選択します。指定したフォルダが存在しない場合は、インストーラーによって作成されます。

フォルダ名を指定するときは、任意の英数字に加えて、アンダースコアなどの一部の特殊文字を使用できます。フォルダ名の入力を誤った場合にやり直すには、[既定のフォルダに戻す] をクリックします。選択を行った後、[次へ] をクリックします。

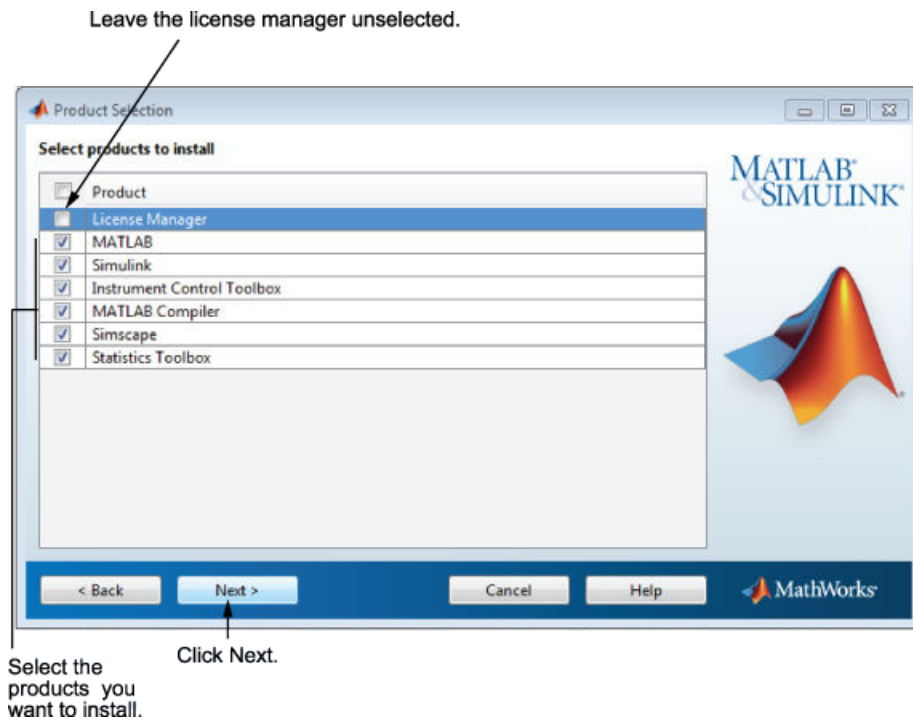


手順 9: インストールする製品の指定

インストールする製品を指定します。このダイアログ ボックスには、ライセンスでインストールが許可されているすべての製品が一覧表示されます。一覧内の製品は、あらかじめインストールするように選択されています。

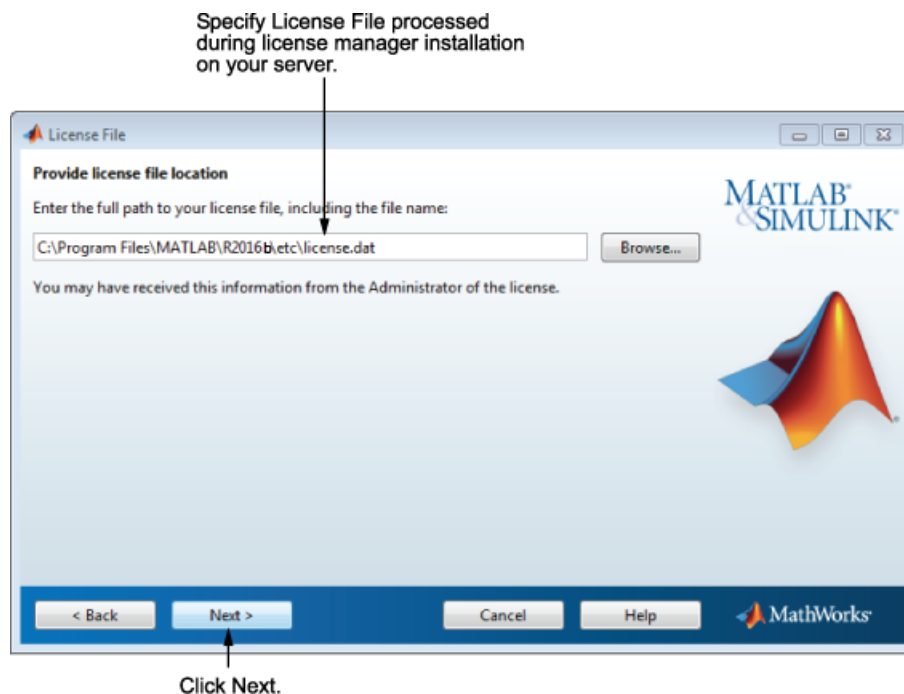
メモ クライアント システムには、ライセンス マネージャーはインストールしないでください。

選択が完了したら、[次へ] をクリックしてインストールを続行します。[次へ] をクリックした後、選択した製品の 1 つ以上が他の製品に依存しているというメッセージが表示されることがあります。



手順 10: ライセンス ファイルの場所の指定

ライセンス管理者から受け取ったライセンス ファイルの絶対パスをテキスト ボックスに入力して、[次へ] をクリックします。



クライアントにおけるライセンス ファイルの処理

インストーラーによって、クライアント システムでライセンス ファイルに以下の処理が行われます。

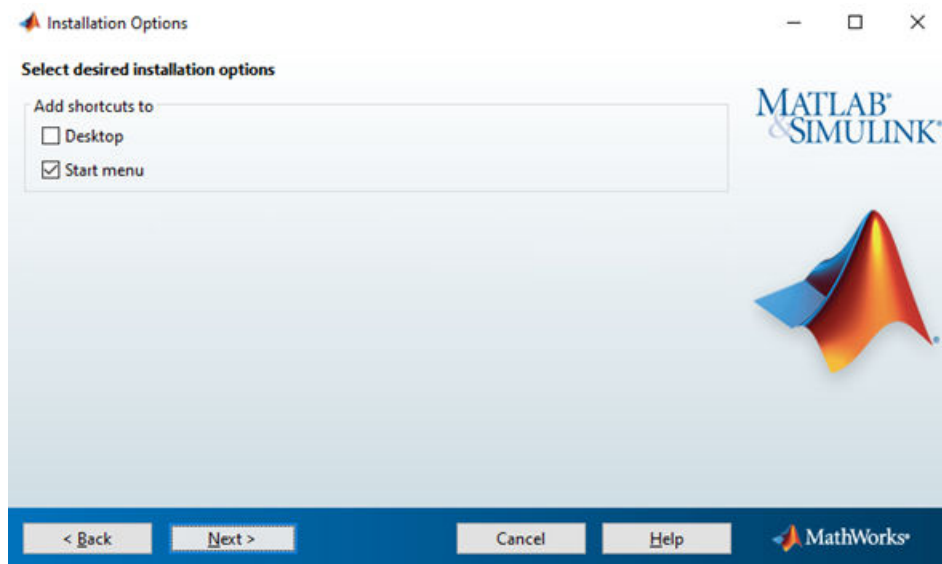
- ・ 指定したライセンス ファイルのコピーが作成され、`network.lic` という名前で MATLAB クライアントのインストール フォルダーにある `\licenses` フォルダーに配置されます。
- ・ `SERVER` 行はそのまま残して、すべての `INCREMENT` 行と `DAEMON` 行がライセンス ファイルから削除されます。ファイルに、ステートメント `USE_SERVER` が追加されます。

手順 11: インストール オプションの指定

インストール先のプラットフォームに応じて、インストール オプションを指定します。

Windows システム

Windows では、[インストール オプション] ダイアログ ボックスで、[スタート] メニューとデスクトップに MATLAB の起動用ショートカットを配置するオプションが提供されます。

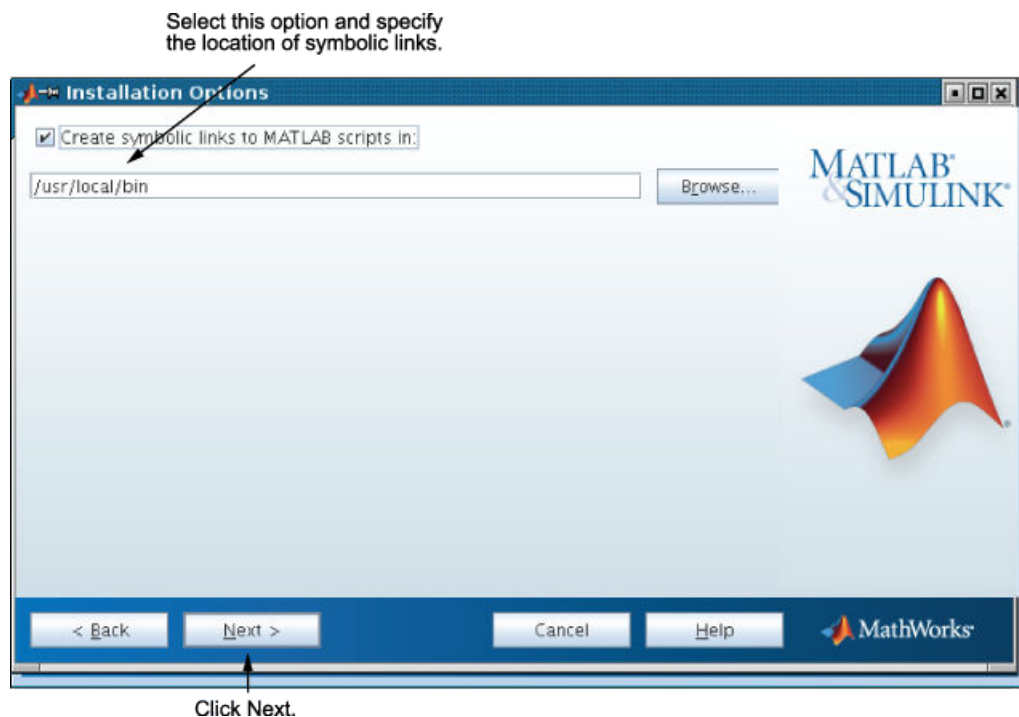


インストール オプションを選択した後、[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

Linux システム

Linux システムでは、matlab スクリプトおよび mex スクリプトへのシンボリック リンクを作成するかどうかを指定できます。書き込み権限があり、自分のユーザー パスすべてに共通する /usr/local/bin などのフォルダーを指定します。

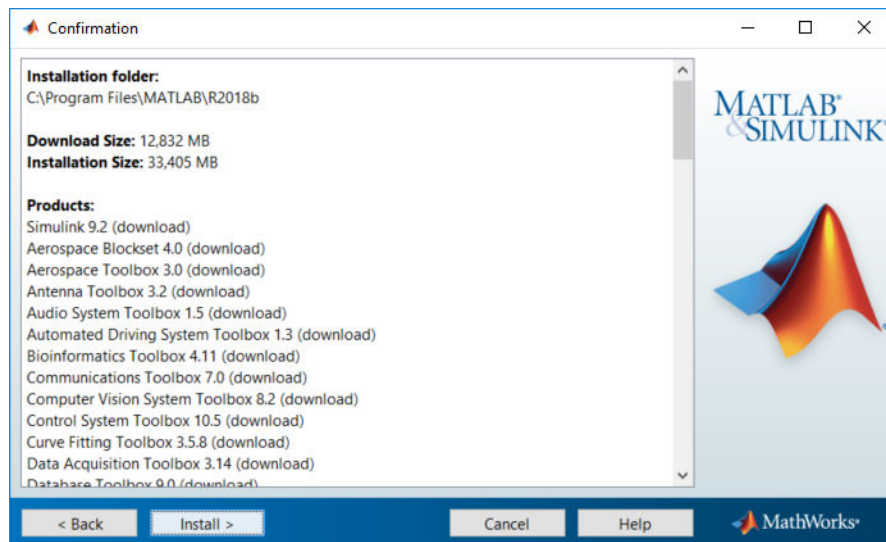
インストール オプションを選択した後、[次へ] をクリックしてインストールを続行します。



手順 12: 選択内容の確認

ソフトウェアをハード ディスクにインストールする前に、インストーラーにインストール内容の要約が表示されます。設定を変更するには、[戻る] をクリックします。インストールを続行するには、[インストール] をクリックします。

メモ 使用するインストール方法によっては、確認情報がここで示される例とは異なる場合があります。

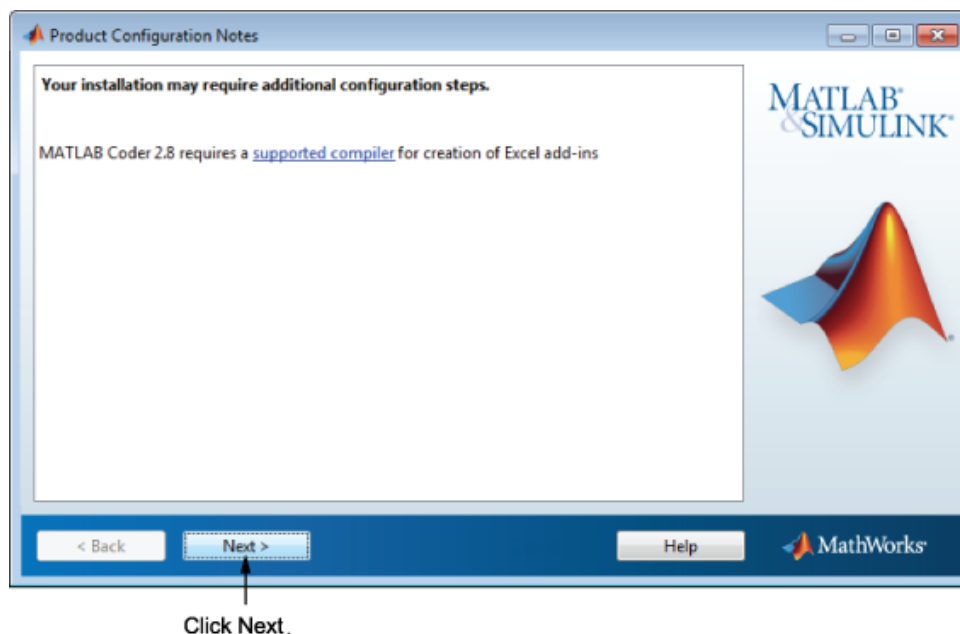


製品の設定に関するメモの確認

インストールする製品によっては、インストーラーで追加の情報を含むダイアログ ボックスが表示されることがあります。

- ・ 製品の設定情報 – 一部の製品では追加の設定が必要になります。追加の設定が必要な製品をインストールした場合、このダイアログ ボックスに設定コマンドの一覧が表示されます。
- ・ サポートされるコンパイラおよび SDK – 一部の製品ではサポートされるコンパイラまたはソフトウェア開発キットが必要です。この要件がある製品をインストールした場合は、詳細な情報へのリンクがインストーラーに表示されます。

[次へ] をクリックしてインストールを続行します。



手順 13: インストールの完了

MathWorks インストーラーによる作業が完了したら、[終了] をクリックしてインストーラーを終了します。コンカレント ライセンスのインストールでは、ソフトウェアのアクティベーションを行う必要はありません。

次のステップ

クライアント インストールごとに、ライセンス ファイルがネットワーク ライセンス サーバーを指定していることを確認します。「MATLAB インストール」 (p. 4-2) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション) を参照してください。

参考

関連する例

- ・ 「ネットワーク インストールの計画」 (p. 4-6) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)

ライセンス マネージャーの起動

MATLAB ソフトウェアをクライアント コンピューターで起動するには、ライセンス マネージャーがサーバーで実行されていなければなりません。Windows システムでは、システムの起動時にライセンス マネージャーが自動的に起動するよう、インストーラーによって設定されます (Linux システムでは、システムの起動スクリプトを編集しなければなりません。「Linux システムで起動時にライセンス マネージャーを自動的に起動するための設定」 (p. 4-66) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション) を参照してください)。この既定の設定を受け入れた場合、ライセンス マネージャーを起動する最も簡単な方法は、ライセンス マネージャーがインストールされているコンピューターを再起動することです。ライセンス マネージャーを起動する方法は、プラットフォームに応じてほかにもいくつか存在します。次の節では、こうした方法について説明します。

メモ ライセンス マネージャー プロセスに関連付けられているユーザー名は、ネットワーク上で定義されているユーザーではなく、ローカルのシステム上で定義されているユーザーである必要があります。ライセンス マネージャーは、ネットワーク ユーザーが使用可能になる前に、起動プロセス中にユーザー名がコンピューター内で検出された場合にのみ正常に起動します。

Windows システム

Windows システムのライセンス マネージャーは次の方法を使用して起動できます。

- ・ インストール中にライセンス マネージャーをサービスとして設定した場合は、Windows の [サービス] コントロール パネルを使用してライセンス マネージャーの起動または停止を行います。Windows の [スタート] メニューから、[設定]、[コントロール パネル]、[管理ツール]、[サービス] を選択します。
- ・ ライセンス管理ユーティリティ `lmtools.exe` を使用します。このユーティリティは、MATLAB インストールの `matlabroot\etc\%ARCH` フォルダー (`%ARCH` はプラットフォーム固有のサブフォルダー) に含まれています。`lmtools.exe` アプリケーションを起動し、[Start/Stop/Reread] タブを選択します。

Linux および Mac OS X システム

ライセンス マネージャー デーモンを Linux システムまたは Mac OS X システムで起動するには、`matlabroot/etc` フォルダー内の `lmstart` スクリプトを実行します。ここで、`matlabroot` は最上位の MATLAB インストール フォルダーの名前を表します。`lmstart` スクリプトは、現在実行されているデーモンをすべて停止し、新しいデーモンを起動します。

Mac OS X システムで `lmstart` を実行するには、`/Applications/Utilities` 内の `Terminal` アプリケーションを使用してターミナル ウィンドウを開き、MATLAB インストール フォルダの `/etc` フォルダに移動します。

```
cd /Applications/MATLAB_R2018b.app/etc
```

メモ: ルート以外のユーザーは、`lmstart` スクリプトを実行してください。ルート権限を必要としないプログラムをルートとして実行すると、セキュリティ上のリスクがあるためです。ライセンス マネージャー (`lmgrd`) はルート権限を必要としません。ライセンス マネージャーをルートとして起動しなければならない場合は、`su` コマンドを使用して、権限のないユーザーとして `lmgrd` を起動します。

```
su username -c "lmgrd -c license_file -l /var/tmp/LM_TMW.log"
```

ここで、`username` は権限のないユーザーです。

Linux システムで起動時にライセンス マネージャーを自動的に起動するための設定

Linux システムでの起動時にライセンス マネージャーが自動的に起動するように設定するには、使用している Linux ディストリビューションの標準的な自動サービス起動方法を使用します。

`-u username` オプションを指定して FlexNet サービスを開始します。ここで `username` はルート以外の有効なユーザー名を表します。セキュリティ上の理由により、スーパーユーザーをライセンス マネージャー デーモンの所有者にはできません。

ライセンス マネージャーがシステム起動シーケンスの最後に開始することを確認します。ライセンス マネージャーを正しく起動するには、ネットワークが既に実行されていなければなりません。使用している Linux のバージョンに備わっているメカニズムを使用して、起動シーケンスを設定します。

参考

関連する例

- ・ 「ライセンス マネージャーの管理」 (p. 4-67) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)

ライセンス マネージャーの管理

この節では、ライセンス マネージャーの管理に使用できる、FlexNet のライセンスによって提供されるいくつかのユーティリティについて説明します。これらユーティリティの詳細については、MATLAB インストールに付属している PDF 形式の『ライセンス管理ガイド』(matlabroot\etc\LicenseAdministration.pdf) を参照してください。

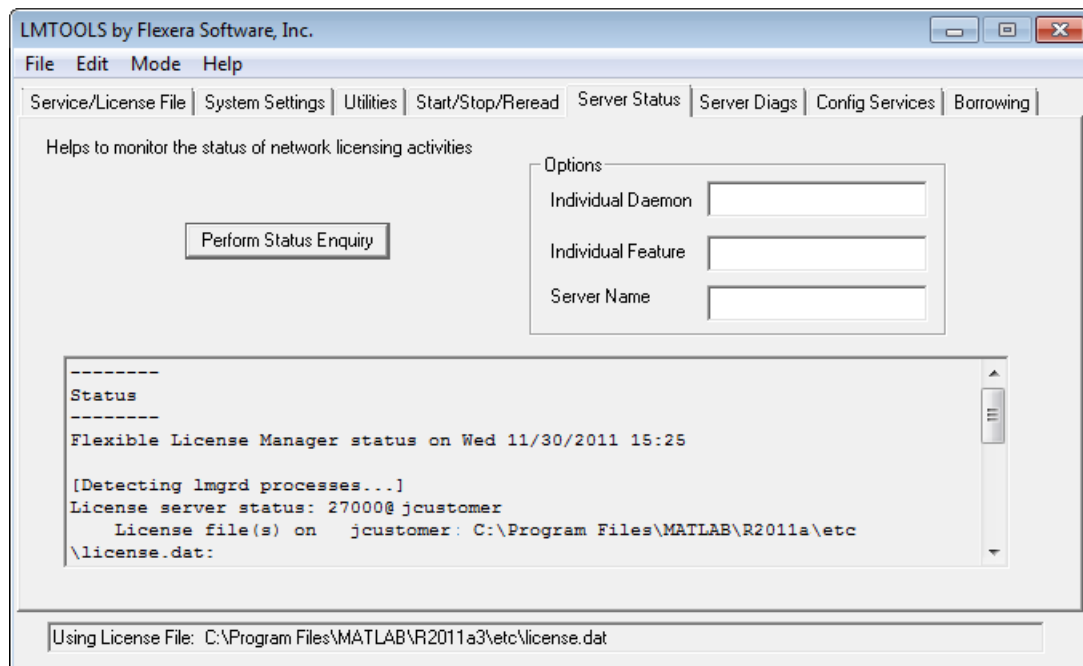
LMTTOOLS の使用 (Windows システムのみ)

Windows システムでは、FlexNet Publisher ライセンスに LMTTOOLS というツールが含まれています。LMTTOOLS を使用すると、次のような数多くのライセンス管理タスクを実行できます。

- ・ ライセンス マネージャーのステータスの取得
- ・ ライセンス マネージャーの起動と停止
- ・ ライセンス マネージャーをサービスとして設定

以下の例では、LMTTOOLS を使用して、ライセンス マネージャーの現在の状態を確認する方法を説明します。

- 1 matlabroot\etc\ARCH フォルダにある lmttools.exe ファイルをダブルクリックして、LMTTOOLS を起動します。ここで、matlabroot は MATLAB インストール フォルダ、ARCH は win64 などのプラットフォーム固有のサブフォルダです。
- 2 [Server Status] タブをクリックします。
- 3 [Perform Status Enquiry] ボタンをクリックします。コマンド `lmutil lmstat -a` を入力したときと同じ情報が LMTTOOLS によって表示されます。



ライセンス マネージャーのコマンド ライン ユーティリティの使用

FlexNet ライセンスには、ライセンス マネージャーの起動、停止、および監視に使用できる一連のライセンス管理ユーティリティが含まれています。

Windows システムでは FlexNet によって、lmutil.exe と呼ばれる単一のコマンド ライン実行可能ファイルにすべてのユーティリティがパッケージ化されています。このプログラムは matlabroot\etc\ARCH フォルダで利用できます。ここで、matlabroot は MATLAB インストール フォルダであり、ARCH は win64 などのプラットフォーム固有のサブフォルダです。たとえば、ライセンス マネージャーのステータス チェックを実行するには、DOS コマンド ウィンドウを開き、lmstat を引数として指定して lmutil を実行します。

```
lmutil lmstat -a -c "C:\Program Files\MATLAB\R2018b\etc\license.dat"
```

-a オプションを指定すると、詳細なリストが表示されます。-c オプションも含めて、使用するライセンス ファイルを指定しなければなりません。このオプションは、lmutil オプションを指定するときに必ず使用しなければなりません。インストールのパスがスペースを含む場合は、パスを引用符で囲ってください。以下は、返された情報の一部を示したものです。

```
lmutil - Copyright (c) 1989-2014 Flexera Software Inc. All Rights Reserved.  
Flexible License Manager status on Tue 11/5/2014 10:11
```

```
[Detecting lmgrd processes...]  
License server status: 27000@ah-jcustomer  
License File(s) on customerj: C:\Program Files\MATLAB\R2018b\etc\license.dat:
```

```
customerj: license server UP (MASTER) v.11.9
```

```
Vendor daemon status (on ah-jcustomer):
```

```
MLM: UP v11.9
```

```
Feature usage info:
```

```
Users of MATLAB: (Total of 5 licenses available)
```

```
Users of SIMULINK: (Total of 5 licenses available)
```

```
Users of Control_Toolbox: (Total of 5 licenses available)
```

```
Users of Identification_Toolbox: (Total of 5 licenses available).
```

lmutil パッケージ内の全ユーティリティのリストを表示するには、以下を入力します。

```
lmutil -h
```

特定のユーティリティのヘルプを取得するには、次に示すようにユーティリティ名を -h オプションと共に入力します。

```
lmutil lmstat -h
```

Linux システムおよび Mac OS X システムでは、これらのライセンス管理ユーティリティは個別の実行可能ファイルで、matlabroot/etc フォルダーに含まれています。たとえば、ライセンス マネージャーのステータスを表示するには、次のように lmstat ユーティリティを使用します。

```
lmstat -a
```

```
lmutil - Copyright (c) 1989-2016 Flexera Software Inc. All Rights Reserved.  
Flexible License Manager status on Fri 11/4/2016 10:11
```

```
License server status: 27000@ah-jcustomer  
License File(s) on customerj: /user/local/MATLAB/R2018b/etc/license.dat:
```

```
customerj: license server UP (MASTER) v.11.9
```

```
Vendor daemon status (on customerj):
```

```
MLM: UP v11.9
```

```
Feature usage info:
```

Users of MATLAB: (Total of 5 licenses available)

Users of SIMULINK: (Total of 5 licenses available)

特定のユーティリティのヘルプを取得するには、次のように -h オプションを使用します。

```
lmstat -h
```

次の表には、最も役立つライセンス管理ツールの名前が一覧表示されています。

ユーティリティ	説明
lmdiag	ライセンスのチェックアウトの問題を診断します。
lmdown	ライセンス サーバー ノードにおけるすべてのライセンス デモン (lmgrd とすべてのベンダー デモン) をシャットダウンします。
lmhostid	システムのホスト ID を報告します。
lmreread	ライセンス マネージャー デモンでライセンス ファイルを再度読み取り、任意の新しいベンダー デモンを起動します。 メモ: lmreread を使用してユーザーベース ライセンスのライセンス ファイルを再処理する場合、関連する FlexNet オプション ファイルにおける INCLUDE ステートメントの変更は、15 分遅れで有効になります。
lmstat	すべてのネットワーク ライセンス アクティビティのステータスを表示します。
lmswitchr	レポート ログ ファイルを切り替えます。
lmver	ライブラリ ファイルまたはバイナリ ファイルのバージョンを確認します。

参考

関連する例

- 「ライセンス マネージャーの起動」 (p. 4-65) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)
- 「ネットワーク ライセンスの更新」 (p. 4-71) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)

ネットワーク ライセンスの更新

製品やシート数の変更により MathWorks から新しいライセンスを受け取った場合、ユーザーが MATLAB ライセンスにアクセスする可能性が最も低い時間にネットワーク サーバー上のライセンス ファイルを更新するよう計画してください。この手順では、ライセンス マネージャーの停止と起動が必要になります（再読み取りは一部のライセンスと競合する可能性があるため使用できません）。

この手順は、この時点ではライセンス マネージャー ソフトウェアを更新しないことを前提とします。更新する場合は、ライセンス マネージャー ソフトウェアの更新 (p. 4-42) を参照してください。

メモ MATLAB を新しいリリースに更新するためにこの手順を使用しないでください。リリースを更新するには、「製品のインストール（ネットワーク管理者向け）」（インストール、ライセンスおよびアクティベーション）を参照してください。

ライセンス ファイルの更新を行うのはライセンス管理者でなければなりません。

サーバー上のライセンス ファイルを更新するには、次を行います。

- 1 ライセンス センターに移動してアカウントにサインインします。
- 2 更新するライセンスを選択します。
- 3 [インストールとアクティベーション] をクリックします。
- 4 更新するサーバー用のライセンス ファイルを取得します。
- 5 ライセンス マネージャーを停止します
- 6 サーバー上の既存のライセンスと新しいライセンスの両方をエディターで開きます。以下の手順に従って、新しいライセンスの大部分を古いライセンスにコピーします。
 - ・ 既存のライセンスで、ファイルの先頭にある SERVER 行と DAEMON 行を除くすべてのコンテンツを削除します。
 - ・ 新しいライセンスで、SERVER 行と DAEMON 行の下から末尾までのすべてのコンテンツをコピーします。
 - ・ コピーしたコンテンツを、既存のライセンスの SERVER 行と DAEMON 行の下に貼り付けます。
 - ・ 既存のライセンスを保存します。新しいライセンスをバックアップとして保存できます。ただし、SERVER 行と DAEMON 行は組織固有のものに置き換えなければならない点に注意してください。

7 オプション ファイルがある場合、その構成によっては更新が必要なこともあります。オプション ファイルがない場合はこの手順を省略します。

8 ライセンス マネージャーを起動します

ステータスを問い合わせるライセンス ファイルが更新されたことを確認できます。Monitor the Usage of Licenses or Keys を参照してください。

参考

関連する例

- ・ 「LMTOOLS の使用 (Windows システムのみ)」 (p. 4-67) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)
- ・ 「ライセンス マネージャーのコマンド ライン ユーティリティの使用」 (p. 4-68) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)

外部の Web サイト

- ・ <https://www.mathworks.com/matlabcentral/answers/102901-how-do-i-update-the-license-file-on-the-license-server>
- ・ <https://www.mathworks.com/matlabcentral/answers/105860-how-do-i-install-or-update-the-matlab-license-manager>
- ・ <https://www.mathworks.com/matlabcentral/answers/100407-how-do-i-transfer-a-concurrent-or-network-named-user-matlab-license-to-a-new-server>

非対話モードのインストール（サイレント インストール）

この節の内容...

「非対話モードのインストールを使用する状況」 (p. 4-73)

「インストーラー プロパティ ファイルの使用」 (p. 4-73)

非対話モードのインストールを使用する状況

メモ 非対話モードでの MATLAB インストールの削除（アンインストール）の詳細については、「非対話モードでのアンインストール」 (p. 4-75)（インストール、ライセンスおよびアクティベーション）を参照してください。

MATLAB ソフトウェアのインストールを多数回実行する必要がある、各インストールで入力する情報が同じである場合、この情報をプロパティ ファイルに設定して、MathWorks インストーラーを非対話モードで実行することができます。プロパティ ファイルはインストーラーの起動時にコマンド ラインで指定します。このファイルは、通常であればインストーラーのダイアログ ボックスで対話的に指定する情報をインストーラーに与えます。非対話モードのインストール（サイレント インストールとも呼ばれます）では、時間を節約し、間違いを防ぐことができます。

インストーラー プロパティ ファイルの使用

メモ インストーラー プロパティ ファイルを使用するには、ファイル インストール キーが必要です。ファイル インストール キーを使用したインストールの詳細については、「ファイル インストール キーを使用した製品のインストール」 (p. 1-36)（インストール、ライセンスおよびアクティベーション）を参照してください。

インストーラーを非対話モードで実行するには、次の手順に従います。

- 1 MATLAB インストーラーを含む製品ファイルが、コンピューターの既定のダウンロード フォルダーまたはネットワーク共有フォルダーなどのアクセス可能な場所にあることを確認します。製品ファイルがコンピューターの既定のダウンロード フォルダー以外の場所にある場合は、インストーラー ファイルは製品ファイルと同じフォルダー内に存在しなければなりません。製品ファイルのダウンロードの詳細については、「インストール

を後で行う場合の製品のダウンロード」 (p. 3-16) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)を参照してください。

- 2 インストーラー プロパティ ファイルを作成します。

installer_input.txt という名前のインストーラー プロパティ ファイル テンプレートのコピーを作成します。このファイルは、ソフトウェアをダウンロードしたフォルダー (通常は C:\Users\user\AppData\Local\Temp\mathworks_downloads) の最上位にあります。

たとえば、Windows システムでは次のコマンドを実行します。

```
copy Z:\installer_input.txt C:\temp\my_installer_input.txt
```

- 3 任意のテキスト エディターを使用してインストーラー プロパティ ファイルを開き、指定されているすべてのパラメーターの値を入力します。たとえば、製品をインストールする場所を指定するには、destinationFolder= パラメーターの値としてインストール フォルダーの絶対パスを設定します。

```
destinationFolder=C:\Program Files\MATLAB\R2018b
```

インストーラー プロパティ ファイルのテンプレートには、各パラメーターの説明が有効な値と共に含まれています。ファイル インストール キーを fileInstallationKey= パラメーターの値として指定します。

- 4 ファイルへの変更を保存します。
- 5 -inputFile オプションを使用してインストーラー プロパティ ファイルの絶対パスをコマンド ライン引数として指定し、インストーラーを起動します。

たとえば、Windows システムでは [スタート] メニューをクリックし、[ファイル名を指定して実行] オプションを選択します。[ファイル名を指定して実行] ダイアログ ボックスに次のように入力します。

```
setup.exe -inputFile C:\temp\my_installer_input.txt
```

Linux および Mac OS X システムでインストーラー プロパティ ファイルを指定する方法の詳細は、インストーラー プロパティ ファイルのテンプレートに含まれている手順を参照してください。

非対話モードでのアンインストール

メモ 非対話モードでの MATLAB のインストールの詳細については、「非対話モードのインストール (サイレント インストール)」 (p. 4-73) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション) を参照してください。

インストーラーを非対話モードで実行するには、次の手順に従います。

- 1 アンインストーラーのプロパティ ファイルを作成します。

MATLAB インストール フォルダーの `uninstall` フォルダーにある、`uninstaller_input.txt` という名前のアンインストーラー プロパティ ファイル テンプレートをコピーします。たとえば、Windows システムでは次のコマンドを実行します。

```
copy matlabroot\uninstall\uninstaller_input.txt C:\temp\my_uninstall.txt
```

- 2 任意のテキスト エディターを使用してアンインストーラー プロパティ ファイルを開き、指定されているすべてのパラメーターの値を入力します。たとえば、`outputFile=` パラメーターを使用して、出力ログ ファイルの名前を指定できます。テンプレートには、各パラメーターの詳細な説明が例と共に含まれています。

既定では、アンインストーラーによって特定の MATLAB インストール内の製品がすべてアンインストールされますが、アンインストールする製品を指定することもできます。テンプレートの製品一覧で、製品名の先頭にあるコメント文字を削除します。サイレント モードでは、インストールされている製品以外の製品を削除の対象として指定した場合、アンインストーラーは終了し、ログ ファイルにメッセージが書き込まれます。`mode=automated` を指定した場合、アンインストーラーは「製品選択」ダイアログ ボックスを表示し、製品選択を調整できるように一時停止します。

- 3 ファイルへの変更を保存します。
- 4 `-inputFile` フラグを使用してプロパティ ファイルをコマンド ライン引数として指定し、アンインストーラー (`uninstall.exe`) を実行します。

たとえば、[スタート] をクリックし、[ファイル名を指定して実行] オプションを選択します。[ファイル名を指定して実行] ダイアログ ボックスで、プロパティ ファイルの絶対パスをコマンド ライン引数として指定して、`uninstall` コマンドを入力します。

```
uninstall.exe -inputFile C:\temp\my_uninstall.txt
```

参考

関連する例

- ・ 「ネットワーク インストールの計画」 (p. 4-6) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)

トラブルシューティング

このトピックでは、MathWorks ソフトウェアをインストールする際に発生する可能性のある、一般的な問題の解決に役立つ情報を提供します。

自分の問題に該当する説明が見つからない場合は、MathWorks 製品に付属の MATLAB の『リリース ノート』を参照してください。このドキュメントには、製品やインストールの手順に関する最新情報が掲載されています。インストールのトラブルシューティングに関する情報は、MathWorks Web サイトのサポート ページ (www.mathworks.co.jp/support/) から入手できます。

メモ: インストーラーが反応しなくなった場合は、システムで実行中のウイルス対策ソフトウェアをオフにして、インストーラーを再起動することを検討してください。

- ・ 「インストーラーが自動的に起動しない」 (p. 5-2)
- ・ 「製品の依存関係のメッセージが表示される理由」 (p. 5-3)
- ・ 「プロキシ サーバーの設定を指定する方法」 (p. 5-4)
- ・ 「MathWorks アカウントなしでアクティベーションを行う方法」 (p. 5-5)
- ・ 「ライセンス マネージャーでエラーが発生する意味」 (p. 5-7)
- ・ 「ライセンス マネージャー デモンへのアクセスを許可する方法」 (p. 5-8)

インストーラーが自動的に起動しない

MathWorks DVD 1 を DVD ドライブに挿入するか、MathWorks Web サイトからダウンロードしたインストーラー ファイルをダブルクリックすると、インストーラーが自動的に起動します。

インストーラーが起動しない場合は、Microsoft Windows のエクスプローラー ウィンドウを開き、DVD ドライブを選択して、最上位フォルダーにある `setup.exe` プログラムをダブルクリックします。

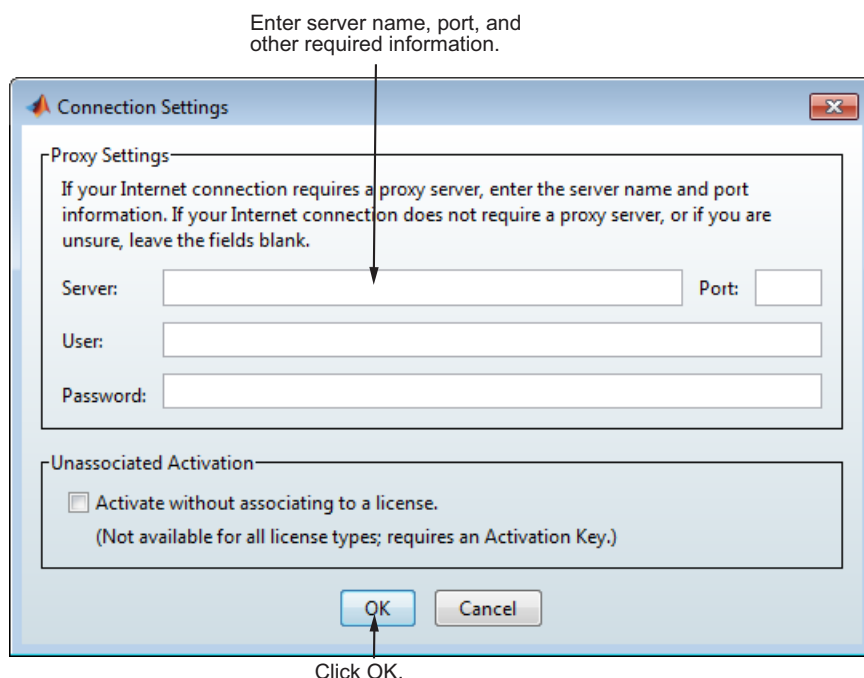
製品の依存関係のメッセージが表示される理由

〔製品選択〕ダイアログ ボックスの〔次へ〕をクリックすると、インストール用に選択した製品の 1 つ以上が、選択されなかった他の製品に依存しているというメッセージが表示されることがあります。メッセージを閉じてインストールを続行するには、〔OK〕をクリックします。カスタム インストールで製品の選択を変更する場合は、〔キャンセル〕をクリックします。

プロキシ サーバーの設定を指定する方法

インターネット接続にプロキシ サーバーが必要な場合、インストール プロセスまたはアクティベーション プロセスの開始時に、プロキシ サーバーのサーバー名、ポートおよびパスワードを入力できます。MathWorks では、いくつかの種類のプロキシ設定をサポートしています。基本認証、ダイジェスト認証などです。

インストール中にプロキシ情報を指定するには、インストーラーにより最初に表示されるダイアログ ボックスで「接続設定」をクリックします。アクティベーション中にプロキシ情報を指定するには、アクティベーション アプリケーションにより最初に表示されるダイアログ ボックスで「詳細オプション」をクリックします（関連付けないアクティベーションの詳細については、「MathWorks アカウントなしでアクティベーションを行う方法」（p. 5-5）（インストール、ライセンスおよびアクティベーション）を参照してください）。

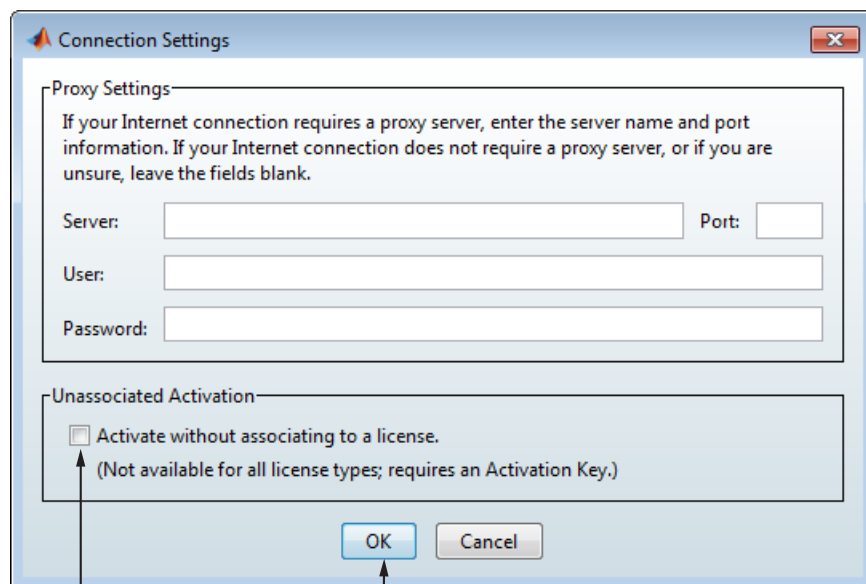


MathWorks アカウントなしでアクティベーションを行う方法

MathWorks アカウントがあると便利ですが、アカウントがなくても MathWorks ソフトウェアをインストールして実行できます。たとえば、環境によっては、特定のユーザーがセキュリティ上の理由でアカウントを作成できないことがあります。

MathWorks アカウントの情報を入力せずにアクティベーションを行うには、次の手順に従います。

- 1 インストールするライセンスのファイル インストール キーを取得します。ライセンス管理者は、このキーを MathWorks ライセンス センターから入手することができます。
- 2 MathWorks インストーラーを起動します。DVD 1 を DVD ドライブに挿入すると、インストーラーは自動的に起動します。
- 3 [ファイル インストール キーを使用する] オプションをオンにします。
- 4 2 枚目のディスクを挿入するよう求められたら、DVD 2 を挿入します。
- 5 インストールが終了し、インストーラーに [インストールの完了] ダイアログ ボックスが表示されたら、[MATLAB のアクティベーション] オプションをオンにしたまま [次へ] をクリックします。
- 6 [MathWorks ソフトウェアのアクティベーション] ダイアログ ボックスで、以下の操作を行います。
 - ・ [インターネットを使って自動的にアクティベーションを行う] をオンにします。関連付けないアクティベーションを行うには、インターネットを使用しなければなりません。
 - ・ [詳細オプション] をクリックします。[詳細オプション] ダイアログ ボックスの [ライセンスに関連付けずにアクティベーションを行います] オプションをオンにして、[OK] をクリックします。



Select this option to activate
without an account.

Click OK.

- ・ [MathWorks ソフトウェアのアクティベーション] ダイアログ ボックスに戻ったら、[次へ] をクリックします。
- 7 [アクティベーション キー] ダイアログ ボックスで、アクティベーション キーを入力し、[次へ] をクリックします。アカウントにログインしていないので、アクティベーション キーを入力してライセンスを特定しなければなりません。
- 8 [アクティベーション] をクリックします。

ライセンス マネージャーでエラーが発生する意味

インストール後の MATLAB ソフトウェアの起動に関する問題は、多くの場合、MathWorks 製品で使用される FLEXnet® ライセンス マネージャーが原因で発生しています。問題が発生すると、ライセンス マネージャーによって画面のウィンドウにエラー メッセージが表示され、このメッセージが matlabroot\etc\ARCH フォルダー内の FlexNet のログ ファイル lmlog.txt に書き込まれます。エラー メッセージを確認します。エラー メッセージでは問題解決の手がかりになる情報が提供されています。ライセンス マネージャーのログ ファイルの表示の詳細については、「ライセンス マネージャーの管理」(p. 4-67) (インストール、ライセンスおよびアクティベーション)を参照してください。

特定のエラーメッセージに関する診断情報の検索

- 1 MathWorks Web サイトのインストール ヘルプのサポート ページ (<http://www.mathworks.co.jp/support/install>) にアクセスします。
- 2 エラー メッセージを検索します。

ライセンス マネージャーのエラー メッセージの詳細については、FlexNet Publisher Licensing Toolkit の『ライセンス管理ガイド』でも、PDF 形式での入手が可能です (matlabroot\etc\LicenseAdministration.pdf)。

ライセンス マネージャー デーモンへのアクセスを許可する方法

セキュリティ ファイアウォールで保護されているサーバー上でライセンス マネージャーを実行する場合、クライアント インストールがライセンス マネージャー デーモンと通信できるように、ファイアウォールを開きます。これらのデーモンの詳細は、『ライセンス管理ガイド』を参照してください。

ライセンス マネージャー デーモンへのアクセスの許可

ファイアウォール プログラムで提供されているインターフェイスを使用して、ライセンス マネージャー デーモンに対してポート 27000 でのアクセスを許可します。このポートは、ライセンス マネージャーとの通信に使用される既定のポートです。このポート番号を変更した場合は、環境で使用しているポート番号を指定します。ライセンス マネージャー デーモンのポート番号の指定についての詳細は、『ライセンス管理ガイド』を参照してください。

ベンダー デーモンへのアクセスの許可

ベンダー デーモンで使用されるポートは、動的に割り当てられます。ファイアウォールでベンダー デーモンへのアクセスを許可するには、この動的なポート番号の割り当てを使用する代わりに、ベンダー デーモンとの通信用ポートを割り当てます。次に、ファイアウォールで割り当てたポート番号へのアクセスを許可します。

ベンダー デーモンのポート番号を指定するには、ライセンス サーバー上のライセンス ファイルを編集して、DAEMON 行に `port=` 構文を追加します。ベンダー デーモンのポート番号の指定についての詳細は、『ライセンス管理ガイド』を参照してください。